

2021年度 年 報  
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部  
天使大学大学院看護栄養学研究科  
天使大学大学院助産研究科

# 自己点検・評価報告書

## 目 次

1. 教育課程	1
1) 教育課程の運用	1
2) 看護学科	3
3) 栄養学科	7
4) 教養教育科	13
5) 看護栄養学研究科	14
6) 助産研究科	18
2. 学生の受け入れ	24
3. 教員組織	30
4. 研究活動・研究環境	31
5. F D S D活動	34
6. 社会貢献	35
7. 国際交流	37
8. 学生生活	39
9. 就職支援	50
10. 図書館	54
11. 情報処理システム	55
12. 施設・設備	56
13. 管理運営	57
14. 財務	58
15. 事務組織	59
16. 自己点検・評価活動	60

## 1. 教育課程

## 1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>《活動方針》</p> <p>看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため、関係部署間の調整を図るとともに、教育課程の確実な実施と改善・充実に努める。</p> <p>〈2021年度の重点〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学修成果を把握・活用し、公表する。</li> <li>2. 内部質保証推進委員会、FDS D委員会、IR室等と連携した委員会活動に努め、教育課程の質の充実・向上に努める。</li> <li>3. 「ポストコロナ社会」における新しい授業のあり方を検討し、必要に応じて各種の規程などを整備する。</li> <li>4. 国の動向を踏まえ、看護学科および教職課程（栄養学科・栄養教諭養成）の教育課程の改善を確実に実施する。</li> </ol> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4：教育課程・学習成果 ①②③④⑤⑥⑦</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>Ⅱ：教育の質保証体制の構築 Ⅱ-3、4、5、6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面授業が制限され遠隔授業の実施を余儀なくされたが、後期は対面授業を前期よりは増加することができた。多難な一年であったが、関係部署間との連携・協力により、教育活動等は円滑に行われたと評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学修成果を把握・活用し、公表する。〈基準4 - ①・②・③・⑦〉        〈戦略目標Ⅱ-3 (1)、Ⅱ-4 (1) (2)、Ⅱ-5 (3)〉</li> <li>2. 内部質保証推進委員会、FDS D委員会、IR室等と連携した委員会活動に努め、教育課程の質の充実・向上に努める。〈基準4 - ④・⑤・⑥・⑦〉        〈戦略目標Ⅱ-3 (3)、Ⅱ-5 (1) (2) (3)、Ⅱ-6 (3)〉</li> <li>3. 「ポストコロナ社会」における新しい授業のあり方を検討し、必要に応じて各種の規程などを整備する。〈基準4 - ④・⑦〉        〈戦略目標Ⅱ-3 (3)、Ⅱ-4 (2)、Ⅱ-5 (3)〉</li> </ol> <p>・2020年度以降入学生を対象に、授与する学位ごと（看護学科、栄養学科）に3つのポリシーを策定して、ホームページや大学案内等で公表している。また、各学科の教育課程の編成・実施方針に基づいた教育課程を編成している。さらに、遠隔授業に係るアンケート調査をIR室等と連携して行い分析・公表し、授業改善・向上に活用した。</p> <p>・<u>学科ごとに卒業要件及び進級要件を設け、GPA制度を併用しながら全学年で判定を行った。</u></p> <p>・学生の <u>到達度評価アンケート</u> の分析・公表を行い、教職員に対して今後の授業及び教育の見直し・改善への活用を促した。</p> <p>・内部質保証推進委員会やIR室と連携して、学生による「到達度評価アンケート」と「教員による科目評価」を2020年度から継続実施し、学生及び教員にフィードバックして、学修効果の向上を図った。</p> <p>・ポストコロナに対応するため、卒業に必要な単位数のうち、60単位以内で遠隔授業を可能とする学則改正を行った。また、面接授業の増加に対応するため、次年度に向けた「ハイブリッド型授業（ハイフレックス型、ブレンド型、分散型）」による時間割編成について検討した。</p>

	<p>4. 国の動向を踏まえ、看護学科および教職課程（栄養学科・栄養教諭養成）の教育課程の改善を確実に実施する。</p> <p>＜基準4 - ③・⑦＞ ＜戦略目標Ⅱ-3（3）、Ⅱ-4（2）、Ⅱ-5（3）＞</p> <p>・看護学科および教職課程（栄養学科・栄養教諭養成）において、2022年度入学生に対応する教育課程の改善を行った。</p>
次年度への課題	<p>1. 教育の質の充実・向上に向けた取組み</p> <p>(1) アセスメント・ポリシーにかかる各種調査を実施し、教育の改善につなげる。</p> <p>①「到達度評価アンケート」</p> <p>②「教員による科目評価」</p> <p>③「入学生アンケート」</p> <p>④ ①～③の結果を分析・公表し、教育の質の充実・向上に活用する。</p> <p>(2) 中期計画等の履行</p> <p>2. ウィズコロナ及びポストコロナ社会における授業実施及び時間割編成を検討する。</p> <p>1) 学生による授業アンケート結果などの利用や、学生の多様なニーズを考慮するとともに、教員の経験などを踏まえて、天使大学として教育の質の向上を目指すあるべき方向を探る。</p> <p>2) 対面授業を中心とした時間割編成を行う。</p> <p>3) 必要に応じて遠隔授業などに係る環境整備を行う。</p> <p>4) (仮称) 試験・評価料の支払いに関する検討を行う。</p>

1. 教育課程  
2) 看護学科

担当：看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：教育目標達成と評価の可視化</p> <p>1) DPを意識した2020年改正カリキュラムの効果的運用と評価</p> <p>2) 2022年度指定規則変更意図の理解とDP、科目目標、内容の検討</p> <p>3) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>2. 主体性を育てる支援の充実：学習習慣獲得に向けた学習と生活の支援</p> <p>1) アクティブラーニング、ICTの活用による自主学習支援</p> <p>2) 臨床判断能力の強化のための学習方略の強化</p> <p>3) 学習や生活上の支援が必要な学生の対応強化：連絡、情報共有</p> <p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <p>1) 教育能力向上：学生指導能力、アクティブラーニング等教育能力の向上</p> <p>2) 研究推進体制の強化、教員の研究能力の向上</p> <p>4. 教育指導体制の充実</p> <p>1) PDCAサイクルに基づく学科活動の推進、教員の連携・協働の強化</p> <p>2) 学部・大学院の教員体制の構築と質保証体制構築に向けた計画立案</p> <p>5. 感染対策等による教務・学務委員の業務の膨大に対応する体制づくり</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4：教育課程・学修成果①～⑦</p> <p>基準6：教員・教員組織①～⑤</p> <p>基準7：学生支援①～③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II教育の質保証体制の構築 4.特色を生かしたカリキュラムの編成・充実</p> <p>III研究業績の向上</p> <p>IV教育に関するビジョンの構築</p> <p>VI包括的な学生支援の充実</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. <b>建学の精神に基づくカリキュラム実施</b> (基準4 ①～⑦) (II-4・5)</p> <p>1) DPを意識した2020年改正カリキュラムの効果的運用と評価</p> <p>内部質保証の推進により、DP、カリキュラムルーブリックを意識したシラバスを作成し <u>科目の評価を実施した</u>。 <u>学生の到達度を学科の年度末評価で確認した</u>。 <u>新カリキュラム2年目で、看護過程とヘルスアセスメントは情報共有し、成人・老年と展開した</u>。 <u>さらに他領域、実習の積み上げを検討し、評価する必要</u>がある。</p> <p>2) 2022年度指定規則変更に伴う申請を行い承認された。2020年改正時に今回改正を見据えて検討していたため大幅改正の必要はなかった。今後、<u>専門科目で、臨床判断能力の強化、ICTの活用、地域包括ケアを反映した展開の充実が必要</u>である。</p> <p>3) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>新入生オリエンテーションゼミは、対面で、学長やシスターから理念に関わる講話を設定できた。<u>戴帽式は、準備段階から学生間で討議を行い、相互に意思を確認することができ、専門職の学びに向かう意志決定の場</u>となっていた。</p> <p>2年、3年の<u>修養会</u>は、対面、半日単位で2日のスケジュールを組み、キャリアデザインと合わせて、<u>自己を見つめ将来のキャリアを考える機会</u>となった。4年次生の修養会は感染予防のためZoom開催とした。出席は、78名(出席率82%)。<u>卒業講演</u>は、例年に看護協会理事の講演に加え、今年度は新たに、看護</p>

管理者である卒業生の講演を企画した。専門職として将来を考える機会となった。

クリスマスは、学年を分散して体育館で実施した。学年ごとのチャペルアワーや行事は実施できなかった。学生が大学に来て対面する場面が少なく、正課外の理念教育には限界があった。これまで、対面で日常的に伝えていた理念教育に繋がる関わりを今後、どのように育てていくのか、検討が必要である。

## 2. 主体性を育てる学生支援の充実（基準7①～③）

2021年度卒業生は95名。就職79名、進学16名（助産師9名、保健師7名）である。3月末の在籍、休学、留年の状況は、1年102名（休学2名）、2年100名、3年99名（休学3名）、4年96名（休学1名）である。退学は、3年1名、4年1名であった。

### 1) アクティブラーニング、ICTの活用による自主学习支援

感染予防対策のため教室利用に制限があることから、対面を半日単位として、遠隔授業と組み合わせた時間割編成であった。活動制限の緩和に応じて対面を増加させるなど、感染状況による変更が多く、対応に苦労した。遠隔授業は、反転授業や課題、ミニテスト、グループワーク等工夫をした。実習はリアルな体験に近づけるように、模擬患者やロールプレイ、臨床指導者による講義等を行った。試験を時間割に組み込み実施した科目あった。一部の学生から授業や試験の遠隔への変更の要望が聞かれたが、感染リスクの判断を伝え対応した。学習の取組は、個人差が顕著で、長期的な視点で自身の成長ための学習意識が不十分で、基本的な学習の不足やアルバイトとのバランスの問題等、自己管理・時間管理に課題のある学生が見られ、支援を必要とした。対面での学生間や教員との情報交換の機会が少ないため、疑問が解決されにくい状況も見られるが、主体的に課題に取り組み、解決する方法を獲得できるよう支援する。

### 2) 臨床判断能力の強化のための学習方略の工夫

カリキュラム改正の意図として、臨床判断能力強化の必要性は、理解していたが、各科目の目標や展開の工夫については、各領域に任せた状況にとどまり、学科全体の共有はできていなかった。卒業時に身につけていたい臨床判断能力をどのように考えるのか、それをどこでどのように育てるのか、講義、演習、実習の積み上げを次年度、計画的に展開できるように、学科の年度末評価において検討する。

### 3) 学習や生活上の支援が必要な学生の対応強化

対面でスタートした新年度であったが、緊急事態宣言により遠隔となり、その後、対面を拡大した。遠隔継続による孤立と対面開始によるストレスは、学生によりその影響は異なっていた。支援教員が確認をして、個別に対応した。

「障害学生支援」の申請があり、検討委員会を開催し、合意書を交わし支援した。本人や保護者の対応など 学生支援教員の負担が大きくなるため、教務の内容の支援と学生のメンタルを含めた支援の役割分担をしながら支援を行った。

国家試験の模擬試験は、感染対策で自宅受験も組み入れ従来どおり実施できた。必修問題をクリアできていない学生に、学生支援教員が個別面談を行い支援した。

1～3年を対象に、国家試験終了後の4年次生から学習方法を伝える場を設定した。国家試験合格者 94名（合格率98.9%）

## 3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり（基準6①～⑤）

### 1) 教育能力向上:学生指導能力、アクティブラーニング等教育能力の向上

実習指導者研修会は、感染拡大の状況から、昨年度に引き続き、中止とした。

2020年改正カリキュラムが3年次まで進み各論実習も始まるので、特に強化が必要

	<p>となる <u>臨床判断や地域包括ケアの視点等について、教員と臨床指導者が理解を深め指導のあり方や主体的学修を促す方法について検討、共有していく必要がある。</u></p> <p>2) 研究推進体制の強化、教員の研究能力の向上</p> <p>2021年度科学研究費助成事業の申請は9件で、新規採択0件、継続6件、合計6件の助成を受けている。特別研究費は1件であった。<u>科研費の申請は増加しているが、採択に結びつける支援、更なる応募と研究を遂行できる時間の確保が課題である。</u></p> <p>今年度は <u>教員評価制度の提案に対して 学科で意見聴取し、多くの意見を反映させることができた。</u> 今年度の実績から開始となるが、教員が自身の状況を客観的に評価し、モチベーションをアップし、教育、研究の質の向上につながる仕組みに作り上げていく必要がある。博士後期課程在籍者は5名（継続3名、新規2名）である。</p> <p><b>4. 教育指導体制の充実（基準6①～⑤）</b></p> <p>1) PDCAサイクルに基づく学科活動の推進、教員の連携・協働の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習をスムーズに、効果的に運営するための体制づくり：昨年は、感染拡大による急な変更により、教員がどのように対応するのかで精一杯だった。今年度も <u>実習の変更を余儀なくされたが、学内実習では、シミュレーションを用いる等、現場でのリアルな体験ができるように工夫した。</u> また、<u>実習施設と連携して、可能な限り現場に出す体制や臨床指導者のオリエンテーションや講義を実施できる体制を整えた。</u></li> <li>・実習は教員と実習指導教員が連携を取りながら指導に当たっているが、<u>実習施設が複数に渡り、多くの実習指導教員を安定して確保することが困難な状況にある。</u></li> </ul> <p>2) 学部・大学院の教員体制の構築と質保証体制構築に向けた計画立案</p> <p>2021年度教員体制は、33名で始動できたが、4月中旬に1名が学内で移動した。看護学科は、3月末現在教授9名、准教授7名、講師10名、助教6名、欠員1名。次年度は、教授8名、准教授9名、講師10名、助教6名で開始の予定である。</p> <p>2024年度 <u>博士後期課程の開始を視野に入れた計画的な教員配置、各教員の教育・研究実績の積み上げ、キャリアアップが必要</u> である。</p> <p><b>5. 感染対策等による教務・学務委員の業務の膨大に対応する体制づくり</b></p> <p>感染拡大に伴う時間割の変更、非常勤講師のサポート等、教務委員、科目責任者の業務の拡大のために、カリキュラムを円滑に運営するために各学年に教育担当係を位置付けた。郵送作業、授業サポートの一部を担ったが、役割が明確ではなかったため、十分に機能できたとは言えなかった。次年度に向けて、<u>学生の支援と学習の支援の役割をより明確にして、分担する体制を学科内で検討し、共有した。</u></p>
次年度への課題	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：3P、カリキュラムルーブリック、新カリキュラムの特徴を教育内容に反映させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学の特徴をDPとルーブリック、指定規則改定の趣旨を反映した科目展開</li> <li>2) 3つのカリキュラム〔2022年（1年）、2020年（2年3年）、2016年（4年）〕の円滑な運用</li> <li>3) 理念教育の一環である行事、修養会等の意味を確認し、効果的な方法を検討する</li> <li>4) 自己中心から他者の視点に転換し、全体をとらえ行動できる人間性を育む。</li> </ol> <p>2. 学生の主体性を育てる支援：主体的学習のための環境整備と学習習慣の獲得</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アクティブラーニング、ICT等の活用による学習支援による自己学習時間の増加</li> <li>2) 臨床判断能力強化のための学習方略の体系化：モデル等の活用及び科目間連携</li> <li>3) 学習支援と学生支援の役割の明確化と教員間の効果的な連携による支援の充実</li> </ol> <p>3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学生の主体的学習・臨床判断力育成のために準備状況に応じた教育を強化する</li> <li>2) 授業参観の活用やアクティブラーニング、ICTの活用等、主体的学習を促す授業</li> </ol>

	<p>の改善を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>3) 会議の短縮、実習、業務内容等を見直し、各領域で調整し、研究時間を確保する</li><li>4) 外部研究費、特別研究費などの研究費を各人、領域等で獲得できるよう支援する。</li><li>5) 各人が目標をもち、学会発表、論文投稿、学会の参加など計画的に実施する。</li><li>6) 専門性を高めるための学会、研修会出席、臨床現場との抄読会・研究会等の勉強会を推進する。</li></ol> <p>4. 教育指導体制の充実：PDCA サイクルに基づく学科活動の推進、教員体制の構築</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 臨床判断能力や地域包括ケアの視点を強化する実習を教員と臨床指導者の連携により組み立てる。</li><li>2) 現場での実習体験を保証できるよう調整を図るとともに、シミュレーションやモデル等により、リアルな学内実習ができるような工夫を行う。</li><li>3) 実習指導教員を安定して確保するための方策について予算会議までに検討する。</li><li>4) 修士課程の強化、博士後期課程の準備に向け教員体制、将来計画を明確にする。</li><li>5) 教員業績評価を活用した教員の目標管理、自己評価による教育研究の質向上、活性化を図る。</li></ol> <p>5. 認証評価の準備：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 基準協会認証結果の改善点の確認</li><li>2) 分野別評価に向けて、設置主旨に地域における本学の役割</li></ol>
--	--

## 1. 教育課程

## 3) 栄養学科

担当： 栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>① 専門教育科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育効果を高めた授業展開を進める。学習成果の測定、カリキュラム評価は継続して実施する。</li> </ul> <p>② 臨地実習について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨地実習施設の確保と共に、臨地実習内容・実習期間の検討を、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施する。</li> </ul> <p>③ 管理栄養士国家試験受験の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討し、合格率100%を目指す。</li> </ul> <p>④ 正課外教育である修養会や大学行事への参加率の学年差異がある状況を踏まえ支援教員の指導による理念教育の充実を目指す。</p> <p>2. 就職支援対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望先が管理栄養士資格必須と必須でない場合とで多様化している。学科と就職委員会の連携強化・指導体制の充実を図り、就職率100%を目指す。</li> <li>・就職試験の受験指導対策の充実を図る。</li> <li>・公務員試験、自治体栄養職員、栄養教諭採用試験の支援・対策の充実を図る。</li> </ul> <p>3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研究活動の充実に向けて努力する。科学研究費をはじめとする外部資金を積極的に獲得するように一層努める。また企業や団体との連携、共同研究において促進していくよう努める。</li> </ul> <p>4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生にとって魅力ある大学」へ向けての課題整理</li> </ul> <p>5. 学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ③④⑤⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ④</p> <p>基準7 学生支援 ②</p> <p>基準8 教育研究等環境</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献②</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>Ⅱ：教育の質保証体制の構築 Ⅱ－4（1）</p> <p>Ⅲ：研究業績の向上 Ⅲ－1（4）</p> <p>Ⅳ：教育に関するビジョンの構築 Ⅳ－1（2）</p> <p>Ⅵ：包括的な学生支援対策の充実 Ⅵ－1（1）（2） Ⅵ－2（2） Ⅵ－3（2）（3）（4）</p> <p>Ⅶ：地域連携と社会貢献の促進・充実 Ⅶ－1（4）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>講義・学内実習・臨地実習では昨年と同様にコロナ禍の影響は受けたが、対面授業、遠隔授業、一部学内実習等、科目担当者間や関係実習施設間との連携により随時調整を図りながら円滑に行われたと評価する。</p>

	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>①専門教育科目について <u>基準4-④ 戦略項目II-4 (1)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DP、カリキュラム・ルーブリックを意識した科目評価、シラバスの作成を実施した</li> </ul> <p>②臨地実習について <u>基準4-③、④ 戦略項目VI-3 (4)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度と同様、コロナ禍の影響で、実習施設の確保は困難を極め、文科省・厚労省合同通知に基づき、一部の学生は臨地実習に相当する学内実習となった。そのような状況下でも、新規開拓、あるいは再開要請にて実習先を確保できた例もあった。臨地実習施設の確保と共に、臨地実習内容・実習期間の検討をし、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施された。</li> </ul> <p>③管理栄養士国家試験受験の支援について <u>基準4-⑦ 戦力項目VI-3 (3)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討した。コロナ禍の影響で、一部自宅受験となったが、業者模擬試験は従来どおり実施することができた。また、対策講義はGoogle Classroomも利用して実施した。4年次支援教員による個別指導も対面に加えて電話やZoomも併用して実施した。さらに成績不振者に対しては、学科長、支援教員による個々の試験対策に向けた個別指導を対面にて行った。</li> </ul> <p>④学内にて修養会は実施し、学外講師、支援教員の指導による理念教育の充実を図った。<u>基準7-②</u></p> <p>2. 就職支援対策の充実 <u>基準7-② 戦略項目VI-3 (2)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。2月21日現在の内定率72.3%（前年度78.2%）、公務員関係では札幌市6名、苫小牧市1名、余市町1名、北海道2名、栄養教諭採用登録者は2名であった。</li> </ul> <p>3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進 <u>基準9-② 戦略項目III-1 (4)、VII-1 (4)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費3件の採択、日本医療研究開発機構1件での共同研究を行っている。</li> <li>・道民の課題を解決するための共同プロジェクトとしてHTTB、イオン北海道との「どうみん健康化計画プロジェクト」を継続して実施。</li> </ul> <p>4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める <u>基準5-④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスや高校訪問時でのプレゼン内容を検討・修正し、高校生が興味を持っていただけるように工夫した。</li> </ul> <p>5. 学習環境・研究活動の充実に向けての支援 <u>基準8-④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エクセル栄養君、FFQg、BDHQバージョンアップの迅速な対応</li> </ul>
次年度への課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、多方面での活動制限が見込まれるが、学科教員全体の協力体制のもと教育の改善と充実をめぐる事が重要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カリキュラムの充実を図るために、2020年度から開講された新カリキュラムの完成年度に向けた評価を行う。</li> <li>2. 将来ビジョンWGを中心として案を作成していただき、学科にて検討したい。</li> <li>3. 国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討し、合格率100%を目指す。</li> <li>4. 内部質保証推進委員会外部委員から栄養学科に臨地実習の在り方、カリキュラムについて意見があり、これらについて今後検討を行う。</li> </ol>

## 1. 教育課程

## 3) 栄養学科—教職課程

担 当： 教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施する。  2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。  3. 栄養教諭免許状更新講習を実施する。  4. 教職課程の自己点検・評価等を検討する。  5. ICTに関する内容充実のために教職課程を改善する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織—②、 基準4 教育課程・学習成果—②～⑦  基準5 学生の受け入れ—①、基準6 教員・教員組織—②、④  基準7 学生支援—①～③、 基準9 社会連携・社会貢献—②</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ—3(3)、 戦略目標Ⅳ—3(5)、 戦略目標Ⅶ—1(6)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施  <u>&lt;基準4—②～⑦&gt; &lt;基準7—①～③&gt; 戦略目標Ⅳ—3(5)</u></p> <p>1) 現場の栄養教諭による授業(講演)の実施(4年次生対象)  * 4年次生対象に3回の特別講師による授業を実施し、教員としての自覚を高めた。また、コロナ禍の影響で、3年次生対象の教職総合演習において体験活動を変更し、特別講師による授業を2回実施した。</p> <p>2) 外部との連携による教育の充実 &lt;別紙1参照&gt;</p> <p>①北海道大学での農場体験  ・農作物の収穫、田植え、稲刈り、官能評価など(1年次生対象)  * コロナ禍のため、全ての農場体験が中止を余儀なくされた。</p> <p>②小学校での夏休みインターンシップ体験  ・連携学校:札幌市立の美香保・新琴似・北光小学校(2年次生対象・正課外)  * 12名の履修者中11名が参加し、大変有意義な体験活動となった。</p> <p>③学外での栄養教育体験・ボランティア活動  ・教職総合演習、教職実践演習(3・4年次生対象)等  ・小学校授業参観(1年次「教職概論」、札幌市立小学校1校)  ・中学校授業参観(3年次「教職総合演習」、札幌市立中学校1校)  ・学校給食センター参観(3年次「教職総合演習」)  * コロナ禍のため、全ての体験活動が中止を余儀なくされた。代替として、教職実践演習では、ICTを活用した栄養教育動画の作成を行い、学生の感想から学習効果が高かったことが確認できた。また、教職総合演習ではZoomによる特別講義とした。</p> <p>3) 履修カルテ活用の充実  ・履修カルテ活用の点検・充実  * 7月にGoogle Classroomで1年次生に履修カルテの記入・活用のガイダンスを実施。1月に全学生の記入状況を点検した。また、12月に3年次生対象に履修カルテを活用した面接を行い、4年次生の教職実践演習では履修カルテを活用した授業を行った。</p> <p>4) 教員採用試験対策ゼミの実施 &lt;別紙1参照&gt;  ・教員採用試験ガイダンスⅡ(4月、4年次生対象、23名参加)  ・1次直前ゼミ(5月、4年次生対象、3日間、14名参加、Zoomで実施)</p>

- ・2次直前ゼミ（8月、4年次生対象、5日間、9名参加、就職委員会と連携）
- ・教員採用試験ガイダンス（12月、3年次生対象、1日間、14名参加）
- ・春期ゼミ（2月、3年次生対象、4日間、12名参加）
- \*教員採用試験ガイダンスⅡは対面で実施できたが、1次直前ゼミは、コロナ禍のためZoom開催とした。それ以外の令和4年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援等は、外部講師を含めて対面形式で予定通り実施した。
- \*1次合格者10名中4名が採用登録。本学現役受験者の合格率は28.6%、合格者全体の現役学生の占有率は50.0%であった（前年度は現役6名が登録、受験者の合格率42.9%、占有率28.6%）。また、札幌市の栄養士採用試験では、8名中5名が採用登録（本学全体では6名）となり、教職課程学生の占有率は62.5%（前年度は25.0%）であった。

2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援 <基準5-①>

- ・教職課程科目の履修を希望する科目等履修生の受入れと支援
- \*本学の卒業生を1名受け入れ、2科目（計4単位）を認定した。

3. 栄養教諭免許状更新講習を実施

<基準9-②> 戦略目標Ⅶ-1(6)

- ・栄養教諭を対象とした講習を実施
- ・小、中、高等学校教員を対象とした講習を実施
- \*文部科学省からの要請を受けて、前年度と同様に3科目を3日間で計画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮しつつ、円滑に運営した。なお、免許状更新講習の有効期間延長の特例措置の継続により、受講者総数は19名であり、昨年度の20名と比較して横ばいに推移した。
- \*多くの受講者からは、講習内容が概ね良好との評価が寄せられた。

講習名	講習日	参加者数
学校で役立つ食物アレルギーの知識とアレルギー対応	8月4日	14名
「みること」をいかして引き出すアクティブ・ラーニング	8月5日	3名
生活習慣病予防のための栄養教育	8月6日	2名

4. 教職課程の自己点検・評価等の実施

<基準3-②> <基準6-②、④> 戦略目標Ⅱ-3(3)

1) 教職課程FD研修会の実施

- ・実施日時：2022年1月20日13:10~14:40
- ・出席者：33名（教職課程に関わる専任教員・非常勤講師・職員9名、学生14名、その他の本学教職員10名）
- ・講師：北海道教育庁 学校教育局長(兼ICT教育推進局長)唐川 智幸 氏
- ・演題：「「令和の日本型教育」の構築を目指して(2021.1中教審答申)」における「学校教育の課題一求められる教員の資質・能力と教員育成機関への期待―」
- \*「Society5.0時代」の到来に向けた新たな社会におけるニーズや要望に対応し、教育機関に勤務をする者として求められる資質を学ぶことで、本学の教員のみならず学生にとっても大変有益な研修会となった。

2) 自己点検・評価の実施と評価結果の公開

- ・1月下旬~2月上旬にかけて教職課程の2~4年次学生と教職員を対象とした自己点検・評価を実施した（回答数：2年次10名、3年次9名、4年次15名、教

	<p>職員9名)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価結果を3月の委員会で分析し学長に報告するとともに、4月に本学ホームページで公開を予定している。</li> </ul> <p>5. ICTに関する内容充実のために教職課程を改善する。</p> <p><u>＜基準4 教育課程・学習成果-②～⑦＞ 戦略目標Ⅱ-3(3)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度入学生からの教育課程を変更し、「教育におけるICT活用論」を2年次前期科目として新設し、関連する学則変更等と文部科学省への届出を行った。</li> </ul>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程委員会業務の円滑な実施と分担の均一化を図る。</li> </ul> </li> <li>2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目等履修生への指導・支援を強化する。</li> </ul> </li> <li>3. 栄養教諭免許状更新講習を円滑に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭が3日間参加できる講習内容を確実に実施する。</li> </ul> </li> <li>4. 教職課程の自己点検・評価、FD研修会等を確実に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検・評価の結果を教職課程の質保証・向上に役立てる。</li> <li>・教職課程の第三者評価について調査・検討する。</li> <li>・全私教協版の様式に基づき、2023年度自己点検評価報告書を作成する。</li> </ul> </li> <li>5. ICT活用能力の向上を図るため、授業におけるICT活用を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTに関する新設科目について、2023年度からの開講準備を行う。</li> <li>・ICT活用能力を高めるため、関係科目における授業を工夫する。</li> </ul> </li> </ol>

# 2021年度 教職課程委員会の行事等一覧

<別紙1>

<2021.4.22 教職課程委員会決定>  
<2022.2.17 同 実施状況報告>

区分名	期日	時間	行事名	対象者など	担当者1	担当者2	備考
ガイダンス	4月6日(火)	12:30~13:10	栄養教諭教職ガイダンス	1年次生	長谷川	松下	希望者:新入生オリエンテーション内
	4月8日(木)	9:00~9:30	教職課程履修の手引ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内) ●GCで実施
	7月15日(木)	10:00~10:20	履修カルテの活用・記入方法ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内) ●GCで実施
栄養教育実習	5月31日(月)~6月11日(金)		栄養教育指導の巡回指導	4年次生	教職課程委員全員 +栄養学科教員		科目責任者:松下 事務業務:星
北大関係 ●全て中止	5月30日(土)	9:30~11:30	田植え	1年次生	新井	松下	土曜開講日、午後授業
	7月14日(火)	13:10~14:10	収穫体験1	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)
	8月27日(木)	9:30~11:30	収穫体験2	1年次生	新井		
	#	11:40~14:00	調理実習	1年次生	松下・高桑	長谷川	学内の実習室
	9月9日(水)	15:10~17:10	搾乳体験	1年次生	新井	松下	
	9月19日(土)	9:30~11:30	稲刈り	1年次生	新井	長谷川	土曜開講日、大学院入試
	11月初~中旬	12:15~13:00	お米の味くらべ	1年次生	長谷川	松下・高桑	お米料理教室の前の週
	11月14日(土)	10:30~13:30	北大生のお米料理教室	北大1~4年次生	長谷川	松下・高桑	学内の実習室、4年次生補助 北大への連絡:新井 土曜開講日
インターンシップ	8月30日(月)~9月10日(金)のうちの1週間	8:30~15:30	学校インターンシップ ・北光小学校 ・美香保小学校 ・新琴似小学校	2年次生	新井・長谷川	星	・4月下旬学校訪問 ・5月初旬:2次調査 ・5月中旬:学校決定 ・6月初旬:依頼文書発送 ・実習中:学校訪問
教員免許制更新講習	8月4日(水)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	教諭全般	武蔵・忠賀		事務業務:星
	8月5日(木)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	教諭全般	鹿内・講師	受付等:全委員	
	8月6日(金)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	栄養教諭	坂本		
教員採用対策	4月16日(金)	16:30~18:00	教員採用試験ガイダンスⅡ	4年次生	星・西川	新井	・東京アカデミー講話資料:新井説明 ・依頼:学務課西川、願書配布・説明:星
	5月25日(火)	10:00~12:10	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月26日(水)	10:00~12:10	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月27日(木)	10:00~12:10	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	6月28日(月)	16:30~17:20	自己採点・教員採用2次ガイダンス	4年次生	新井	長谷川	・自己採点資料手配等:学務課西川 ・2次対策資料配付:新井
	8月2日(月)	9:30~14:00	2次直前ゼミ	4年次生	教職課程委員全員 +教養教育科教員 +栄養学科教員		計画の確定は、7月30日の1次合格者発表後、2021年度は10名が1次合格で9名が面接希望
	8月3日(火)	8:50~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	8月23日(月)	8:50~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	8月24日(火)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	8月25日(水)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	12月9日(木)	16:30~18:00	教員採用試験ガイダンス	3年次生	新井		・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西川
		2月初旬~2月中旬の4日間	9:30~12:00	春期ゼミ	3年次生	新井	長谷川

※1: 北大関係は、北大に打診して確定。2022年度は実施することで確認済みであるが、日程は今後打診して確定する。

※2: 教職実践演習・教職総合演習の行事は省略したが、新米フェアからは撤退する。

※3: 教員採用対策は、2021年度の実施要項に準じた日程。2022年度は2019年度以前の日程に戻ることもあり、柔軟な対応が必要である。

## 1. 教育課程

## 4) 教養教育科

担当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 初年次教育関連  (1) 英語：習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。  (2) 共通基礎科目：高等学校の教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。  (3) 専門基礎科目との連携：新しい教育課程の下、効果的な連携を目指す。</p> <p>2. 学外研修関連  教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>3. その他  昨年度の状況を踏まえ、教養教育科の活動を充実させる。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織 ①②  基準4 教育課程・学修成果 ③～⑦</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>IV-1 (3)、VII-3 (1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 初年次教育関連 (入学前教育・導入教育を含む)</p> <p>◎ 英語：コロナ禍ではあるが、広い教室を利用するなど感染防止に配慮した上で、新入学生に対しプレイスメントテストを実施し、習熟度別クラス編成のために活用した。到達度テストは新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、実施しなかった。</p> <p>◎ 共通基礎科目：</p> <p>○ 化学・生物学… 例年通り、化学基礎・生物基礎・有機化学の問題集を12月初旬に配布し自学自習を促すとともに、推薦入学予定者には問題集の答案を提出させ、2月中旬に添削して返却した。コロナ禍ではあるが、予定していた診断テストを実施し、履修指導に活用した。</p> <p>○ 基礎学修演習… 年度当初は対面授業をおこなえたが、その後、「緊急事態宣言」が出されたことに伴ない、遠隔授業により授業をおこなった。特に大きな混乱はなかった。</p> <p>○ 専門教育科目との連携：カリキュラム・マップに従い、教養教育科目群の各授業は、専門教育科目群の各科目に連携すると期待する。</p> <p>2. 参加を予定していた、東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会 (北見工業大学) は、オンラインによる開催となった。資料を回覧し、教養教育科内で情報共有した。</p> <p>3. その他  (1) 学園中期計画および、客観的指標調査などを踏まえ、また、人事計画も含め、今後の教養教育科のあり方について検討を進めた。  (2) 新しい教育課程における第2外国語科目 (仏、西、韓、中) を実施した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 初年次教育関連 (入学前教育・導入教育を含む) および、専門教育科目との連携を継続する。</p> <p>2. 学園中期計画および、客観的指標調査などを踏まえ、今後の教養教育科のあり方について検討を継続する。</p>

## 1. 教育課程

## 5) 看護栄養学研究科

担当：看護栄養学研究科

本年度の活動目標	<p>1. 将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部卒業生の進学機会の拡大に向けた大学院体制の検討（教員体制、課程・分野・コースの拡大）</li> <li>・看護栄養学研究科としての特色の明確化 課程毎の学位授与の方針、教育課程の編成・実施方針と学生の受け入れ方針を作成し公表している。この内容を課程の特色として分かりやすく広報していくことを検討する。</li> <li>・教育課程のPDCAサイクルの確立 評価方法を明確化し、学習成果を効果的に測定する体制づくりを行う。</li> </ul> <p>2. 教育課程</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新カリキュラムの検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通科目の内容・展開等の見直し</li> <li>・大学院の時間割運営</li> </ul> </li> <li>2) 教務等の委員会や職員体制の検討</li> <li>3) アセスメント・ポリシーを作成する。</li> </ol> <p>3. 大学院生定員確保のための対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入試科目・学費の見直し</li> <li>2) 大学院の広報活動（広報委員会、入試広報室との連携） <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院ホームページの見直しと充実（専攻分野等の紹介）</li> <li>・大学院説明会の実施、公開授業、特別講義等の実施</li> <li>・オープンキャンパスでの大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用</li> <li>・ホームページに大学院に関する記事の掲載</li> <li>・大学院生募集のPR（大学院看護栄養管理栄養学研究科の案内送付）</li> <li>・実習指導者会議、実習巡回時等の機会を活用してのPR、大学院案内、募集要項の配布等</li> <li>・学部生の進学支援の推進。奨学金制度の拡充案の策定と他大学院の情報収集。</li> </ul> </li> <li>3) 学部生に対する大学院進学に対する意識づけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院説明会の開催など</li> <li>・学部生と大学院生、修了生との交流</li> </ul> </li> </ol> <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 院生PCソフトのバージョンアップ、院生学習室の備品等の購入</li> <li>2) 本学で使用しているWeb会議システムZoom等を活用した授業・単位認定の栄養管理栄養学専攻での実施と看護学専攻での検討</li> <li>3) 職業実践力育成プログラム認定制度（文科省）の申請の検討</li> </ol> <p>5. 教育実践・研究活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営</li> <li>2) 看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上</li> <li>3) 両専攻の協働研究・協働事業の検討</li> </ol> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ①-⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①-④</p> <p>基準7 学生支援 ①-③</p>
----------	--

	<p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-3 3ポリシーとアセスメント・ポリシーの明確化(1)(2)</p> <p>II-4 特色を生かしたカリキュラムの編成・充実(1)</p> <p>II-5 学修成果の可視化(4)</p> <p>II-6 FD・SD活動の充実、強化(1)</p> <p>IV-1 学部・大学院の将来ビジョンの再構築(4)</p> <p>V-1 学生の受入れ拡充(3)</p> <p>V-2 入学者選抜への対応(4)</p> <p>VI-1 学生支援策の充実(2)(3)</p> <p>VI-3 キャリア支援の充実・強化(1)(2)</p> <p>VII-1 地域との連携(5)</p>
活動内容の評価	<p>2021年度は看護学専攻修士課程3名(保健師コース2名、修士論文コース:成人看護学1名)が修士(看護学)を取得した。栄養管理学専攻は博士前期課程2名が修士(栄養学)と博士後期課程1名が博士(栄養学)の学位を取得した。また、がん看護専門看護資格試験に1名合格した。</p> <p>活動目標に対する評価を次に示す。</p> <p>1. 将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養管理学専攻においては来年度に向けて所属教員を1名増やし、教員体制を強化する。栄養管理学専攻は社会人向けの制度充実を図ってきた。これに加えて学部生に魅力ある大学院について、さらに検討していく必要がある。</li> <li>・看護栄養学研究科としての特色の明確化については、3つのポリシーを作成し、これに基づいた教育の推進を今後も継続する。</li> <li>・教育課程のPDCAサイクルの確立については、内部質保証推進委員会と連携し、アセスメント・ポリシーの検討を行ってきた。2022年度も継続し体制整備を行う。</li> <li>・看護学専攻において、地域包括ケアシステムの促進に対応できるように、高度実践看護学コースに、2023年に向けて、在宅看護CNSを申請する予定である。</li> <li>・看護学専攻博士後期課程の2024年開設に向け検討会を設置し、検討をすすめている。</li> </ul> <p>2. 教育課程</p> <p>1) 新カリキュラムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学専攻保健師コースは、保健師助産師看護師学校養成所指定の規則改正に伴い、2022年新カリキュラムの学則変更を申請し、承認を得た。</li> <li>・栄養管理学専攻は次年度に向けカリキュラムの評価を継続し、新カリキュラムの検討を始めた。2022年度も継続し、新カリキュラムの検討を行う。</li> </ul> <p>2) 教務等の委員会や職員体制の検討</p> <p>栄養管理学専攻においては来年度に向けて所属教員を1名増やし、教員体制を強化する。今年度は3名の所属教員を増やし、学部学生への大学院周知の拡大ための大学院説明会等を実施した。研究科委員会においては、これまで学部の委員会に相当する担当者が決まっていなかったため、担当者を割り当てて専攻の活動を活発化した。</p> <p>3) ディプロマ・ポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について。栄養管理学専攻は学位論文のリサーチループブリックの試行を行い、次年度からリサーチループブリックの活用を開始することにした。看護学専攻はDPに関する到達度評価を、ループブリックを用いて一部試行する。</p> <p>4) 看護学専攻修士論文コースに基礎看護学分野を追加した。</p>

## 3. 大学院生定員確保のための対策

## 1) 入試科目・学費の見直し

栄養管理学専攻は入試科目の見直しは行わなかったが、入試の過年度問題を公開し、受験者に配慮した。

看護学専攻は入試の過年度問題を学内で公開した（次年度からは配布資料で公開する予定）。

## 2) 大学院の広報活動（広報委員会、入試広報室との連携）

今年度はコロナ禍の影響で活動の制限があったが、以下の活動を実施した。

- ・学部生を対象に大学院進学への意識づけのため説明会を開催した。看護学科は保健師コース説明会を6/20はZoomにより実施し30名（1年生10名、2年生7名、3年生7名、4年生7名）、1/26は3年生を対象に対面で実施し10名参加した。栄養学科7/20 12名（1年8名 2年4名）、7/28 9名（3年6名 4年3名）の参加であった。また看護学専攻と保健師コースのチラシを作成し、1～4年生に配布した。
- ・看護学専攻・保健師コースチラシを作成し、6月に実習施設（102施設）と道内看護系大学（10校）に郵送した。
- ・大学院看護学専攻個別相談会
  - ①2021年7月18日（日）対面開催 参加者：3名（修士論文コース：1名、保健師コース：2名）
  - ②2021年9月27日（月）：保健師コース1名、10月1日（金）：修士論文コース1名（②は開催方法変更により、申込を受けた後に個別対応）
- ・大学院保健師コースオープンキャンパス
  - 2021年8月10日（火）対面開催 参加者：10名
- ・栄養管理学専攻大学院説明会・個別相談
  - 2021年8月11日（水）対面開催 参加者：1名（博士後期課程受験希望）
- ・2022年度入試結果、看護学専攻は修士課程に保健師コース6名、修士論文コース：基礎看護学1名、高度実践看護師コース：精神看護学1名、計8名が合格した。栄養管理学専攻は博士前期課程に1名、博士後期課程に1名が合格した。
- ・看護学専攻には論文コース、高度実践看護学コース、保健師コースがあり、保健師コース以外の2コースは、その中に各分野が含まれている。それらの関係と教育内容をわかりやすく整理することに取り組んでいる。

## 4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援

今年度はコロナウイルス感染症対策を行いながら、院生室の使用認めることとした。備品の購入・ソフトウェアのアップデートについてはSPSS 5台の購入を行った。エクセル栄養君とFFQ gの後継ソフトの導入を1台行った。（年度内に販売されれば購入する）

## 5. 教育実践・研究活動

- ・看護栄養学研究科としてのFD 第1回（看護学専攻担当）7/10「地域包括ケアシステムと政策決定プロセス」日本看護協会常任理事 岡島さおり氏の講演は52名（学内教員32名、院生・修了生・14名、学外者6名）の参加があった。第2回（栄養管理学専攻担当）8/26「研究倫理一人を対象とする研究における倫理と研究不正」北海道大学大学院文学研究院人文学部門哲学宗教学分野 藏田 伸雄 教授の講演はハイブ

	<p>リット方式で実施し、学内教員 44 名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上と両専攻科の協働研究・協働事業の検討は進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。</li> <li>・栄養管理学専攻の演習科目でもある天使健康栄養クリニックについて、全学的に検討を行い休止となった。今後は大学で検討することとなり予算の配分も無くなった。</li> </ul>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大。</li> <li>2. 内部質保証システム整備のための実質的な検討として、教育課程の PDCA サイクルを確立する。</li> <li>3. アセスメント・ポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う。ディプロマ・ポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する。</li> <li>4. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討</li> <li>5. 栄養管理学専攻においても、カリキュラムの評価・検討を今年度に引き続き行う。</li> <li>6. 看護学専攻では、論文コース、保健師コース、高度実践看護師コースの 3 コースが明確にわかるように、配布物や HP の整備に取り組む。</li> </ol>

## 1. 教育課程

## 6) 助産研究科

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎分野の実習施設（特に出産期実習の施設）を開拓し、安定的な実習施設の確保に努める。</li> <li>2. ディプロマポリシーに明示した学修成果の適切な評価について検討する。</li> <li>3. 教員の教育・研究能力の推進と体制づくりを行う。</li> <li>4. 基礎分野の新カリキュラムの申請を文科省に行う。</li> <li>5. 教育分野において、臨床で働く助産師のキャリアアップのニーズに沿った、上級実践者として活躍できる人材の育成を目指し、社会人入学者にとって魅力ある履修しやすいカリキュラム等を検討する。</li> <li>6. 本学大学院助産研究科の教育理念並びに教育目標に基づき、授業参観、FD研修会、学生による授業評価アンケートの実施を中心に、授業内容及び方法の改善・向上並びに教員の資質向上のための諸活動を行う。</li> <li>7. 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技術を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を行う。</li> <li>8. 専門職大学院助産研究科の持続的な教員体制を整備するため、将来を担える若手教授、准教授の確保に努める。</li> <li>9. 教育の質を保証できる教員体制の整備。</li> <li>10. 教員像を明確にし、人事方針等に反映する。</li> <li>11. 兼任教員との助産研究科教育内容等の共有を図る。</li> </ol> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4 ①②③、基準6、基準10 (助産評価機構)</p> <p>基準2-1, 2-2, 2-3、基準5-1, 5-2</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-3(1)、II-4(1)、IV-1(5)、II-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2021年度新生は、基礎分野16名、教育分野0名であった。3月現在の在籍者は、基礎分野1年次生16名、2年次生21名（休学者2名を含む）であり、修了予定者は19名である。</p> <p>基礎分野の教育課程の構成は、基礎科目、実践専門科目、発展・展開科目、特別統合研究科目で構成されている。基礎科目は、「概念形成」「専門基礎」「助産機能」で構成された17単位または18単位、実践専門科目は、「マタニティサイクル助産ケア」「マタニティサイクル助産ケア実践」で構成された31単位、発展・展開科目は、「子育て支援」「性教育」「ウイメンズヘルス」「国際助産学」の4コースで構成され、必修4単位、選択必修で2単位または3単位、特別統合研究科目は1単位、修了要件は合計56単位以上としている。これらの科目と単位について、1年次生16名は34単位、2年次生19名は56単位の予定の履修を終えている。</p> <p>5月にオンラインによる教育課程連携協議会を開催した。外部委員として、実習施設であり、毎年修了生が就職している市内公立病院看護部長、日本助産師教育協議会研修センター長、日本助産評価機構委員の3名にご出席いただき、産業界との連携による専門職大学院教育について意見交換を行い、評価と助言を得た。</p> <p>1. 実習施設の安定的な確保</p> <p>これまでの実習施設に加え、新たに1実習施設を確保した。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から実習期間半ばで実習中止となった施設が複数あった。</p>

- 1) 1年次の「マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、病院6施設、「マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ」は病院7施設にて実習を行った。
- 2) 2年次の「マタニティサイクル独立助産実習」は助産院7施設で、「マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ」は病院4施設で実習を行った。「ハイリスク演習」はNICU演習1施設、MFICU演習1施設で行なった。
- 3) 2年次生の補習実習として、診療所・病院4施設で分娩期ケア実習を行った。
- 4) 2年次の発展展開科目  
 「性教育実習」は、例年どおりミッションスクール（高校）において対面形式で性教育授業を2クラス実施し、科目目標を達成した。  
 「ウィメンズヘルスⅡ・演習」と「子育て支援Ⅱ・演習」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学外演習時間短縮に伴う学内演習時間の調整、内容の一部変更、対面からオンラインを活用した授業・演習等の工夫によって科目目標を達成した。  
 「国際助産学Ⅱ・実習」は、世界規模の新型コロナウイルス感染症拡大のため、海外実習は中止とし、学内実習プログラム（国際医療研究センター主催のオンライン研修受講、開発途上国における母子健康支援に関わっている現役の助産師・看護師の講義とディスカッション、英語による日本の母子保健の紹介プレゼンテーション、ほか）により科目目標達成に近づけた。
- 5) 新型コロナウイルス感染症への対応  
 実践専門科目のなかの「マタニティサイクル助産ケア実践」では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、実習施設からの要請により期間短縮や実習時期の変更、実習中止を余儀なくされ、急遽、一部を学内実習プログラムに変更した実習があった。また、助産師養成指定規則にある助産学生の正常分娩介助10例程度は、教育計画の正規の実習期間では達成が困難であったことから、休止中であつた実習施設に実習再開を依頼、新たな実習施設の開拓等により補習実習のための4施設を確保し、2年次生全員が修了までに分娩期（含む分娩介助）ケア事例数10件を達成した。  
 また、新型コロナウイルス感染症対策として、実習施設の要請に基づき実習前のPCR検査、遠隔地から帰学前のPCR検査、新型コロナワクチン接種を院生教員とも適宜行い、感染予防を行った。  
 少子化の進行やハイリスク妊産婦の増加、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から特に「マタニティサイクル助産ケア実践」では、当初の教育計画にある実習期間内では、実習目標の達成が困難となっている。ローリスク妊産婦の分娩件数が多い実習施設の確保、札幌市内や近郊の実習施設確保のための努力を継続していきたい。
- 6) 実習指導体制  
 実習指導体制としては、各実習施設には経験豊富な助産師が助産院生の臨床指導者として配置されている。専任教員は、原則ひとつの実習施設を担当し、実習指導教員（非常勤の実習補助教員）とともに臨床指導助産師と連携して次週調整や指導を行っている。しかし、必要とする実習指導教員数が得られていないことから実習期間中の専任教員の負担が少なくない。特に、実習指導教員が得られない実習施設の担当教員や実習期間中に他の学年の授業がある教員、遠隔地の実習施設担当となり長期間大学に不在となる教員には、教育研究活動の時間的制限、心身の健康管理と個人的な生活に及ぼす影響は大きく、今後の人事方針や中期計画の見直しと検討事項と考える。

## 2. 学修成果の適切な評価

- 1) 「マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ」科目については、プレテストおよびポストテスト、中間試験を行い、実習前後の知識と理解の確認を行い、その後のフォローを行った。
- 2) 「マタニティサイクル助産ケア基礎実習・統合実習Ⅰ」においては、ルーブリック評価を用い中間の院生評価および教員評価を実習指導に活用して、優良な最終評価となるよう形成評価を行った。
- 3) 「健康教育演習」の学修成果の一環として院生によるweb 両親学級を作成し、SNSで公開した。好評を得て日本助産師会から当会のホームページにリンクを張りたい、との要望があった。視聴回数は10万回を超えている。
- 4) 「子育て支援」「性教育」「ウィメンズヘルス」「国際助産学」の4コースの履修後、各コースの学修成果発表会を行い、1年次生、2年次生全員で共有を図った。
- 5) 各科目及び実習の終了時に、院生による授業（実習）評価アンケートを実施し、結果を院生・教員で共有をはかるとともに、より効果的な授業（実習）への工夫に活かしている。
- 6) 修了予定者に対して「学修到達度自己評価」アンケートを実施した。分析結果を今後の助産教育の向上にむけ活用する。
- 7) 新型コロナウイルス感染症への対応  
基本的な感染症対策行動とともに、毎日の健康管理表への記入等、自主的な感染予防行動を促した。新型コロナウイルス感染症拡大状況により、本学の「新型コロナウイルス感染症に対する活動制限レベル（Ⅰ～Ⅴ）」に従い、1年次生と2年次生の分散登校、オンライン授業への変更、感染対策を行ったうえでの対面授業等の授業形態や時間割の調整を行った。

## 3. 教員の教育・研究能力の推進と体制づくり

## 1) F D S D 研修会

## (1) 助産研究科主催FD研修

目的：新型コロナウイルス感染症の蔓延による、産科医療、妊産褥婦への影響を知る。最近の妊婦の感染症と治療を知る。

日時：2021年10月19日（火）16：00～17：30

方法：対面、オンデマンド

内容：『妊婦の感染症～新型コロナウイルス・サイトメガロウイルス・トキソプラズマ他』手稲溪仁会病院 不育症センター長 山田秀人 先生

参加者：35名（教員17名、院生18名）

## (2) その他F D S D 研修

大学F D S D委員会、大学院看護栄養学研究科、研究倫理委員会、教職課程委員会、I R室主催のFD研修会、事務局、ハラスメント防止委員会、カトリックセンター主催のSD研修会を対面またはオンライン・オンデマンドで受講した。

## 2) 授業参観

授業の動画「助産管理論Ⅰ（インシデント、アクシデント、産科医療補償制度）三浦恵美子先生」をGoogle Classroomに掲載し、視聴参観できるようにした。また、他学部の授業動画を視聴参観した。

## 3) 学生による授業評価アンケート

授業終了時に、院生にWebによるアンケートを実施した。

## 4) 全国助産師教育協議会主催セカンドステージ研修「助産師教育開発論」に助産研

究科を代表して教員2名が受講し、研究科内で学習の共有をはかった。

5) 各種研修会の案内を配信し、各教員の研修会参加の促進をはかった。

#### 4. 助産師養成所指定規則変更に伴い変更したカリキュラム申請

文部科学省に申請した基礎分野のカリキュラムが認可された。2022年度入学生より新カリキュラムでの教育を実施する。

#### 5. 「教育分野」のカリキュラム等検討

天使大学大学院助産研究科教育分野（以下、教育分野）は、教育機関、臨床の場で助産師を目指す人を教育・指導する人材養成を目的として、2008年に開設され、10年以上が経過した。2018年度に実施された日本助産評価機構および大学基準協会による評価では、履修期間、定員管理等に関する指摘を受けており、その改善に向けては、教育内容も含めた包括的な取り組みが必要と考えた。教育分野を、臨床で働く助産師のキャリアアップのニーズに沿った、魅力のある履修しやすいプログラムとするため、カリキュラム改正等の具体的検討を2021年6月より開始・実施している。2023年度入学生からの改正プログラム適用を目指している。

##### 1) 提出している教育分野改正内容

###### (1) 教育目的、教育目標、3ポリシーの修正

助産基礎教育だけではなく、助産の臨床の場における教育の上級実践者として活躍できる人材の育成を目指すことを明記する。

###### (2) カリキュラムの改正

- ① 助産基礎教育での教育能力だけではなく、助産の臨床の場における教育の上級実践者としての活躍を視野に入れた科目を設定する。
- ② 臨床で活躍する助産師が、就業しながら履修できるプログラムを作成する。
- ③ 過密なカリキュラムを避け、学修に必要な時間を確保できるよう修業年限を2年間とする。

###### (3) 履修生の経済的負担の軽減

高額な授業料は、社会人履修者にとっても大きな負担である。助産研究科では、入学者の確保につながるためにも、看護学専攻と同額までの授業料等納入金の減額を要望している。とくに、天使大学の卒業生に対しては、教育者として母校に戻ってくれる学生の確保につながるよう、看護学専攻と同様の対応を要望している。

##### 2) 教育分野カリキュラム等見直しに向けた今年度の活動内容と経過

###### (1) 助産研究科内ワーキングを6月24日～8月12日まで7回開催した。

- ・第7回WGには、助産研究科教育課程連携協議会委員の恵美須先生リモート参加
- ・9月29日以降は、科内ワーキングではなく科内検討事項とした（9月1日）。

###### (2) 助産研究科カリキュラム等検討有識者会議を開催した。

- ・助産・看護の有識者として、濱田悦子先生（天使大学評議員、元日本赤十字看護大学学長）、恵美須文枝先生（日本助産教育評価機構評議員、元亀田医療大学教授）、平澤美恵子先生（助産師教育研修研究センター長、元日本赤十字看護大学教授）にご参加いただき、教育目標・ポリシー、カリキュラム、学納金等の改正案について有益な助言を得た。
- ・9月15日 会議報告書を理事長、学長に提出。
- ・9月22日 臨時助産研究科教授会で会議での検討内容について報告

- (3) 行政手続きが、「届出」でよいことを確認した(9月30日)
- ・カリキュラム改正等変更にかかる手続きについては、「学則変更」に伴う「届出」を①大学設置室、②医学教育課、両方を行うことを確認した。
- (4) 教育分野カリキュラム等改正に関する学内手続きを10月に開始した。
- ・10月7日 助産研究科教授会報告
  - ・10月19日 助産研究科教授会報告
  - ・11月8日 教育研究評議会審議事項
  - ・11月10日 助産研究科教授会審議事項
  - ・12月6日 教育研究評議会審議事項
  - ・1月11日 教育研究評議会審議事項
  - ・2月14日 教育研究評議会意見聴取事項(理事長臨席)
  - ・2月17日 助産研究科教授会報告(理事長臨席)
- 今後は学長名により、助産研究科と看護栄養学研究科の合同履修科目で想定される問題について議論の場を設け、検討する予定である。

## 6. 教員組織

当初予定になかった教授1名の退職、急な研究科長の交代、4月に入ってから客員教授の授業コマ数の変更など、新学期になってからの教員体制の変動があった。それに伴う教員間の担当授業や時間割の調整が新学期に入ってからも行われた。

### 1) 助産研究科の持続的な教員体制の整備

「助産研究科専任教員の採用及び昇任の選考に関する規定」に基づき、教員の採用および昇任を行っている。昨年度に嘱託教員であった教授の退職があり、今年度は、新たに専任の教授2名の採用があった。また、講師1名が10月から准教授に昇任した。これにより、助産研究科の教員15名は、助産師である専任教員7名、臨床専任教員3名、助産師ではない兼任教員5名の構成となった。

専任教員の内訳は、教授4名、准教授1名、助教2名であり、臨床専任教員3名は教授である。兼任教員は、学長、看護栄養学研究科教授2名、看護栄養学部准教授2名である。また、期限付き採用であった2名の若手教員が、次年度からは講師1名、助教1名での採用が決まったことから、次年度の教員体制の強化を図ることができた。

新たに着任した教員1名は専門職大学院での教員歴があり、もう1名は助産師教育を修了している教員であることから、基礎分野の教育はもちろん、今後の教育分野の教育においても有用な人材獲得ができた。

### 2). 教育の質を保証できる教員体制の整備

今年度の新生は16名であったが、次年度の入学志願者は30名を超えたことから、今後、教育の質を保証できる教員体制に向け、兼任教員のあり方や適切な人数について検討していきたい。

### 3) 教員像を明確にし、人事方針等に反映する。

実務家教員として助産師養成の教育が可能な教員であると同時に、中堅助産師のキャリアアップを支援する教育分野の教育に携われる教員、研究指導とともに自らの研究活動を主体的に展開できる教員が求められる。そのために、若手教員の博士課程進学や研究活動の時間的確保が可能な職場環境を整備していく必要がある。

### 4) 兼任教員との助産研究科教育内容等の共有を図る

兼任教員である教授には助産研究科教授会のメンバーとして出席をいただいている。今後は、准教授の兼任教員においては、教授会の陪席をすることにより、

	<p>助産研究科の教育等の情報共有を図っていききたい。また、院生の学修成果を発表する機会への参加を案内していききたい。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習施設の開拓し、安定的な実習施設の確保に努める。(継続)</li> <li>2. 教育の質確保のための教員体制の整備、実習指導体制の充実を図る。</li> <li>3. 教員の教育・研究能力の推進と体制づくりを行う。</li> <li>4. 助産研究科の教育の向上に向けた F D 研修会、臨地実習における教員（臨床指導教員含む）の資質向上のための臨床指導者 F D 研修会を実施する。</li> <li>5. 授業参観、学生による授業評価アンケートを実施して、教育の向上に向けた改善を図る。</li> <li>6. 学内・学外の研修を受け、教育の資質および研究能力の向上に努める。</li> <li>7. 基礎分野の新カリキュラムの適切な運用を行う。</li> <li>8. 内部質保証システム整備として、教育課程の PDCA サイクルを確立する。</li> <li>9. 2023 年度教育分野入学生からの改正カリキュラム適用を目標に、検討と必要な手続きを行う。</li> <li>10. 専門職大学院助産研究科の持続的な教員体制を整備するため、将来を担える教員の確保に努める。</li> <li>11. 教育の質を保証ができる教員体制の整備。</li> </ol>

## 2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 各種入学者選抜について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</p> <p>2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学者選抜について検討を継続する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-2、VI-4、VIII-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p><b>【活動目標に対する評価（総評）】</b></p> <p>入試委員会では、以下の改善を行い、2022年度入学者選抜においては、試験・採点・合否判定・発表を公正かつ適正に進め、大きなミスなどもなく終了することができた。</p> <p>学力試験、個別面接試験当日は、雪害の影響による学力試験タイムスケジュールの繰下げや出勤ができなかった面接担当者の変更など生じたが、学長、入試委員会、入試・広報室の連携の下で準備・対応を行い、リスクを回避した。また、一昨年から続く新型コロナウイルス感染予防対策も徹底し、不測の事態が起こっても対応できるように準備を行った。</p> <p><b>【改善事項等（活動目標毎）】</b></p> <p>1. 2022年度入学者選抜に関する改善点は以下のとおり。</p> <p>① コロナ対策のため2020年度に中止した面接試験と追試験の両方を実施することが日程上困難であったため、2022年度は学科ごとに一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜の面接試験を統合して実施した。さらに、面接試験を実施したことにより、「学力の3要素」を評価する選抜制度へ改正することができた。(基準5-②、④、V-2)</p> <p>② 文部科学省より、「令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保について(依頼)」の通知に対し、入試委員会、入試・広報室で検討し、できる限りの対応を行えるよう準備を行った。(基準5-②、V-2)</p> <p>③ 一般選抜において、各試験室に配置する試験監督者を1名以上増員し、不正防止に努めた。(基準5-②、V-2)</p> <p>④ 各入学者選抜において、新型コロナウイルスや雪害の影響で、選抜当日に起こりうる不測の事態に備え、予備員の配置を増員した。(基準5-②、V-2)</p> <p>⑤ 一般選抜における出題ミスの防止対策として、問題作成及び校正スケジュールを早め、第三者機関による点検後に問題を修正する時間を昨年度よりも長く確保した。(基準5-④、V-2)</p> <p>⑥ 文部科学省の方針や大学入試センター成績請求日の急な変更等で、事前に機関決定した本学の入学者選抜制度や日程に影響が出たが、迅速に対応を行い、受験者に影響の無いよう入学者選抜要項を発行した。(基準5-①、V-2)</p> <p>⑦ 特例追試験の運営体制を整備し、受験者に影響の出ないよう通常の本試験と変わらず公正に実施した。(基準5-①、V-2)</p> <p>⑧ 各選抜の志願者に向けて新型コロナウイルス感染予防への要請等を公式ホームページから行った。(基準5-②、V-2)</p> <p>⑨ 大学入学共通テストにおいては、藤女子大学、東海大学の3大学校でいずれも不備なく終了することができた。次年度は、本学が責任大学となるため、今年度同様に不備なく実施ができるよう改善を行う。(基準5-①、V-2)</p>

	<p>⑩ その他、各種入学試験に関するアンケートを教職員対象に実施し、その結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。(基準5-②、④ V-2)</p> <p>2. 入学者選抜に関する検討は以下の通り。</p> <p>① 学校推薦・社会人選抜における小論文試験について、問題作成委員会の役割等を明確化した。</p>
次年度への課題	<p>1. 各入学者選抜に設けている特例追試験の実施方法や在り方を検討する。</p> <p>2. 一般選抜において作成した問題の使用・保管方法を引き続き検討する。</p> <p>3. 新学習指導要領改訂後の入学者選抜について、検討を進める。</p> <p>4. 大学入学共通テストの実施・運営体制の反省や見直しを3大学で行う。</p>

## 2. 学生の受け入れ

担当： 広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>目標1. 入学志願者数及び入学者数の安定的確保 目標2. 入学者の学力的質保証 目標3. 内部質保証のためのPDCAの循環</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準5 学生の受け入れ ② ③ ④ (改善課題・是正勧告) 改善課題No.3 (2018年度認証評価 基準5)</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) (中期計画戦略目標に該当する項目の基準番号等記入欄) 戦略目標V-1. 学生の受入れ拡充 (2) (3)</p> <p>【大学基準協会の点検・評価項目と広報委員会目標との対応表】</p> <table border="1" data-bbox="486 712 1374 936"> <thead> <tr> <th>大学基準協会の点検・評価項目</th> <th>広報委員会活動目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準5 ②</td> <td>目標1・2</td> </tr> <tr> <td>基準5 ③</td> <td>目標1</td> </tr> <tr> <td>基準5 ④</td> <td>目標3</td> </tr> <tr> <td>改善課題No.3</td> <td>目標1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中期計画戦略目標と広報委員会目標の対応表】</p> <table border="1" data-bbox="486 976 1374 1066"> <thead> <tr> <th>中期計画戦略目標に該当する項目</th> <th>広報委員会活動目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戦略目標V-1 (2)</td> <td>目標1</td> </tr> </tbody> </table>	大学基準協会の点検・評価項目	広報委員会活動目標	基準5 ②	目標1・2	基準5 ③	目標1	基準5 ④	目標3	改善課題No.3	目標1	中期計画戦略目標に該当する項目	広報委員会活動目標	戦略目標V-1 (2)	目標1
大学基準協会の点検・評価項目	広報委員会活動目標														
基準5 ②	目標1・2														
基準5 ③	目標1														
基準5 ④	目標3														
改善課題No.3	目標1														
中期計画戦略目標に該当する項目	広報委員会活動目標														
戦略目標V-1 (2)	目標1														
<p>活動内容の評価</p>	<p>【大学基準協会点検・評価項目 基準5 ②関連】《目標1・2関連》</p> <p>1. 教職員参加型の広報活動</p> <p>①オープンキャンパス(OC)、進学相談会・校内ガイダンス・・・例年全員参加を原則にしているが、今年度はコロナ禍につき一部の教職員に限定した。</p> <p>②模擬授業(学内外)・・・教員</p> <p>③高校訪問・・・職員</p> <p>④併設大学院説明会(本学学生対象)・・・各専攻教員</p> <p>【大学基準協会点検・評価項目 基準5 ③関連】《目標1関連》</p> <p>1. 学生数の管理</p> <p>2021年5月1日現在における看護栄養学部の在籍者数については、看護学科399名(収容定員充足率106%)、栄養学科369名(105%)で、両学科ともに収容定員を適正に管理している。</p> <p>大学院看護栄養学研究科については、看護学専攻が12名(43%)、栄養管理学専攻が11名(92%)と収容定員を満たしていない。</p> <p>【大学基準協会点検・評価項目 基準5 ④関連】《目標3関連》</p> <p>1. 内部質保証(点検評価)に向けたデータ整理・活用</p> <p>①次の活動評価指標を整理し、データを蓄積して、改善につなげている。</p> <p>●入学者選抜データ ●新入生アンケート ●OCデータ ●OC参加者アンケート</p> <p>2. コロナ禍における志願者・入学者確保のための活動</p> <p>(1)ダイレクトメール(DM)</p> <p>①受験生向け</p>														

本学に資料請求があった高校生、既卒者、中学生などへ2022年度大学案内パンフレット、入学者選抜要項、過去問題集、OC案内チラシ、志願促進リーフレット、クリスマスカードを送付し、資料請求者に対して年度をとおしたフォローアップを行った。

②高校進路指導部向け

道内外の志願実績校（約200校）に対して、7月に2022年度大学案内パンフレット、入学者選抜要項、過去問題集、OC案内チラシ等を送付した。

(2) オープンキャンパス (OC)

人数制限及び感染対策に留意しながら、次のコンテンツにより実施した。

学科紹介・職業紹介 模擬授業 入学者選抜ガイダンス

学生発表（受験体験、学修・実習体験、学生生活など） 施設見学

①第1回 7月18日（日） 高校3年生対象

緊急事態宣言下のため当初予定していた6月20日（日）から変更し、午前に栄養学科、午後に看護学科のOCを開催した。

参加者数：看護学科44名 栄養学科43名（申込制限 各50名）

②第2回 看護学科8月10日（火） 栄養学科8月11日（水）

高校全学年対象

本学で職域接種を実施したことから、当初予定していた日程を1週間繰り下げて、学科ごとに午前・午後の2回実施した。

参加者数：看護学科90名 栄養学科85名（申込制限 各50名×2回×2学科）

③第3回 Web型OC

緊急事態宣言下のため当初予定していた9月25日（土）の来学型OCをWeb型に変更して実施した（視聴可能期間：9月24日～10月11日）。

この回では、上記のコンテンツのほかに大手予備校講師による入学者選抜対策講座（小論文、英語）を実施した。

参加者数：看護学科115名 栄養学科73名（申込制限なし）

④第4回 3月26日（土） 高校1・2年生対象

午前に栄養学科、午後に看護学科のコンテンツを実施した。

参加者数：看護学科71名 栄養学科77名（申込制限 各75名）

(3)公式ホームページ (HP) によるPR強化

①基礎資料の掲載

大学案内パンフレット、入学者選抜要項、各種広報チラシ、Web型OC資料などの閲覧及びダウンロードを可能にした。

②教員紹介の新規制作

看護栄養学部及び看護栄養学研究科の全教員の紹介を目的とした「顔と人物」がわかる親しみやすいページを制作し、6月に公開した。

③トップページ写真等の更新

トップ画面などの写真等を入れ替え、イメージ刷新をした。

(4) 高校訪問、進学相談会・校内ガイダンス、模擬授業

①高校訪問

入試・広報室員をはじめとする事務職員が6月下旬から道内約100校の高校を訪問し、一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜の統合型面接試験の変更点などを広報した。

②進学相談会・校内ガイダンス

緊急事態宣言下において、予定していた高校及び業者主催の企画が中止となっ

	<p>たケースもあったが、感染防止対策を講じながら開催した相談会・校内ガイダンス（道内各地の約20会場）へは入試・広報室員等の事務職員が参加した。</p> <p>③模擬授業 コロナ禍において中止をする高校がほとんどの中、依頼があった道内の7つの高校における模擬授業及び職業に関する解説等について、教職員が担当した。</p> <p><b>【改善課題No.3 関連】【中期計画 戦略目標V-1 (2) 関連】</b></p> <p>1. 看護栄養学研究科に関する広報（各専攻との連携業務）</p> <p>①大学案内パンフレットの充実</p> <p>看護学専攻 高度実践看護師コースの修了生紹介を1名から3名に増加した。</p> <p>栄養管理学専攻 天使栄養クリニックを削除し、教職課程（栄養教諭専修免許状）に関する紹介に変更した。</p> <p>両専攻共通 オープンキャンパス及び大学院説明会の日程を裏表紙に掲載した。</p> <p>②実習施設に対する大学案内パンフレット、入学者選抜要項、看護学専攻チラシ、保健師コースチラシの配布各専攻からの要望を聴取して、6月に看護系大学及び実習施設等に上記の資料を送付または担当教員が持参した。また、2つのチラシについては本学の看護学科生にも配布した。</p> <p>③過去問題の公開 今年度から看護学専攻の過去問題の閲覧を可能とした（栄養管理学専攻は昨年度から公表）。</p> <p>④天使大学看護学科生、栄養学科生対象の説明会</p> <p>看護学専攻 （1～4年次生）6月20日（日）保健師コースZoom説明会 30名 （3年次生）1月26日（水）保健師コース説明会 10名</p> <p>栄養管理学専攻 （1～4年次生）7月20日（火）・28日（水） 計21名</p> <p>⑤個別相談会</p> <p>看護学専攻 7月18日（日）修論コース、保健師コース 3名 9月27日（月）保健師コース 1名 10月1日（金）修論コース 1名</p> <p>栄養管理学専攻 大学院説明会と同日開催を予定していたが申込者なし</p> <p>⑥オープンキャンパス、大学院説明会</p> <p>看護学専攻（オープンキャンパス） 8月10日（火）保健師コース 10名</p> <p>栄養管理学専攻（大学院説明会） 8月11日（水）、9月25日（土）を予定したが申込者なし</p>
次年度への課題	<p><b>【目標】</b> 2021年度と同じ3項目（目標1～3）</p> <p><b>【重点課題】</b> 1. HP（公式HP）の充実 2. 大学院入学者数の増加 3. 栄養学科の志願者数の増加</p>

## 2. 学生の受け入れ

担 当： 助産研究科入試広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 限られたマンパワー・予算の中で、「アドミッション・ポリシーに適った志願者」が増加するよう、広報効果の最大化を図る。</p> <p>2. 入試選抜のミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない選抜の実施・運営に万全を期する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <p>日本助産評価機構基準番号 第3章 入学者選抜 3-1-1、3-1-2、3-1-4、3-1-5</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-1、V-2、</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 広報についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた6月と8月のオープンキャンパスをWEB配信方式とした。6月のオープンキャンパスは、37名の申し込みがあり、35名が視聴した。8月のオープンキャンパスは、43名の申し込みがあり、42名が視聴した。視聴者数は、延べ77名となり大幅に増加した。</p> <p>②助産研究科ちらし・ポスター・パンフレット・入学者選抜要項を病院・看護大学等に一齐送付した。</p> <p>2. 選抜についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①志願者が新型コロナウイルス感染症などに罹患しても対応できるよう追試験の日程を定めた。あわせて、各選抜当日は面接試験室ドアを開放・手指消毒の呼びかけ等の感染予防を徹底した選抜を行った。</p> <p>②万全体制で試験実施を行うため、事務局（入試・広報室員）を昨年度から1名増員した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. WEBサイトについて、引き続き、他の大学院との違い等訴求内容が伝わりやすいよう見直しを行う。</p> <p>2. 魅力あるオープンキャンパスへの動員および出願者を増加させるため、引き続き、オープンキャンパスの魅力あるコンテンツの検討を行う。</p> <p>3. 天使大学 看護学科学生に対する広報活動を強化する。</p> <p>①看護学科学生に向けた、授業公開や院生との交流会の実施を検討する。</p> <p>②学部進学者のメリット（入試、学費等）を検討する。</p> <p>4. 看護系大学や病院等への広報活動を強化する。</p> <p>①道内看護系大学 ②教育分野受験生への広報（ペリネイタルケア広告）</p> <p>5. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。限られた人員で実施するため、事務局の協力も含めた体制を検討する。</p>

## 3. 教員組織

担 当： 教育研究評議会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 教員採用を早期に実施できるよう、学内関係学科、研究科、科からの意見聴取を早期に行い、人事方針の策定に努める。</p> <p>2. 大学院教育の充実に向けて、大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置に向けた取組みを推進するため、教員確保や整備内容の検討を進める。</p> <p>3. 専門職大学院助産研究科の持続的な教員体制を整備するため、将来を担える若手の教授、准教授の確保に努める。</p> <p>4. 教養教育科のあり方について検討する。</p> <p>5. 非常勤講師について、学内教員が対応できる科目については学内で対応し該当教員が学内で確保できない場合にのみ委嘱することの原則を周知徹底する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6 教員・教員組織 ①、②、③、⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅳ 教育に関するビジョンの構築</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教員採用を早期に開始できるよう、2022年度人事方針について5月理事会で、また、教員募集大綱を7月理事会で決定し、8月から教員公募を開始したので、前年度に比べ約2ヵ月早く進めることにより、教員採用の事務を円滑に実施できた。</p> <p>2. 大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置については、昨年7月の理事会決定により部会の解散を決めたので、大学院博士後期課程の教育を担当できる資格を有する教員の確保に努めることとし、学長から看護学科に対して検討を要請し、看護学科長を中心に準備を進めている。</p> <p>3. 専門職大学院助産研究科については、上記2と同様に昨年7月の理事会決定により部会の解散を決めたので、学長指示により助産研究科及び教育研究評議会でのあり方について検討しているため、今後、理事会に結果を報告することになっている。</p> <p>また、2022年からの助産研究科教員体制として、将来を担える准教授、講師、助教の確保に努めた。</p> <p>4. 教養教育科のあり方については、具体的な検討は行われなかった。</p> <p>5. 教員組織について</p> <p>(1) 看護栄養学部の教員定数は66名とし、その内訳は看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科6名、助産研究科の教員定数は15名とし、その内訳は専任教員7名、臨床専任教員3名、兼任教員5名とした。</p> <p>(2) 各学科の教授の定数は各学科の定数の3分の1以内を原則とした。</p> <p>(3) 昨年度から学内教員の昇任機会を増やし、2021年10月に准教授へ2名昇任した。</p> <p>2022年4月に准教授へ1名、講師へ1名昇任することが決定した。</p> <p>(4) 嘱託教員の退職等を見据えて、専任の教員を5名採用することが決定した。</p> <p>准教授2名、講師1名、助教2名</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 次年度においても、早期に人事方針を策定するよう努める。</p> <p>2. 看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置に向けた取組みを推進する。</p> <p>3. 栄養学科における医師教員の確保等の教員体制の整備に努める。</p> <p>4. 教養教育科については、法人統合に伴う検討が進められていることを考慮し、教職課程を担う教員等の必要な教員の確保策について人事ヒアリング等により学内検討を進める。</p>

## 4. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け、研究意欲の発揚と共同研究の推進に努める。</p> <p>2. 教員の研究時間確保と環境整備について、具体的な対策を検討する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境 ③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>III-1 (2)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け、研究意欲の発揚と共同研究の推進に努める。</p> <p>1) 各学科・科から「科学研究費アドバイザー」を選出し、申請書の作成等各種相談体制を継続して整備した。</p> <p>2) 特別研究費による報告会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、研究報告趣旨を学内掲示板に掲載した。</p> <p>3) 2022年3月24日に「2021年度科研費獲得セミナー」を実施する。(予定) 講師として元文部科学省学術調査官・科研費担当であった竹宮孝子氏を招請し「科学研究費獲得のコツと戦略」をテーマにZOOMで開催する。</p> <p>4) 2021年度天使大学紀要第22巻第1号は、6件の投稿があった。</p> <p>①新井英志 教職課程コアカリキュラムに対応した「教育課程論」の実践と効果(2) ー学習指導案作成と模擬授業発表におけるアクティブ・ラーニングの検証ー</p> <p>②新井英志他 栄養教諭の食に関する指導上の課題と改善方策の検討</p> <p>③新井英志他 「教職実践演習(栄養教諭)」における「ICTを活用した栄養教育」の効果</p> <p>④秋山雅代他 ICTを取り入れた反転授業のデザインに基づく看護技術教育の効果と課題</p> <p>⑤重岡妙他 中等度及び重度認知症高齢者の足病変に注目した転倒リスクアセスメント</p> <p>⑥長内さゆり他 デンマークの高齢者ケアにおけるペタゴリーとペタゴギックの実際 ～ノーフェンス・ホイスコーレにおける視察を通して～</p> <p>2. 教員の研究時間確保と環境整備について、具体的な対策を検討する。 研究のための「よろず相談」を継続して実施した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 科学研究費等競争的外部研究資金獲得のための情報提供や研究発表の機会を設け、また研究環境の向上のための方策を検討し、研究意欲の発揚と共同研究の推進に努める。</p> <p>2. 紀要第23巻第1号、第2号を発行する。</p> <p>3. 本学ホームページに、研究成果等を掲載するバナーを新たに設置し、研究成果の発信ルートとする。</p>

## 4. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の活性化に対応できる倫理審査の実施</li> <li>2. 迅速かつ厳正な倫理審査</li> <li>3. 教員の倫理的感受性の向上に取り組む</li> <li>4. 倫理審査体制の改善</li> <li>5. 倫理体制の明確化</li> </ol> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-6 (2) 科研費補助金の不正受給の防止対策の推進</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年度初めに作成した日程表に従い、委員会を開催した。</li> <li>2. 倫理審査の焦点を明確にし、研究対象者の保護と権利の確保に重点をおき倫理審査を行った。また、研究対象者の権利と安全を厳密に確認し、審査を行った。</li> <li>3. 前年度同様、研究倫理研修会をウェブセミナー形式で7月に開催した。7月までに研究倫理申請があった申請者には、日本学術振興会によるeラーニングによる研修を受講してもらい対応した。</li> <li>4. 倫理審査上、確認が必要なことは委員会に呼び出し対面での審査を行うため、原則として倫理審査受審者は、委員会開催時間は研究室で待機することとしていたが、周知が不十分であった。</li> <li>5. 年度初めに倫理委員長代行を指名し、定められた構成員で倫理審査を行った。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来通りの迅速な研究倫理審査を実施すること。</li> <li>2. 原則として倫理審査受審者は、委員会開催時間は研究室で待機するよう周知を行う。</li> <li>3. 2021年度に作成した倫理申請様式を浸透させるとともに、修正が望ましいことが見出された場合は直ちに検討し、必要な対応を行う。</li> </ol>

## 4. 研究活動・研究環境

担 当： 病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 天使学園病原体等管理委員会規程および天使大学病原体等安全管理マニュアルに従い病原体を安全に管理する。</p> <p>2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。</p> <p>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境①、④</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 遺伝子組換え実験を実施する際の取扱いを定めるため、「病原体等安全管理委員会規程」を一部改正した。また、取扱いの詳細を定めるため「遺伝子組換え実験に関する基準要領」を制定した。</p> <p>引き続き、「病原体等安全管理委員会規程」及び「天使大学安全管理マニュアル」に従い、天使大学が保有する病原体等を安全に管理するよう努める。</p> <p>2. 遺伝子組換え実験施設申請が1件あり、当該研究者からのヒアリング及び現地調査を行った結果、管理方法等に問題は見当たらなかったため、承認とした。</p> <p>なお、病原体の分与及び譲渡の申請はなかった。</p> <p>3. 2022年1月13日付で依頼のあった文部科学省研究振興局の「病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査」について、調査報告書を提出し、適切に対応した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 保有している病原体等を、引き続き安全に管理する。</p> <p>2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。</p> <p>3. 関係省庁の病原性微生物の保管・管理に関する調査へ随時対応する。</p>

## 5. FDSD活動

担 当： FDSD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 「天使大学における人材育成の目標・方針とFDSD実施計画」に掲げる目標を達成するため、別に定める「FDSD活動実施要項」に基づき研修等を実施する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6、基準10</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 年度当初に、FD及びSD研修の実施予定を把握し学内に周知したことで、年間の研修予定がわかりやすくなり、また、実施時期の偏りを一部緩和することができた。</p> <p>2. FD活動について</p> <p>1) 授業参観は、オンライン授業で使用した動画をGoogle classroomに掲載して提供することで、時間や場所にとらわれることなく参観を実施することができたが、2022年2月現在参加人数は15名であり、本事業が授業改善に繋がる活動として定着しているとは言い難い状況となった。</p> <p>2) 学生による授業評価アンケートは、オンライン授業併用の今年度においても問題なく実施できたが、回答率のばらつきが大きく、今後の課題となった。</p> <p>3) 研修会は、本委員会主催の研修会を8月17日に収録し、9月から10月にかけてオンデマンド形式で受講できるよう実施した。また、大学院看護栄養学研究科看護学専攻及び研究倫理委員会が7月、大学院看護栄養学研究科栄養管理学専攻が8月、大学院助産研究科が10月、教職課程委員会が1月、IR室が2月にそれぞれ1回研修会を開催した。いずれの研修会もオンデマンド形式での受講が可能であったため、多くの教員が受講機会を得られた。</p> <p>3. SD活動について</p> <p>FDSD委員会主催の研修会を8月27日に一部集合で実施し、9月から10月にかけてオンデマンド形式でも受講できるよう実施した。また、事務局及びハラスメント防止委員会がそれぞれ1回のオンライン研修、12月にカトリックセンターが1回の研修会を開催した。カトリックセンター主催の研修会は、多くの教職員が受講機会を得られるようオンデマンド形式での受講も可能であった。その他、オンラインで開催された北海道FD・SD協議会主催の北海道FDSDフォーラムにFDSD委員長が参加し、今後の本学のFDSD活動に参考となる情報を得ることができた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2019年度から義務化した「授業参観」が、定着するような実施方法を検討する。</p> <p>2. 授業評価アンケートの回答率を上げる方法を検討する。</p>

## 6. 社会貢献

担 当： 地域連携等委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2021年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2022年度公開講座の企画  2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進  3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開  4. 地域・他大学との連携事業の実態把握  5. 国・行政の地域連携の施策等の把握</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献 ①、②、③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII：地域連携と社会貢献の促進・充実 VII-1</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2021年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2022年度公開講座の企画  2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、初めてオンデマンド形式で開催し、178名の受講申し込みがあった。2022年度についても引き続きオンデマンド形式にて開催する予定である。</p> <p>2. 東区役所との5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進</p> <p>1) 5者連携事業のイベントである「ひがしく健康・スポーツまつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度に引き続き開催中止となった（非参集型の代替事業（健康・スポーツ・食に関する内容を掲載した冊子の作成）を実施）。</p> <p>2) 「ひがしく健康づくりフェスティバル」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度に引き続き開催中止となった。その代替開催である「東区健康づくりパネル展」に参加協力し、学生ボランティアを募り、「歩行時間増加」および「減塩のすすめ」のテーマについてポスター・リーフレットを作成し、発表展示した（両学科計9名の学生が参加）。</p> <p>3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開  北海道科学大学が実施する「夕張地域医療体験」については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度に引き続き開催中止となった。</p> <p>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</p> <p>1) 本学と地域・他大学との連携事業については、本学と介護予防センターとの連携を次年度以降も継続する。（今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のリスクのため、見送りとなった。）</p> <p>5. 国・行政の地域連携の施策等の把握  文部科学省策定の「地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン」について、委員会で情報共有するとともに、札幌市東区役所担当者にも情報提供を行った。今後の動向について引き続き把握していく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 5者連携事業をはじめ、東区役所との連携を一層推進していく。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域連携活動について、実施方法（オンライン等）について検討していく。</p> <p>3. 本学 web サイトに社会貢献・地域連携活動の情報を集約・充実させる。</p> <p>4. 北海道科学大学・介護予防センター等との連携について検討する。また、他大学が実施している地域連携事業内容も把握する。</p> <p>5. 国・行政の地域連携の施策の動向を把握し、本学の取組について検討していく。</p>

## 6. 社会貢献

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業に協力する。</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII：地域連携と社会貢献の促進・充実 VII-1</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業に協力する。</p> <p>1) 妊婦・子育て中の女性やその家族に対して Web 両親学級新作動画の掲載 院生2年生全員が、妊娠期・出産期・育児期に至るまでの新しいWeb 両親学級動画を4本作り助産研究科ホームページに掲載した。視聴回数累計は、約8カ月で11万回を超える結果となっている。また、日本看護師協会、北海道助産師会からも好評価をいただき、ホームページで紹介したいという依頼があり、それぞれのホームページで公表されている。</p> <p>2) 高校生に対しての出張性教育授業実施 北星学園大学附属高等学校3年生に対し、発展展開科目の性教育を選択した院生6人が中心となり、「わたしの人生はわたしが決める」～これから社会へ出るあなたへ～というテーマに基づき性教育授業を行った。対象は2クラスであり1クラスずつ、2日間(12月9・16日)に分け実施した。受講した高校生からは「友達にも聞きづらいことが知れて勉強になった」など高い評価を受けた。</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p> <p>1) 一般社団法人北海道助産師会の委員、幹事として専門職の職能団体の運営、助産ケアの向上および安全への教育プログラムの企画、助産師活動の啓蒙に貢献した。 2021年度北海道・東北地区研修会では、教授1名が研修会講師参画し、また、教授1名、准教授1名がその企画・運営に携わった。</p> <p>2) 日本災害看護学会の査読委員として、研究の質向上に貢献した。(教授1名)</p> <p>3) 北海道思春期研究会幹事として、活動の企画・運営に参画した。(教授2名)</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業への協力。</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全に関する事業への協力。</p>

## 7. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 本学にふさわしい国際交流の在り方について検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、活動の柱の一つである東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU) について、2021年度も国際会議は開催見送りとなった。</p> <p>そのほか、韓国カトリック大学校との連携協定継続や海外の大学との教育研究連携協定の新たな締結等についても、具体的な検討をする状況に至らなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. ホームページが閉鎖されている ASEACCU についての情報収集の継続</p> <p>2. 韓国カトリック大学校との連携協定の継続可能性の検討</p>

## 7. 国際交流

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 国際助産学実習の円滑な実施</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準9 (助産評価機構)</p> <p>基準2-3</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 国際助産学の円滑な実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ、海外における助産実習を中止し、学内実習プログラムで行った。</p> <p><b>【学内プログラム】</b></p> <p>1) オンライン研修に参加後、ディスカッションを行い、レポート提出</p> <p>①お産を語る（出産ケア政策会議主催）</p> <p>②WHO(世界保健機関)の新しい分娩ガイドラインを知る ～ ひとりひとりが大切にされ、出産のSDGsが実現されるために（Special Vision 主催）</p> <p>③国際保健基礎講座（国立国際医療研究センター主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際保健を支える保健人材</li> <li>・低中所得国における医療の改善</li> <li>・女性とこどもの健康改善</li> </ul> <p>2) 国際支援の目的とあり方についてディスカッションを行い、レポート提出</p> <p>アフガニスタンで医療支援、生活改善支援を行ってきた中村哲医師の支援の軌跡から考える</p> <p>①ビデオ「生きることは分かち合うこと」ほか</p> <p>②書籍「アフガニスタンの診療所から」「医者用水路を拓く」「人は愛するに足り、真心は信ずるに足る：アフガニスタンとの約束」「天ともにあり」他</p> <p>3) 英語にいたる日本の助産ケア紹介</p> <p>①資料選定と英語翻訳</p> <p>②プレゼンテーション原稿と資料の作成</p> <p>③院生や教職員に公開で「助産所による周産期ケアについて」英語によるプレゼンテーションを行った。</p> <p>4) 国際医療保健の支援の実際</p> <p>現役で国境なき医師団で活動中の看護師、助産師の授業を行った。</p> <p>①公的国際支援と民間国際支援、その役割と協働</p> <p>②母子保健を中心とした国際支援</p> <p>③支援の実際</p> <p>講義、クイズ、難民キャンプでの生活の実状、感染症と母子保健、事例検討等</p> <p>5) ICMへの参加のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国外の国々の助産師との交流と連携の意義</li> </ul>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 国際助産学実習の円滑な実施</p>

## 8. 学生生活

担 当： 学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生の新型コロナウイルス感染防止に資する施策を講じるとともに、感染防止策等の十分な周知に努める。また、新型コロナウイルスの影響による学生の経済状況の変化を引き続き観察・調査し、必要な支援を行う。</p> <p>2. 「高等教育の修学支援新制度」の開始等にとまない、「奨学金制度検討ワーキンググループ」を中心に「新しい本学奨学金制度」を構築し直し、2022年4月の運用を目指す。</p> <p>3. 「2020年度 学生生活についての調査」を集計し、報告書を作成する。報告書が完成した後は、内部質保証推進委員会と連携し、学生の意見・要望に対する「大学としての回答」を作成する。</p> <p>4. 内部質保証推進委員会と連携しながら、「卒業生・修了生に対するアンケート」を実施する。</p> <p>5. 新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、「オンライン天使祭」の実施・運営をサポートする。</p> <p>6. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準7 学生支援 ①～③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VI 包括的な学生支援策の充実</p> <p>1 学生支援策の充実</p> <p>2 健康管理面の支援</p> <p>4 学生情報の適正管理と活用</p> <p>VII 地域連携と社会貢献の促進・充実</p> <p>1 地域との連携</p> <p>3 国際交流の推進</p> <p>VIII 経営基盤の充実</p> <p>7 危機管理体制の整備</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 新型コロナウイルスの感染防止対策は、学生の9割以上が2回のワクチン接種を完了したこと、感染者の中での死亡者数・重症者数の減少、医療体制ひっ迫の緩和等の理由により、2020年3月から続いた厳格な感染防止対策を緩和しつつも、引き続き「基本的な感染防止行動」を徹底するよう学生に呼びかけた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で学生は多くの制約を課されるなか、感染防止に考慮しながら、以下のようなさまざまな施策を講じて学生をサポートしたことは評価できる。</p> <p>(1) 学生食堂の再開</p> <p>「学生食堂」は、マスクを外して近接して会話をする環境を作りやすいことから今まで開店を控えてきたが、学生からの強い要望もあり、12月22日(水)から1年8カ月ぶりに「学生食堂」を再開した。その際、「学生が学内で喫食する上での新型コロナウイルス感染防止対策」を策定し、学生に周知するとともに、特に「黙食、座席移動の禁止」を遵守してもらうため、マリアホール、学部ラウンジ、大学院ラウンジに注意喚起の掲示を行った。</p>

## (2) 新型コロナウイルスの影響を受けた学生への経済的支援

2021年12月、文部科学省は新型コロナウイルス感染症の影響で学生等が修学をあきらめることがないように、アルバイト収入の減少等で苦しんでいる学生を対象に「学生等の学びを継続するための緊急給付金（10万円給付）」の募集をした。本学の学生は、1次募集として137名、2次募集として41名が採用された。

## (3) 新型コロナウイルスの影響を受けた学生への食料・生活物資支援

各所からのご厚情により、新型コロナウイルスの影響を受けて経済的に厳しい学生に対し、以下の食料・生活物資支援を行った。

- ①2021年4月25日（日）、「ほっかいどう若者応援プロジェクト事務局」の協力により、新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入が減るなど経済的に厳しい、主として「1人暮らし」の学生を対象に、食料・日用品の支援を行った。
- ②2021年10月、天使大学同窓会からの協力により、新型コロナウイルスで経済的に厳しいであろう「1人暮らし」、「日本学生支援機構給付奨学金採用者」の学生を対象に、食料支援を行った（学生155名受領）。
- ③2021年10月、「日本栄養士会」からの協力により、カップラーメン1,000個を学生に無料で配布した。
- ④2021年12月、「雪印メグミルク」からの協力により、ガセリドリンクヨーグルト1,000本を学生に無料で配布した。
- ⑤2022年1月、「NPO法人 WooMoo（ウーモ）」からの協力により、アイシャドウ、リップ1,000個程度を学生に無料で配布した。
- ⑥2022年2月、「ほっかいどう若者応援プロジェクト事務局」からの協力により、「1人暮らし」、「日本学生支援機構給付奨学金採用者」の学生を対象に無料で食料・日用品を配布した。

## (4) 新型コロナウイルスの影響を受けた課外活動・新入生への支援

2020年度は部・サークル活動のほとんどが「オンライン」であったが、2021年度は「新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドライン（第3報）」に従って、部長が活動内容、感染防止対策を「部・サークル活動許可申請書」にまとめ、顧問、学生部長等が許可することで、「対面」での活動が増えた。

また、2020年度は新型コロナウイルスの影響で、新入部員の勧誘活動がほとんどできなかったが、今年度は2021年4月12日（月）に「部・サークル説明会」をzoomで開催した。zoom同時接続で最大80名程度が参加し、その後アーカイブをYouTubeにアップロードしたところ、その視聴数は現在151回である。1年次生だけでなく2年次生にも参加を呼びかけたが、実際の参加者は1年次生が多かった。

また、新型コロナウイルスの影響で活動を制限されている部・サークルをサポートするため、本学・HTB・イオン北海道がコラボレートした番組「イチモニ！健康けっこう！調べ隊」の一環として、部・サークルに所属する学生が主体的に商品開発に参加する企画を進めている。「北の食物研究所」がお弁当、「Dolce」がスイーツを担当し、学生の自由な発想を商品に反映させ、2022年5月に道内イオングループのスーパーマーケットで販売する予定である。

2021年4月26日（月）、昨年度中止した「1～2年次生のためのクッキングライブ」をオンライン（zoomを利用）で実施した。これから自炊を始める学生に料理のコツや作りやすいレシピを伝授する毎年恒例の人気企画で、栄養学科4年次生3名、看護学科4年次生3名の協力のもと実施し、1～2年次生19名が参加した。

## (5) 新型コロナウイルスの影響を受けた卒業生への支援

新型コロナウイルスの影響で「学位記授与式」の中止を余儀なくされた「2019年度卒業生・修了生」を対象に、10月～12月にかけて合計3回（10月10日（日）、11月13日（土）、12月26日（日））、アカデミックガウンを着用しての記念撮影、2号館（新棟）見学の機会を設けた。卒業生・修了生138名、そのご家族の方59名、合計197名が参加した。卒業生・修了生はアカデミックガウンに袖をとおして写真を撮り、久しぶりに会う仲間との旧交を温めている姿が印象的だった。

2. 高等教育の修学支援新制度の開始、経常費補助金特別補助授業料減免事業等支援の廃止等の現状をふまえ、「修学支援新制度」と「本学独自の奨学金」を包括的にとらえ、経済困窮度順に、傾斜配分的に給付されるような新しい奨学生制度について検討した。学生委員会で案をまとめ、2021年12月の教育研究評議会で意見聴取をするとともに、大学院、財務室とも意見調整を行った。その結果、大きな異論はなかったが、理事会、後援会等にも了承を得ながら慎重に進めた方がいいとの意見を得て、2021年度は一部修正にとどめ、「新しい奨学金制度」の運用は2023年度からとすることとした。

3. 新型コロナウイルス関係の業務に追われ、「2020年度 学生生活についての調査」の集計が遅れたが、2022年3月には報告書を完成させる。

4. 学生委員会で「卒業生・修了生に対するアンケート」を作成し、2021年12月の教育研究評議会で意見聴取し、2022年1月の教育研究協議会で決定した。現在アンケートを聴取中であり、2022年3月中には卒業生・修了生全員から回答を得る予定である。当アンケートは、次年度以降も毎年度実施する。

5. 2021年度天使祭は、緊急事態宣言下に「オンライン」で行った。「LIVE配信（Youtubeを利用、6月12日（土）のみ）」と「オンデマンド配信（天使祭webサイトを作成。6月10日（木）から閲覧開始）」を軸に、学生たちがさまざまなコンテンツを企画し、成功裡に終わった。LIVE配信は最大同時視聴者数が300名、チャットメッセージ件数が1,266件と非常に盛り上がり、終了後の参加者アンケートもかつてないほど高評価だった。特に「双方向性のあるコンテンツ（天使さん！お絵かきですよ、VS天使等）」の評価が高かった。天使祭関連の学外者（芸人、音響・配信業者等）には全員PCR検査を課し、「陰性」と確認できた者のみ入校を認めるなど、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した。

2021年度体育祭は、葦の会役員が、①万が一が体育祭由来の感染者が発生して授業・国家試験の勉強に影響が出た場合、その責任を負いかねる、②学生から人気が高かった競技（バレーボール、ドッジボール、綱引き、バスケットボール等）は、十分に密を回避して実施することが難しい等の理由により、中止した。

6. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」に着手する予定であったが、新型コロナウイルス関係の業務に追われ、今年度は進捗しなかった。次年度あらためて着手する。

## 7. その他

(1) 看護・栄養学科 学生支援体制のチャート図の作成

「大学基準協会の点検・評価項目の基準7 学生支援 ②学生支援に関する大学として

の方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか」に関連し、学生支援体制を明確化し、看護・栄養学科教員間で共通認識を持つことを目的に、「学生支援教員」を中心とした学生支援体制の在り方を「看護・栄養学科 学生支援体制のチャート図」にまとめ、全教員（学部）に周知した。

#### （2）保健相談室、学生相談室による学生支援

今年度も、保健相談室では学生の健康・生活に関する相談、学内での救護・応急処置、学内での定期健康診断・抗体価検査・ワクチン接種の実施、保健相談室ニュースの発行等を行った。また、学生相談室では、メンタルケアや対人関係等に関する相談、学生相談室ニュースの発行等を行った。昨年度コロナ禍で実施できなかった「こころの健康ミニ講座」を、今年度は11月12日（金）、17日（水）、18日（木）の3日間に分けて実施した。内容は「ハーバリウムを作ろう」。3日間で26名の学生が参加した。

#### （3）障害学生への支援

障害学生の支援体制について、毎年度学生・教職員に対する周知を続けてきたが、2021年11月、初めて学生から「修学のための支援申請書」が提出され、障害学生への支援計画を立て、大学と学生とで合意のうえ支援を実施した。

#### （4）オンライン海外研修についての検討

コロナ禍で海外研修の機会を2年連続で学生に提示できなかったことを憂慮し、「オンラインによる海外研修」の教育的効果、実現可能性等について、学生委員会で入念に検討した。検討の結果、「複数日に渡るオンライン海外研修（費用はひとりあたり数万円程度）」を企画しても、参加学生は集まらない可能性が極めて高いと判断し、実施を見送ることとした。次年度は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、「渡航型の海外研修」が可能な状況であれば企画・実施する。オンライン海外研修については、検討も実施もしない。

#### （5）合唱コンクールの中止

合唱コンクールは「練習を重ねる中で心と歌声をひとつに合わせ、クラス全員で合唱を作り上げる喜びを感じることを目的とした、本学が大切にしてきた伝統的行事であるが、合唱は「飛沫感染」、「空気感染」のリスクが極めて高く、合唱コンクール本番時以上に、4月から5月にかけて間断なく続く合唱練習において、クラスター感染のリスクがつきまとうため、2021年度も中止とした。また、2022年度の中止も決定している。

#### （6）学生が加入する学校保険の変更

今まで、本学学生は全員が必ず「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」、「学研災付賠償責任保険（付帯賠償）」という2つの保険に加入していたが、2021年度から、新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症に罹患した時の補償、2次感染への補償等、共済制度が充実した「総合補償制度 will 2」にも、学外実習の期間のみ、加入することとした。保険加入費用については、2021年度は後援会が全額負担した。2022年度の新入生からは、「学研災」、「付帯賠償」に加入せず、「総合補償制度 will 2」のみに加入する。また、2～4年次生は、2021年度と同様、学外実習期間のみ「総合補償制度 will 2」に加入する。保険加入費用は、半額を後援会負担、半額を自己負担とする予定である。

	<p>(7) 学生等の個人情報の取扱いに関する同意書（包括同意書）の取得</p> <p>2022年度から、全学生・保証人に対し、「学生等の個人情報の取扱いに関する同意書（包括同意書）」を取得することとした。当同意書は、学生委員会が原案を作成し、学生の個人情報等の取扱いに関する検討ワーキンググループで審議し、各部署で意見聴取をしたうえで、2021年11月の教育研究評議会で決定した。2022年度新入生は、入学手続の一環として入学前に包括同意書を提出する。在学学生は新年度オリエンテーション時に包括同意書を配布し、記入のうえ提出する。</p> <p>(8) AEDの増設</p> <p>2号館新設に伴い、従来2台あったAED（自動体外式除細動器）を①体育館前（2号館5階）、②保健相談室前（6号館1階）に設置したが、「AEDは心停止から5分以内に電気ショックが可能な位置に配置すること。現場から片道1分以内の密度で配置することが望ましい」との「AEDの適正配置に関するガイドライン（一般財団法人 日本救急医療財団）」の記述に則って、「実習食堂前（7号館1階）」にも新たに増設した。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 変異する新型コロナウイルスの特性を捉え、学生の学修機会の確保と、感染防止対策の徹底の両立を図る。また、新型コロナウイルスの影響による学生の経済状況の変化を引き続き観察し、必要に応じて適切な支援を行う。</li> <li>2. 現在検討を続けている「本学の新しい奨学金制度」を各部署等と調整して成案させ、2023年4月から運用する。</li> <li>3. 新型コロナウイルスの感染拡大状況に十分配慮しながら、ハイブリッド（対面・オンライン）の「天使祭」を、葦の会役員が安全・安心に実施・運営できるようにサポートする。</li> <li>4. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。</li> </ol>

## 8. 学生生活

担 当： キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 新入生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。</p> <p>2. 実習に行く前に、言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、3年生を対象とした講演会を開催する。</p> <p>3. ポケットカードを作成・配布し、防止のための啓発活動を行う。</p> <p>4. 定期的なキャンパス・ハラスメント実態調査アンケート実施に向けて検討を行う。</p> <p>5. 相談員及びキャンパス・ハラスメント対策委員会構成員を対象とするハラスメントに関する研修会を実施する。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>7. 学生生活支援 1-② ③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VI-2-(4) ハラスメントへの対応</p>																																																												
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学部及び助産研究科の新入生を対象としたハラスメントに関する講演会を、オンラインで開催した。</p> <p>&lt;参加率&gt;</p> <table border="1" data-bbox="464 974 1370 1375"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>在学生数</th> <th>参加者</th> <th>参加率</th> <th>2019年度の参加率(対面)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>1年</td> <td>102</td> <td>51</td> <td>50%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>1年</td> <td>94</td> <td>41</td> <td>44%</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学部合計</td> <td>196</td> <td>92</td> <td>47%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>助産研究科</td> <td>1年</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>63%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合計</td> <td>212</td> <td>102</td> <td>48%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 両学科3年生を対象としたハラスメントに関する講演会を、オンラインで開催した。</p> <p>&lt;参加率&gt;</p> <table border="1" data-bbox="464 1547 1370 1823"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>在学生数</th> <th>参加者</th> <th>参加率</th> <th>2019年度の参加率(対面)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>3年</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>25%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>3年</td> <td>87</td> <td>25</td> <td>29%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学部合計</td> <td>187</td> <td>50</td> <td>27%</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. ポケットカードによる啓発活動について、作成・配付は行わなかった。</p> <p>4. キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートを次年度実施するための検討を行った。</p> <p>5. 相談員及びキャンパス・ハラスメント対策委員会構成員を対象とするハラスメン</p>			在学生数	参加者	参加率	2019年度の参加率(対面)	看護学科	1年	102	51	50%	91%	栄養学科	1年	94	41	44%	69%	学部合計		196	92	47%	—	助産研究科	1年	16	10	63%	—	総合計		212	102	48%	—			在学生数	参加者	参加率	2019年度の参加率(対面)	看護学科	3年	100	25	25%	60%	栄養学科	3年	87	25	29%	70%	学部合計		187	50	27%	65%
		在学生数	参加者	参加率	2019年度の参加率(対面)																																																								
看護学科	1年	102	51	50%	91%																																																								
栄養学科	1年	94	41	44%	69%																																																								
学部合計		196	92	47%	—																																																								
助産研究科	1年	16	10	63%	—																																																								
総合計		212	102	48%	—																																																								
		在学生数	参加者	参加率	2019年度の参加率(対面)																																																								
看護学科	3年	100	25	25%	60%																																																								
栄養学科	3年	87	25	29%	70%																																																								
学部合計		187	50	27%	65%																																																								

	<p>ト研修会について、天使学園ハラスメント防止委員会主催の相談員研修（オンライン）に参加した。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 学生向けハラスメント講習会の参加者を増やす。</li><li>2. ハラスメントアンケートの結果を委員会活動に反映する。</li></ol>

## 8. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。  2. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。  3. カトリックの精神に基づく研修会への参加・助成をする。  4. カトリックセンターとの連携を図る。  5. アッセンブリー・アワーの内容・日程調整をする。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準1 理念・目的 ①、②、③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>I-1 建学の精神の浸透</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。  1) キリスト教の行事、ミサや修養会を通して学生・教職員が精神的・スピリチュアルに成長する機会の目的・意味を「修養会マニュアル」としてまとめ活用を図った。  2) 学生及び教職員を対象とする宗教的行事  ①イースターの集いを企画運営し、学部1年生を対象に、学科別に2回に分けて対面で実施した。  ②クリスマスの集いを企画運営し、学年別に同日、3回に分けて対面で実施した。また、クリスマスプレゼント(クッキー等)を配布した。  ③週日のミサ(聖母月・創立記念日・新年ミサも含む)の企画運営を行った。  ④その他の宗教的行事(灰の儀式・助産研究科実習前ミサ・死者追悼ミサ・クリスマス点灯式、国家試験前の祈り等)の企画運営を行った。  ⑤卒業・修了感謝のミサを企画運営した。前年度と同じく北11条教会で、午前と午後2回に分けて分散開催予定。  3) 学生のみを対象とする宗教的行事  ①アッセンブリー・アワーにおける宗教講話は、授業方針により時間割が取れず中止した。  ②前期・後期チャペルアワーについて、前期(4月)は学年別に分けて対面で実施した。後期(8月)はチャペルのスタンドグラス前で事前に録画し、Google Classroomで実施した。  ③出合いと親睦ゼミ・学生修養会・ステップアップセレモニー・戴帽式における宗務関連の支援をした。  4) 教職員のみを対象とする宗教的行事  ①教職員修養会の運営をした。(企画はカトリックセンターが行う)  対象教職員 102名 出席者 100名(出席率98.0%)  ②退職される教職員への感謝ミサの、企画運営し開催予定。  ※上記の宗教的行事を実施するにあたり、支援教員と連携して学生への参加を促した。</p> <p>2. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。  1) 学内及びチャペル等の環境整備  ①ミサを実施するにあたり、チャペルに生花を飾った。  ②クリスマスに向けてチャペル、学生・正面玄関にクリスマスツリーを設置した。  ③クリスマスキャロルをお昼休みに流し、クリスマスに向けての雰囲気づくりを行った。  ④新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、本学ガイドラインレベルによりチャペル内</p>

	<p>の着席数を増減した。</p> <p>⑤チャペルのオルガンが、劣化に伴い分解調整が必要になったため修理した。</p> <p>2) 宗教的行事のための物品調達 ミサで使用する木製の十字架を、オーダー注文し作成した。</p> <p>3. カトリック精神に基づく研修会等への参加・助成をする。 「2021年度カトリック医療関連学生セミナー」の学生参加について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。</p> <p>4. カトリックセンターとの連携を図る。 ・カトリックセンターと共同して、宗務委員会の活動を遂行した。 ・キリスト教の信仰とその精神を広く学内外伝えるために、カトリックセンターのホームページを開設した。</p> <p>5. アッセンブリー・アワーの内容・日程調整をする。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、アッセンブリー・アワーの時間を授業に振り替えたため中止した。</p> <p>(評価)</p> <p>1. コロナ感染レベルガイドラインに基づき、分散対面型、オンライン、録画配信のバージョンを作成し、行事の継続を促したことは、大学生活において行事や授業以外の学生が集う場の意義について見直されていること、学生の反応からも有効だったと評価した。</p> <p>2. イースターの集いの実施では、分散型授業後の実施ため移動において三密状況が発生した。イースター前の授業が体育館で行われるよう事前調整が必要であった。</p> <p>3. 2022年度授業予定作成の段階で、イースターの集い、クリスマスは分散型対面 で実施することを希望するため、授業予定表に体育館できるコマの確保の調整が必要であった。</p> <p>4. 各行事は、学務課・総務課の事務局員、各学科・科、大学院、学生支援教員、宗務委員、ケン神父の協力なくして実施できず協力体制が整っていることも評価できる。</p>
次年度への課題	<p>1. 教務委員会との調整を密にして、特にイースターの集い、クリスマスのコマの確保をする。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の発症状況下での宗教的行事（イースターの集い、チャペルアワー、クリスマス集い・週日のミサ）の感染予防対策・運営方法等について検討する。</p> <p>3. カトリック精神を涵養する宗教的行事等について、ホームページやT-NAVI、メールなどを利用し、行事の目的や内容などの周知を行い、学生・教職員の参加率を上げる。</p> <p>4. 新任教職員へ建学の精神の説明を行い、キリスト教精神に基づく人間の育成を図る。</p> <p>5. カトリック精神に基づく研修会・セミナーへ積極的に参加を促す。</p> <p>6. 宗教的環境を整備する。</p> <p>7. カトリックセンターとの連携を図る。</p>

## 8. 学生生活

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生生活全般への支援 2. 学生の健康支援 3. 学生生活実態調査実施</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) (日本助産評価機構 基準番号) 4-1-1、4-2-1・2</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) VI-1 (3) (4) (5) VI-2 (1) (2) (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学生生活全般への支援 新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、1年次生、2年次生を分散登校とし、以下のことを実施した。</p> <p>1) メンターシップによる学修・生活支援の充実 入学時から学生一人ひとりにメンター（よき助言者）となる専任教員を今年度からは、2名体制とし、学習進捗の確認、学生の専門職者としての自己課題の発見および成長に必要な指示、方向付け、フィードバックなどの支援を行った。また、学生生活全般（健康状態を含む）についての相談役となり、支援を行った。特に実習上問題や困難が生じた者については、その都度個人面談を行い、方向付けをした。復学時の前後にも個人面談を行うとともに学生生活と実習についての助言・指導を行った。</p> <p>特に新型コロナウイルス感染症対策に伴う授業形態の変更や自粛期間における不安や孤独感の軽減を図るとともに学修支援を行った。</p> <p>2) 学生の経済的支援 奨学金は、天使大学奨学金、天使大学同窓会、日本学生支援機構奨学金、日本助産師会奨学金、北海道看護職員修学資金等を紹介した。また、道内病院の奨学金、地方自治体や団体等の奨学事業も積極的に紹介した。</p> <p>2020年度の修了生、成績優秀者2名の日本学生支援機構奨学金の免除・減免申請の推薦を行った。</p> <p>3) 学生生活ガイドブックの配布 学生生活ガイドブックを全院生・教職員へ年度初めに配布した。学生生活全般について理解できるよう内容の充実に努めた。</p> <p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急増するSNSのトラブルと使用上の注意点等について、登校時や実習前に繰り返し、喚起した。</li> <li>・災害傷害保険（日本看護学校協議会共済会の共済制度「WILL」）への加入を義務づけ、実習中等に傷害・賠償・感染事故が発生した場合の対応策をとった。</li> </ul> <p>2. 学生の健康支援</p> <p>1) 保健相談室の現状 学生の定期健康診断はセット検診（X線撮影、身体計測、聴力、聴打診、血液採取等）を実施した。また、新型コロナワクチンの接種（2回）と季節性のインフルエンザの予防接種を1年次生、2年次生共に行った。</p> <p>加えて、新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避けること、ソーシャル</p>

	<p>ディスタンスの保持、使用後の物品の消毒を徹底することを繰り返し注意喚起した。さらに実習施設からの要請により、実習前にPCR検査を行った。</p> <p>2) 学生相談室の現状</p> <p>学生相談室の相談員を2名体制とし週5日の開室日を設けていること、月曜日から金曜日までいつでも相談を受けられる体制であることを周知した。</p> <p>3. 学生生活実態調査「天使大学大学院生学生生活についての調査」を基礎分野2年次生に修了前に実施した。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、学生生活全般にわたる支援。</li> <li>2. 経済的支援として、各種奨学金紹介のより一層の充実を図るとともに、給付型奨学金の掘り出しと紹介。</li> <li>3. 学生相談室、保健相談室の相談員と連携し、学生の心身両面への健康支援についての更なる充実。</li> <li>4. 社会問題となっているSNSのトラブルと個人情報の漏洩防止について、特に実習開始前並びに実習中にも注意喚起を継続。</li> </ol>

## 9. 就職支援

担 当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施</li> <li>2. 就職活動に関する支援活動</li> <li>3. 求人開拓の実施</li> <li>4. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援</li> <li>5. 就職相談室の環境整備</li> <li>6. 就職状況調査の実施、分析・評価</li> <li>7. 就職に関する情報交換及び最新情報収集</li> <li>8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援</li> </ol> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準7 ①～③</p> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>VI-VI-3（1）～（2）、VI-VI-4（3）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施           <p>各学科学年の就職活動時期に合わせ、就職スタートアップ、自己PR作成、マナー講座、小論文・履歴書・エントリーシートの書き方、SPI受検会、面接対策、公務員試験対策、教員採用試験のガイダンス・セミナーをオンラインで実施した。</p> <p>例年1月に実施している栄養学科3年次生対象の「就職活動終了者の体験談」はオンラインで実施し、講師の栄養学科4年次生5名には体験談を話してもらい、その後、希望業種別に分かれグループワークを行った。3年次生がこれから始まる就職活動に向けての疑問、不安な点等を積極的に質問し、活発なグループワークが行われた。また、他の業種のグループワークも視聴できるようにアーカイブ配信した。</p> <p>助産研究科1・2年合同で、就職ガイダンス（自己分析、志望動機の作成、小論文の作成、メディアリテラシー）のガイダンスをオンラインで実施した。</p> </li> <li>2) 就職ガイダンス・セミナーの内容の充実・強化           <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面でのガイダンス・セミナーの実施に制限はあったが、実施方法をオンラインに切り替えることで内容を精査、吟味し強化に努めた。</p> </li> <li>3) 学内企業説明会の企画・開催（2月現在）           <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、対面で3回（2社）、オンライン4回（4社）、栄養学科対象に開催した。</p> </li> </ol> </li> <li>2. 就職活動に関する支援活動       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等の支援           <p>就職相談員による学生支援については、就職支援システムから予約制とし、オンラインまたは対面で、学生の希望に沿った方法で実施した。</p> <p>就職相談：127回 書類添削：250回 面接練習：216回</p> <p>内定率 看護学科：100.0% 栄養学科：76.3%（2022年2月24日現在）</p> </li> <li>2) 就職委員による就職活動全般の支援           <p>各学科の就職委員、学生支援教員、学務課で連携し、就職活動全般の支援を行った。</p> </li> <li>3) キャリア支援の遠隔化の一環として、2021年11月より学生向けに求人検索・閲覧等のキャリア支援のメインシステムとして、求人票配信システム「キャリアタスUC」（天使大学就職支援ナビ）を導入した。</li> </ol> </li> <li>3. 求人開拓の実施       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院・福祉施設・保育所・調剤薬局・給食委託・一般企業等への求人票の送付</li> </ol> </li> </ol>

(1231 施設に 2/14 発送した。)

学生のニーズに対応するため札幌市内・札幌近郊に、求人依頼のパンフレット等を配布した。また、関東の病院（400 床以上）にも送付し新規開拓に努めた。

#### 2) 病院・企業訪問の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病院・企業訪問は行わなかったが、オンラインで採用担当者と情報交換を行った。

#### 3) 実習先へ、担当教員が求人票を持参した。

### 4. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援

#### 1) 教職課程委員会との連携

教職課程委員会と連携し、教職課程履修者への就職活動支援を行った。

#### 2) 教員採用試験出題傾向分析と試験対策ガイダンス等の実施

4 年次生対象の教員採用 1 次ガイダンスは、対面で実施し、願書、資料等を教職課程履修者へ配布した。2 次検査対策直前ゼミは、教職課程担当教員等が出題傾向等の分析を行い、対面で実施した。その結果、北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、4 名（一次合格者 9 名受験中）であった（全採用登録者 8 名）。

全採用登録者の 50%が本学の現役学生である。

### 5. 就職相談室の環境整備

#### 1) 相談・資料閲覧しやすい環境の整備

WEB 面接試験、Zoom 相談等に対応するため、就職面談室の 4 号館 1 階（4107 室）に LAN 配線工事を行い、Wi-Fi を設置し通信環境を整えた。

2) 就職相談室・面談室に手指消毒用アルコールを設置した。閲覧テーブルには、飛沫防止パーティションを設置し、常に換気し感染対策を行った。

### 6. 就職状況調査の実施、分析・評価

#### 1) 就職状況調査の実施

2020 年度卒業・修了生 209 名（看護 91 名、栄養 88 名、助産 21 名、看栄研 9 名）を対象に就職状況調査（2021 年 12 月～2022 年 2 月末）を実施した。今年度は、依頼文に QR コードを掲載し、Google フォームで回答依頼をした。

今後、調査結果を集計・分析し、就職活動支援に役立てる。

### 7. 就職・採用状況等に関する情報交換及び最新情報収集

#### 1) 他大学との情報交換及び最新情報収集

オンラインで日本私立大学協会北海道支部就職指導研究協議会に参加し、コロナ禍での就職支援方法、内定率、感染対策等について情報交換を行った。

#### 2) 日本私立大学協会・日本私立大学北海道支部との情報交換及び最新情報収集

オンラインで就職指導実務担当者研修会に参加し、コロナ禍での就職支援方法、内定率、感染対策等について、グループ ディスカッションで実情交換等の自由討議を行った。各大学からコロナ禍に対応した取り組み等を伺うことができ、とても有意義な研修会であった。

#### 3) 就職情報関連企業との情報交換及び最新情報収集

就職情報会社から病院、企業等の採用数、採用状況、内定状況等の最新情報を収集し、対面、Zoom 等で情報交換を行った。

#### 4) 就職関連研修会・セミナー等への参加

対面での研修会・セミナー、合同企業説明会には、出席できなかったが、オンラインでの研修会等に参加し、最新情報の収集を行った。

### 8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援

#### 1) 求人情報の配信

	<p>求職登録者に求人情報等を配信し、就職支援を行った。</p> <p>求職登録者数：16名 内定者数：0名</p> <p>2) 直接来室した場合の就職支援</p> <p>就職相談に4名の卒業生が来室し、対応した。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 就職ガイダンス・セミナー（オンラインを含む）の開催時期の検討、内容の充実・強化を図る。</li> <li>2. 就職活動に関する支援活動 4年次の11月末までに一度も就職相談室を利用していない学生を対象に連絡し、就職活動状況の把握を行い、希望する就職先への内定につなげる。</li> <li>3. 卒業生アンケート調査（離職調査）の回答率の向上 スマートフォンを使用して、回答しやすいアンケートをGoogleフォームで作成し、回答率の向上を図る。</li> <li>4. 就職先へのアンケート調査の実施 就職先へのアンケート調査の内容・回答方法を検討し、2年に1回、4月に実施する。</li> </ol>

## 9. 就職支援

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生のニーズに応じた就職支援体制の強化 2. 就職相談室との連携の強化</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) (日本助産評価機構 基準番号) 4-2-3</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) VI-3 (1)(2) VI-4 (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 当初予定をしていた、就職に向けてのガイダンス並びに接遇（就職面接に向けて）は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止とした。尚、それに変えて次のことを実施した。</p> <p>1) 1・2年次生合同で、就職に関するガイダンス（自己分析、志望動機、小論文の書き方）とメディアリテラシーについて、オンラインで実施した。</p> <p>2) オンラインによる合同病院セミナー（説明会）の紹介</p> <p>3) 就職ガイドブックの配布</p> <p>4) 就職活動と就職支援に関する調査の実施</p> <p>2. 就職相談室との連携</p> <p>1) 就職相談室によるセミナー（求人情報の閲覧）を「密」を避けるために予約制にして行った。</p> <p>2) WEB 面接試験、ZOOM 相談等に対応するため、就職面談室の4号館1階（4007室）にLAN配線工事を行い、通信環境を整えたことにより、就職相談員による面接練習、履歴書等の作成についての指導をZOOMにて行った。</p> <p>3) メンターを中心に就職面接前の相談と「志望書」の書き方指導を行った。</p> <p>4) 就職状況の調査を学生課（就職担当・就職相談室）と連携を取りながら行った。</p> <p>就職室への相談件数：38件（2021年4月～8月） 就職内定率：100%（2021年11月）</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学生のニーズに応じた支援体制の強化 2. 就職相談室との協働支援の強化</p>

## 10. 図書館

担当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバー及びネットワークシステムの安定稼働のため引き続き調整作業を行う。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた図書館及び情報処理室運営を継続する。情報処理室の授業利用については、関係部署と調整し、状況に応じた対策を講じた上で実施する。</li> <li>3. 遠隔授業における改善点を定期的に分析し、関係部署と協力し、更なる改善に努める。</li> <li>4. 学生アルバイトについては、昨年度募集を行うことができなかった1～2年生を中心に補充を行う。</li> </ol> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境 ③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4 (3)、VIII-7 (1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバー及びネットワークシステムの安定稼働のため引き続き調整作業を行う。 (11. 情報処理システムに記載)</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染防止対策を講じた図書館及び情報処理室運営を継続する。情報処理室の授業利用については、関係部署と調整し、状況に応じた対策を講じた上で実施する。 本学の活動制限ガイドラインを基に「天使大学図書館新型コロナウイルス感染拡大に伴うガイドライン」を作成し、感染対策を徹底しながら、緊急事態宣言下であっても時間短縮せずに、平日は21時まで、土日・祝日は17時まで開館した。夜間(17時～21時)及び土日・祝日については、学生アルバイトで対応した。また、新型コロナウイルス感染症はじめインフルエンザウイルス他、微生物にも除菌抗菌効果がある「除菌ボックス」を導入した。これにより本学学生・院生や教職員をはじめ図書館を利用するすべての人に安心して安全な環境を担保すると共に、学修・研究の支援向上につなげた。  (11. 情報処理システムに記載)</li> <li>3. 遠隔授業における改善点を定期的に分析し、関係部署と協力し、更なる改善に努める。 (11. 情報処理システムに記載)</li> <li>4. 学生アルバイトについては、昨年度募集を行うことができなかった1～2年生を中心に補充を行う。 1年生を対象に募集し、5名採用した。(看護学科4名、栄養学科1名)</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献検索ガイダンス等の実施による教育・学修支援</li> <li>2. 学術情報等をホームページ等で公開する事による研究支援</li> <li>3. 他大学図書館等との連携を強化する等の社会貢献</li> <li>4. ホームページ等を整備・充実する等の情報発信</li> </ol>

## 1.1. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染状況に応じた情報処理設備の運用</li> <li>3. 学内ネットワークの拡張</li> <li>4. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実</li> <li>5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発</li> <li>6. 次期サーバネットワークシステムの更新検討</li> </ol> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 8 教育研究等環境 ②</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4 (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理 昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、情報システムが活用されており、障害発生時には導入ベンダーおよび職員間で連携のもと、解消に努めた。</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染状況に応じた情報処理設備の運用 新型コロナウイルス感染対策による遠隔授業が引き続き実施されていることから、多くの教員及び非常勤講師が同時に遠隔授業を実施できるよう、Zoom ライセンスを追加 (20 ライセンス→30 ライセンス) した。</li> <li>3. 学内ネットワークの拡張 当初の予定では 2021 年内の拡張を予定していたが、学術情報ネットワークの移行作業の遅延や世界的な半導体不足の影響により計画が遅れ、年度内 (3 月) の実施を予定している。</li> <li>4. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実 昨年度に続き、主要な会議や出張、休暇予定等の個人スケジュールやセミナーおよび事務連絡に関する情報を各課室の担当者に登録いただき掲載情報が充実を図った。</li> <li>5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発 昨年度に続き、要所により注意喚起を実施したが、全学的なセキュリティ強化には不十分で、学内 LAN 掲示板および Google Classroom を活用した情報発信が必要である。</li> <li>6. 次期サーバネットワークシステムの更新検討 次期情報システム基盤 (ハードウェア、ソフトウェア (Windows Server 2022))、情報処理室クライアント機器 (Windows11 ベース) 更新検討着手した。既存システム導入メーカーおよび各メーカーと検討を開始した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染状況に応じた情報処理設備の運用</li> <li>3. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発</li> <li>4. 次期サーバネットワークシステムの更新検討</li> </ol>

## 12. 施設・設備

担 当： 事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事や機器の更新工事を実施する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境②、⑥</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 中期施設整備計画に則り4号館屋上防水工事及び4号館外壁改修工事を実施し施設の整備を行った。</p> <p>また、近年は道内の夏も高温となる日が多くなり、特に今年度については連日、猛暑日が続いたことから、研究室へのエアコン設置を望む声が多数寄せられた。このため、耐震補強工事が完了している3号館の教員研究室（3室）にエアコンを設置し、教育・研究環境の改善を図った。</p> <p>なお、旧耐震基準で設計されている1号館及び5号館については、耐震診断調査を行ったところ、診断を依頼した業者から耐震基準を満たしている旨の回答があったことから、順次、エアコンを設置できるよう計画をしていきたい。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事や機器の更新工事を実施する。</p>

## 13. 管理運営

担 当： 事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長補佐会議において、本学の各学科、科、研究科の将来像について検討し、教育研究評議会、教授会等への提案につなげる。</p> <p>2. ガバナンス・コードの検討を進める。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準 10 大学運営・財務－(1) 大学運営－①・②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－1 (1)</p> <p>戦略目標Ⅳ－1 (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 副学長の任期満了に伴い、2020年4月からは学長補佐に、教務部長、学生部長、宗務部長、図書館長及び事務局長が任命されていた。</p> <p>学長補佐会議は、教育の質保証に係る客観的指標踏査への対応、遠隔授業への対応方針、教員評価制度等について学長と意見交換を行い、教育研究評議会へ提案していたが、より全学的な教学マネジメントに対応するため、2022年度からは各研究科長、学科長、科長で構成し、検討していくよう改正した。</p> <p>2. 2021年9月に天使大学ガバナンス・コードを策定し、今年度中の点検を実施した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学長補佐会議において、本学の各学科、科、研究科の将来像について検討し、教育研究評議会、教授会等への提案につなげる。</p> <p>2. 2021年度の点検結果から、天使大学ガバナンス・コードの見直しを検討する。</p>

## 1 4. 財務

担 当： 事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し 2. 経常費補助金(特別補助)の獲得を目指す 3. 給付奨学金のための寄付金募集の検討 4. 旅費規程の見直し</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 10 大学運営・財務 (2) 財務①、②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) Ⅷ-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 中期財務計画は9月の理事会で見直しを行い2026年度までを策定した。 既存校舎の修繕計画については、2020年度中期計画をベースにしたうえで、財源を考慮し、緊急性の高い事案を追加し計上した。また、学生生徒等納付金収入や人件費支出については、2020年度決算及び2021年度の状況を反映させた。 次年度は教職員に本学の財務状況について説明する機会を設け、経営の改善に向けて全学で取り組んでいきたい。</p> <p>2. 令和3年度教育の質に係る客観的指標調査は34点を獲得し、昨年度の22点から大幅に改善し、一般算定の増減率はプラスに転じることができた。 次年度は教職員が補助金制度について理解を深めることができるよう、説明会の開催を行う予定である。</p> <p>3. 給付奨学金のための寄付金募集については、奨学金の取扱いの見直しと併せて引き続き検討を行う。</p> <p>4. 旅費規程の見直しについては実施することが出来なかった。2024年度からの改正を目指し、引き続き検討を行っていく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し 2. 経常費補助金等、私学助成金の獲得を目指す 3. 給付奨学金のための寄付金募集の検討 4. 財務諸規程の見直し</p>

## 15. 事務組織

担当：事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策により、研修会の参加が制限されているが、オンラインでの研修会参加等により教職員のFD、SDへの参加を積極的に進める。</p> <p>2. 事務職員の適正な採用及び人員配置に務める。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準10 大学運営・財務－(1) 大学運営－④・⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－6 (1)・(2)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2021年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、学内でのFDSD研修会をオンライン及びオンデマンドで開催することにより、多くの教職員が参加した。</p> <p>2021年度は8回のFD（ファカルティ・ディベロップメント）、4回のSD（スタッフ・ディベロップメント）の他、FDSD合同研修会を実施した。</p> <p>また、教員が遠隔授業で使用した動画又は対面授業の録画を選択してGoogle Classroomの授業参観ページにアップロードし、各教員が動画を視聴し、FD参加の機会とした。</p> <p>2. 2022年度から、技術系職員を嘱託職員Ⅱから嘱託職員Ⅲに身分変更することにより、スムーズな採用ができた。また、新年度に向けた専任職員、嘱託職員Ⅲ及び臨時職員の採用内定を早期に出し、事務局の人員配置を決めることができた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. FD及びSDの実施方法について検討し、引き続き参加率を高める。</p> <p>2. 事務職員の採用及び配置について、引き続き適正に務める。</p>

## 16. 自己点検・評価活動

担 当： 内部質保証推進委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2018年度大学基準協会の認証評価改善報告書作成準備（2022年7月末まで）。</p> <p>2. プログラムレビューの導入検討</p> <p>3. IR室の機能確立</p> <p>4. 2020年度評価のまとめ</p> <p>5. 大学院の自己点検・評価</p> <p>6. 委員の研修の実施</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>2. 内部質保証 ①②③④</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>II-1 教学マネジメントの確立と課題への対応 (2) (3) (4) (5)</p> <p>II-2 内部質保証体制と点検評価の実質化 (1) (2) (3) (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2018年度に大学基準協会の認証評価を受けて明らかになった課題に対して、概ね改善できたことが確認できた。2022年7月末に改善報告書を提出する準備を行っている。</p> <p>2. 学外の参画を取り入れた客観的評価を行うため、学外者を2名委員に委嘱した。 外部委員の意見を受け、各学科にカリキュラムの検討、実習指導体制、包括連携協力施設との連携の在り方について検討するよう提言した。</p> <p>3. IR室で、遠隔授業アンケートと2021年度前期成績との関連性分析およびDP到達度分析を実施し、教授会等で報告・共有した。</p> <p>4. 2020年度活動報告会と2020年度年報をもって、評価結果および課題について取りまとめて6月24日開催の教育研究評議会で報告した。</p> <p>5. 栄養管理学専攻において、2021年度にリサーチループリックを用いた点検評価を試行した。なお、2022年度から本格的にリサーチループリックを用いた点検評価を実施する。看護学専攻科は2021年度末実施に向けて検討中。</p> <p>6. 内部質保証システムの構築と質向上のため、大学基準協会主催の研修やシンポジウム等に委員長が参加した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2021年度に決定したアセスメントポリシーに基づき、内部質保証と教学の関連図を改訂し、PDCAサイクルを全学に定着する。</p> <p>2. IRとの連携をさらに進め、アセスメントポリシーに基づく自己点検、評価を効率的に進める。</p> <p>3. 助産評価機構の評価(2023年度受審予定)および看護学分野別評価(2024年度受審予定)の準備を進める。</p> <p>4. 大学基準協会の認証評価改善報告書の提出</p>



## 自己点検・評価資料

### 目次

1. 学事暦	61
2. 2021年度教育課程	66
3. 学生数・奨学金の採用状況	79
4. 国家試験合格率	83
5. 就職・進学状況	84
6. 2021年度入学試験結果	88
7. 教員組織	89
8. 事務組織	91
9. 研究等の活動	92
10. 組織図	94
11. 会議の開催状況	95
12. 委員会構成一覧	104
13. 委員会の活動報告	106
14. 図書館の利用状況	130
15. 情報処理室の利用状況	131
16. 施設・設備の状況	132
17. 財務状況	134

1. 学事暦

2021年度 学事暦【看護学科】

「土曜・祝日は原則、開講日とします。授業予定の詳細については、各学科・学年毎に示される授業予定表で確認してください。」

暦							1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等
日	月	火	水	木	金	土					
28	29	30	31	1	2	3	4/2 入学式 4/5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ 4/8 授業開始(前期) 4/10-4/16 履修登録期間 4/12PM イースターの集い	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/2 入学式 4/10,17 定期健康診断
4	5	6	7	8	9	10					
11	12	13	14	15	16	17					
18	19	20	21	22	23	24					
25	26	27	28	29	30	1					
2	3	4	5	6	7	8					
9	10	11	12	13	14	15				↑ 5/10-7/30 成人看護学臨地実習Ⅱ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 母子看護学臨地実習Ⅱ (小児のみ5/10~8/3)	
16	17	18	19	20	21	22					
23	24	25	26	27	28	29					
30	31	1	2	3	4	5					
6	7	8	9	10	11	12					6/10PM-6/12 天使祭 (オンライン開催予定)
13	14	15	16	17	18	19					
20	21	22	23	24	25	26					6/20 オープンキャンパス
27	28	29	30	1	2	3					
4	5	6	7	8	9	10					
11	12	13	14	15	16	17					
18	19	20	21	22	23	24					
25	26	27	28	29	30	31					
1	2	3	4	5	6	7	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	8/3 看護学科オープンキャンパス 8/4 栄養学科オープンキャンパス 8/14-8/16 大学休業日
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30	31	1	2	3	4		↑ 8/30-9/10 基礎看護学臨地実習Ⅱ	↑ 8/30-10/29 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ		
5	6	7	8	9	10	11					
12	13	14	15	16	17	18	9/13 授業開始(後期) 9/13-9/17 履修登録変更期間	9/21 授業開始(後期) 9/21-9/27 履修登録変更期間	9/13 授業開始(後期) 9/13-9/17 履修登録変更期間	9/18 入試(大学院) 9/25 オープンキャンパス 9/30 卒業証書・学位記授与式	
19	20	21	22	23	24	25	↑ 基礎看護学臨地実習Ⅰ AM 10/7・8・14・15 1日 10/26・27、11/2・4				
26	27	28	29	30	1	2					
3	4	5	6	7	8	9					
10	11	12	13	14	15	16					10/15 ステップアップセレモニー 10/16 入試(大学院)
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					
31	1	2	3	4	5	6		11/4・5 修養会	11/1 授業開始(後期) 11/1-11/5 履修登録変更期間	↑ 11/1-11/12 統合看護学臨地実習	
7	8	9	10	11	12	13					
14	15	16	17	18	19	20		↑ 11/15-11/19 ↓ 老年看護学臨地実習Ⅰ			11/20 入試(学部)
21	22	23	24	25	26	27		11/25PM 戴帽式			11/25 戴帽式
28	29	30	1	2	3	4			12/1・2 修養会		11/29 体育祭
5	6	7	8	9	10	11					12/8 創立記念日
12	13	14	15	16	17	18					12/13PM クリスマスの集い
19	20	21	22	23	24	25	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	12/25 クリスマス降誕祭
26	27	28	29	30	31	1					
2	3	4	5	6	7	8					
9	10	11	12	13	14	15					1/15・16 大学入学共通テスト
16	17	18	19	20	21	22					1/22 入試(大学院)
23	24	25	26	27	28	29	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-3/31 春季休業 1/26-1/28 追再試験	
30	31	1	2	3	4	5					
6	7	8	9	10	11	12					2/6・7・13・20 入試(学部)
13	14	15	16	17	18	19	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/15・16 修養会	
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	1	2	3	4	5					
6	7	8	9	10	11	12					
13	14	15	16	17	18	19					3/15 卒業証書・学位記授与式
20	21	22	23	24	25	26					3/26 オープンキャンパス
27	28	29	30	31	1	2					

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

## 2021年度 学事暦【栄養学科】

「土曜・祝日は原則、開講日とします。授業予定の詳細については、各学科・学年毎に示される授業予定表で確認してください。」

暦							1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等	
	日	月	火	水	木	金	土					
4	28	29	30	31	1	2	3	4/2 入学式 4/5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ 4/8 授業開始(前期) 4/10-4/16 履修登録期間 4/19PM イースターの集い	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/5 在学生ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6-4/12 履修登録期間	4/2 入学式 4/10,17 定期健康診断
	4	5	6	7	8	9	10					
	11	12	13	14	15	16	17					
	18	19	20	21	22	23	24					
5	25	26	27	28	29	30	1	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	6/10PM-6/12 天使祭 (オンライン開催予定)  6/20 オープンキャンパス
	2	3	4	5	6	7	8					
	9	10	11	12	13	14	15					
	16	17	18	19	20	21	22					
6	23	24	25	26	27	28	29	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	8/3 看護学科オープンキャンパス 8/4 栄養学科オープンキャンパス 8/14-8/16 大学休業日
	30	31	1	2	3	4	5					
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
7	20	21	22	23	24	25	26	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	9/18 入試(大学院) 9/25 オープンキャンパス 9/30 卒業証書・学位記授与式
	27	28	29	30	1	2	3					
	4	5	6	7	8	9	10					
	11	12	13	14	15	16	17					
8	18	19	20	21	22	23	24	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	10/15 ステップアップセレモニー 10/16 入試(大学院)
	25	26	27	28	29	30	31					
	1	2	3	4	5	6	7					
	8	9	10	11	12	13	14					
9	15	16	17	18	19	20	21	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	夏季休業 (前期授業終了後)	11/20 入試(学部) 11/25 戴帽式 11/29 体育祭
	22	23	24	25	26	27	28					
	29	30	31	1	2	3	4					
	5	6	7	8	9	10	11					
10	12	13	14	15	16	17	18	9/13 授業開始(後期) 9/13-9/17 履修登録変更期間	9/13 授業開始(後期) 9/13-9/17 履修登録変更期間	8/30 授業開始(後期) 8/30-9/3 履修登録変更期間	8/16-9/17(うち5日間) 給食経営管理論実習Ⅳ 8/16-9/17(うち15日間) 臨床栄養学実習Ⅴ	12/10 修養会 12/25-1/7 冬季休業
	19	20	21	22	23	24	25					
	26	27	28	29	30	1	2					
	3	4	5	6	7	8	9					
11	10	11	12	13	14	15	16	10/12・13 修養会 10/15 ステップアップセレモニー	10/4-10/8 給食経営管理論実習Ⅱ	11/1-11/19 臨床栄養学実習Ⅲ	11/25 修養会	1/15・16 大学入学共通テスト 1/22 入試(大学院)
	17	18	19	20	21	22	23					
	24	25	26	27	28	29	30					
	31	1	2	3	4	5	6					
12	7	8	9	10	11	12	13	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	12/25-1/7 冬季休業	2/6・7・13・20 入試(学部)
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30	1	2	3	4					
1	5	6	7	8	9	10	11	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-1/28 定期試験 1/29-3/31 春季休業	1/24-3/31 春季休業 1/26-1/28 追再試験	3/15 卒業証書・学位記授与式 3/26 オープンキャンパス
	12	13	14	15	16	17	18					
	19	20	21	22	23	24	25					
	26	27	28	29	30	31	1					
2	2	3	4	5	6	7	8	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	3/14 卒業・修了感謝のミサ 3/15 卒業証書・学位記授与式
	9	10	11	12	13	14	15					
	16	17	18	19	20	21	22					
	23	24	25	26	27	28	29					
3	30	31	1	2	3	4	5	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	3/15 卒業証書・学位記授与式 3/26 オープンキャンパス
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					
4	27	28	29	30	31	1	2	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	3/15 卒業証書・学位記授与式 3/26 オープンキャンパス
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					
5	27	28	29	30	31	1	2	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	2/18-2/22 追再試験	3/15 卒業証書・学位記授与式 3/26 オープンキャンパス
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

2021年度 大学院看護栄養学研究科学事暦

暦							行事予定	全学行事等	臨地実習	
	日	月	火	水	木	金	土			
4	28	29	30	31	1	2	3	4/2 入学式・専攻別オリエンテーション 4/5 ガイダンス・定期健康診断 4/6 授業開始(前期) 4/6~9 履修登録期間 4/16 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	4/2 入学式 4/5 ガイダンス・定期健康診断  4/12PM イースターの集い	4-5月予定 老年看護学実習 I (1年次)
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	1			
5	2	3	4	5	6	7	8	7/1 中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降) 7/6~9 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	6/18~7/2(うち5日間) 公衆衛生看護管理実習 II (2年次)	6月予定 老年看護学実習 II (2年次)
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
6	30	31	1	2	3	4	5	7/27 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	9/18 大学院推薦入学試験型選抜	8/30~2/18(週1回) 家族看護継続実習 (1年次)
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	1	2	3			
7	4	5	6	7	8	9	10	8/18 13:00まで 修正済み論文提出	9/30 前期修了 学位記授与式	10/11~10/22 公衆衛生看護展開実習 (1年次)
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	31			
8	1	2	3	4	5	6	7	8/30 授業開始(後期) 8/30~9/3 履修登録変更期間	10/16 大学院一般選抜(I期)	11/1~11/12 公衆衛生看護管理実習 I (1年次)
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
	22	23	24	25	26	27	28			
9	29	30	31	1	2	3	4	9/17 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降)	11/20 入試(学部)	12/8 創立記念日 12/13PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭
	5	6	7	8	9	10	11			
	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25			
	26	27	28	29	30	1	2			
10	3	4	5	6	7	8	9	10/20 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	1/22 大学院一般選抜(II期)	2/6・7・13・20入試(学部)
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
11	31	1	2	3	4	5	6	12/1 17:00 課題研究提出(保健師コース)	3/15 卒業証書・学位記授与式	3/25 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	1	2	3	4			
12	5	6	7	8	9	10	11	12/15 課題研究発表(保健師コース)・論文審査会	2/1 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会 2/15 17:00まで 修正済み論文提出	2/18 後期授業終了
	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25			
	26	27	28	29	30	31	1			
	2	3	4	5	6	7	8			
1	9	10	11	12	13	14	15	1/11 課題研究最終提出(保健師コース) 1/11~14 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	3/15 卒業証書・学位記授与式	3/25 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
	30	31	1	2	3	4	5			
2	6	7	8	9	10	11	12	2/1 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会 2/15 17:00まで 修正済み論文提出	3/15 卒業証書・学位記授与式	3/25 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	1	2	3	4	5			
3	6	7	8	9	10	11	12	3/15 卒業証書・学位記授与式	3/15 卒業証書・学位記授与式	3/25 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	31	1	2			
	27	28	29	30	31	1	2			

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月					1	2	3	2日(金) 入学式・新入生リエンション 5日(月) 新入生リエンション・2年次ガイダンス・定期健康診断 6日(火) 入学時修養会「出会いと親睦のゼミ」 12日(月)午後 イースターの集い	
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30			
5月							1	6日(木) 基礎2年：「マニフェイタル独立助産実習」開始(前半グループ)	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
6月			1	2	3	4	5	7日(月) 基礎1年：「マニフェイタル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」開始 18日(金) 基礎2年：「マニフェイタル独立助産実習」終了(前半グループ) 21日(月) 基礎2年：「マニフェイタル独立助産実習」開始(後半グループ)	
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
7月					1	2	3	30日(金) 基礎2年：「マニフェイタル独立助産実習」終了(後半グループ)	
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
8月	1	2	3	4	5	6	7	6日(金) 基礎1年：「マニフェイタル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」終了 17日(火)～20日(金) 基礎1・2年、教育1年：補講期間・前期定期試験 23日(月) 夏季休業開始	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
9月				1	2	3	4	17日(金) 夏季休業終了 27日(月) 基礎2年：「マニフェイタル助産の統合実習Ⅱ」開始(第1グループ)	
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				

前期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	4月7日(水)～6月4日(金) 8月10日(火)～8月21日(金)	基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6月7日(月)～8月6日(金)
	教育		—————	—————
2年次	基礎	4月6日(火)～4月30日(金) 8月10日(火)～8月20日(金)	独立助産実習(前半) 独立助産実習(後半)	5月6日(木)～6月18日(金) 6月21日(月)～7月30日(金) (期間内1人当り：原則6週間)
	教育		—————	—————

【後期】

								行事予定等	
	日	月	火	水	木	金	土		
10月						1	2		
	3	4	5	6	7	8	9	8日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第1グループ)
	10	11	12	13	14	15	16	11日(月)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第2グループ)
	17	18	19	20	21	22	23	22日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第2グループ)
	24	25	26	27	28	29	30	25日(月)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第3グループ)
	31								
11月		1	2	3	4	5	6	5日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第3グループ)
	7	8	9	10	11	12	13	1日(月)～5日(金)	基礎1年：演習、実習オリエンテーション
	14	15	16	17	18	19	20	8日(月)	基礎1年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅰ」開始
	21	22	23	24	25	26	27	15日(月)	教育1年：「独立助産実習」開始
	28	29	30						
12月				1	2	3	4	8日(水)	創立記念日
	5	6	7	8	9	10	11	13日(月)午後	クリスマスの集い
	12	13	14	15	16	17	18	24日(金)	教育1年：「独立助産実習」終了
	19	20	21	22	23	24	25	25日(土)	クリスマス降誕祭
	26	27	28	29	30	31	1	27日(月)	基礎1・2年, 教育1年：冬季休業開始
1月	2	3	4	5	6	7	8	7日(金)	基礎1・2年, 教育1年：冬季休業終了
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
2月			1	2	3	4	5	10日(木)	基礎1年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅰ」終了
	6	7	8	9	10	11	12	15日(火)	修了前修養会
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28							
3月			1	2	3	4	5	14日(月)	修了・卒業感謝のミサ
	6	7	8	9	10	11	12	15日(火)	修了証書・学位記授与式
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				

後期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	9月21日(火)～11月5日(金) 2月14日(月)～2月25日(金)	統合実習Ⅰ	11月8日(月)～12月24日(金) 1月11日(火)～2月10日(木)
	教育	9月21日(火)～11月12日(金) 1月11日(火)～2月25日(金)	独立助産実習	11月15日(月)～12月24日(金) (期間内1人当り：原則6週間)
2年次	基礎	9月21日(火)～12月24日(金) 1月11日(火)～2月10日(木)	統合実習Ⅱ	9月27日(月)～11月5日(金) (期間内1人当り：2週間)

## 2. 2021年度教育課程

### 1) 看護学科

〈2020年度以降入学生対象〉

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
しきたり 人間教育を 基盤と する 科目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目111単位、 選択科目15単位以上(選択 必修科目含む) 修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6		—			
教養教育科目群	共通 基礎	基礎学修演習	1前	1			○		
		情報処理演習	1前		1		○		
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然 科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	共通 基礎 教育 科目	外国 語	英語ⅠA	1前	1			○	
			英語ⅠB	1後	1			○	
			英語ⅡA	2前		1		○	
			英語ⅡB	2後		1		○	
			オーラルイングリッシュⅠA	1前	1			○	
			オーラルイングリッシュⅠB	1後	1			○	
			オーラルイングリッシュⅡA	2前		1		○	
			オーラルイングリッシュⅡB	2後		1		○	
			フランス語	2前		1		○	
			中国語	2前		1		○	
	韓国語	2前		1		○			
	スペイン語	2前		1		○			
	健康・ スポーツ	健康とスポーツⅠ	1通		1			○	
		健康とスポーツⅡ	2通		1			○	
小計(21科目)		—	9	17		—			
共通 教養 教育 科目	人間と 文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
	人間と 社会	民族と異文化理解	2後		2	○			
		法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18		—			
小計(31科目)		—	11	35		—			
専門 教育 科目 群	専門 基礎 科目	形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		栄養代謝学	1前	2		○			
		微生物学	1後	2		○			
		病理学	1後	2		○			
		看護薬理学	2前	2		○			
		病態診療学Ⅰ	2前	2		○	○		
		病態診療学Ⅱ	2後	1			○		
		環境健康論	1後	2		○			
		社会福祉論	1前	2		○			
		保健医療福祉システム論	3前	2		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		医療と倫理	2前	1		○			
		人間関係論	2前	1			○		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
	医療人類学	4後		1	○				
	小計 (15科目)	—	24	1	—				
専門教育科目群	看護基礎科目	看護学原理	1前	2		○			
		看護過程とヘルスアセスメントⅠ	2前	1			○		
		看護過程とヘルスアセスメントⅡ	2前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅰ	1前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅱ	1後	2			○		
		基礎看護技術論Ⅲ	2前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅳ	2前	1			○		
	小計 (7科目)	—	9	0	—				
	看護臨床科目	成人看護学Ⅰ	2前	1		○			
		成人看護学Ⅱ	2後	2			○		
		成人看護学Ⅲ	3前	2		○	○		
		老年看護学Ⅰ	2前	2		○			
		老年看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		小児看護学Ⅰ	2後	2		○	○		
		小児看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		母性看護学Ⅰ	2後	1		○			
		母性看護学Ⅱ	2後	2		○			
		母性看護学Ⅲ	3前	1			○		
		精神看護学Ⅰ	2後	1		○			
		精神看護学Ⅱ	3前	2		○			
		精神看護学Ⅲ	3後	1			○		
		在宅看護学Ⅰ	3前	1		○			
		在宅看護学Ⅱ	3後	2		○			
		家族看護学	3前	1		○			
		地域看護学	3前	1			○		
		医療安全	3前	1		○			
		多職種連携	1後	1		○			
		多職種連携演習	3後	1			○		
		看護倫理	4前	1		○			
		臨地実習科目	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1後	1				○
			基礎看護学臨地実習Ⅱ	2後	2				○
			成人看護学臨地実習Ⅰ	3後	3				○
	成人看護学臨地実習Ⅱ		3後	3				○	
老年看護学臨地実習Ⅰ	2後		1				○		
老年看護学臨地実習Ⅱ	3後		3				○		
小児看護学臨地実習	3後～4前		2				○		
母性看護学臨地実習	3後～4前		2				○		
精神看護学臨地実習	4前		2				○		
在宅看護学臨地実習	4前		2				○		
小計 (31科目)	—	51	0	—					
小計 (53科目)	—	84	1	—					
統合発展科目群	生と死の看護ゼミ	2後	1			○			
	ホスピス・緩和ケア論	3前	1		○				
	ヘルスプロモーション活動論	3後		1	○				
	リハビリテーション看護学	4前		1	○				
	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後/3後		1		○			
	看護英文講読	3後		1	○				
	看護研究の基礎	3後	1			○			
	看護研究	4前後	2			○			
	看護管理	4前	1		○				
	災害看護学	4前	1		○				
	看護教育学	4前		1	○				
	統合看護臨地実習	4前	2				○		
	統合看護技術演習	4後	1			○			
小計 (14科目)	—	10	6	—					
合計 (106科目)	—	111	48	—					

▲は選択必修科目

2) 栄養学科

<2020年度以降入学生対象>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
しきたり人間教育を基盤とした人間教育科目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目104単位、選択科目23単位以上(選択必修科目含む)修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6	—				
教養教育科目群	共通基礎	基礎学修演習	1前	1			○		
		情報処理演習	1前		1		○		
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	外国語	英語ⅠA	1前	1			○		
		英語ⅠB	1後	1			○		
		英語ⅡA	2前		1		○		
		英語ⅡB	2後		1		○		
		オーラルイングリッシュⅠA	1前	1			○		
		オーラルイングリッシュⅠB	1後	1			○		
		オーラルイングリッシュⅡA	2前		1		○		
		オーラルイングリッシュⅡB	2後		1		○		
		フランス語	2前		1		○		
		中国語	2前		1		○		
	韓国語	2前		1		○			
	スペイン語	2前		1		○			
	健康・スポーツ	健康とスポーツⅠ	1通		1			○	
		健康とスポーツⅡ	2通		1			○	
小計(21科目)		—	9	17	—				
共通教養教育科目	人間と文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
		民族と異文化理解	2後		2	○			
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18	—				
小計(31科目)		—	11	35	—				
専門教育科目群	社会・環境と健康	人間関係論	1前	1		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		公衆衛生学	2前	2		○			
		医療概論	2前		2	○			
		健康管理概論	2後	2		○			
		公衆衛生学実習	2後	1			○		
		保健医療福祉システム論	4前	1		○			
	小計(7科目)		—	8	2	—			
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2		○			
		生化学Ⅱ	1後	2		○			
		形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		有機化学	1前		2	○			
		微生物学	1後	2		○			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習		
	形態機能学実習Ⅰ	1後	1				○		
	形態機能学実習Ⅱ	3前	1				○		
	病理学	2前	2			○			
	生化学実験	2前	1				○		
	病態診療学	2後	2			○			
	小計（11科目）	—	17	2	—				
専門基礎科目	食べ物 と健康	食品科学Ⅰ	1前	2		○			
		食品科学Ⅱ	1後	2		○			
		食品科学Ⅲ	4前	2	2	○			
		調理学	1前	2		○			
		調理学実習Ⅰ	1前	1				○	
		調理学実習Ⅱ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅰ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅱ	3前	1				○	
		食品衛生学	2前	2		○			
		食品衛生学実験	2前	1				○	
		食品微生物学実験	2前	1				○	
		食文化論	4後		1	○			
	小計（12科目）	—	14	3	—				
小計（30科目）	—	39	7	—					
専門教育科目群	栄養の 基礎	基礎栄養学	1後	2		○			
		応用栄養学Ⅰ	2前	2		○			
		応用栄養学Ⅱ	2後	2		○			
		応用栄養学Ⅲ	3後	2		○			
		基礎栄養学実験・実習	2後	1				○	
		応用栄養学実習	3前	1				○	
		スポーツ栄養学	4前		2	○			
		国際栄養学	4後		1	○			
		小計（8科目）	—	10	3	—			
	栄養の 教育	栄養教育論Ⅰ	2前	2		○			
		栄養教育論Ⅱ	2後	2		○			
		栄養教育論Ⅲ	3後	2		○			
		栄養教育論実習	3前	1				○	
		カウンセリング演習	3前		1		○		
		学校栄養指導論Ⅰ	3前		2	○			
		学校栄養指導論Ⅱ	3後		2	○			
	小計（7科目）	—	7	5	—				
	栄養の 実践	臨床栄養学Ⅰ	2前	2		○			
		臨床栄養学Ⅱ	2後	2		○			
		臨床栄養学Ⅲ	3前	2		○			
		臨床栄養学Ⅳ	3後	2		○			
		給食経営管理論Ⅰ	2前	2		○			
		給食経営管理論Ⅱ	2後	2			○		
		給食経営管理論実習Ⅰ	2後	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅳ	4前	1				○	
公衆栄養学Ⅰ		3前	2		○				
公衆栄養学Ⅱ		3後	2		○				
公衆栄養学実習Ⅰ		3後	1				○		
多職種連携		2後	1		○				
多職種連携演習		3後	1			○			
総合演習Ⅰ		3通年	1			○			
総合演習Ⅱ		4通年	2			○			
在宅栄養管理論		4前	1		○				
地域栄養活動演習	4前		1		○				
フードサービス演習	4前		2		○				
小計（20科目）	—	27	3	—					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習		
学 外 実 習	給食経営管理論実習Ⅱ	3後	1				○		
	給食経営管理論実習Ⅲ	4前		▲1			○		
	給食経営管理論実習Ⅳ	4通年		▲1			○		
	公衆栄養学実習Ⅱ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅲ	3後	2				○		
	臨床栄養学実習Ⅴ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅵ	4通年		2			○		
	小計 (7科目)	—	3	6			—		
	小計 (42科目)	—	47	17			—		
	小計 (72科目)	—	86	24			—		
統 合 発 展 科 目 群	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後		1		○			
	英文文献講読	3後		1		○			
	食といのちのゼミ	4後	1		○				
	卒業研究	4通年		3		○			
小計 (5科目)	—	1	6			—			
合計 (116科目)		—	104	71			—		

▲は選択必修科目

3) 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	教育課程論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	特別支援教育論	2	前		1	1		
	道徳教育論	2	後		1	1		
	総合学習指導論	3	前		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	栄養教育実習	4	前		1			1
	教職実践演習(栄養教諭)	4	前後		2		2	
教職総合演習	3	後		2		2		

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

## 4) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

2016年度以降入学生対象

授 業 科 目	共通 科目	配当 年次	学期	単 位 数		授 業 区 分				
				必修	選択	講義	演習	実習		
基礎科目	倫 理 学 特 論	☆	1		後	1		1		
	統 計 学 特 論	☆	1		前	1			1	
	疫 学	☆	1		前	1		1		
	人 間 関 係 論 特 論	☆	1		後		1	1		
	研 究 方 法 論 特 論	☆	1		前	2		2		
	医 療 情 報 ・ 医 療 経 済	☆	1		後		1	1		
	国 際 保 健 学 特 論	☆	2		前		1	1		
	国 際 保 健 学 特 論 演 習	☆	2		前		1		1	
専門基礎科目	食 品 衛 生 学 特 論		1		前	2		2		
	食 品 学 特 論		1・2	※	後		2	2		
	食 薬 理 学 特 論		1・2	※	前		2	2		
	栄 養 生 理 学 特 論		1・2	※	前		2	2		
	代 謝 栄 養 学 特 論	★	1		後	2		2		
	栄 養 免 疫 学 特 論		1・2	※	後		2	2		
	地 域 ケ ア シ ス テ ム 論	☆	1		後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	★	1		前		1		1	
	環 境 保 健 学	★	1		前		1	1		
	健 康 社 会 学	★	2		前		1	1		
	医 療 人 類 学 特 論	★	2		前		1	1		
専門実践科目	栄 養 管 理 学 特 論		1		前	2		2		
	栄 養 疫 学 特 論		1		後		1	1		
	健 康 行 動 科 学 特 論	☆	1		前	1		1		
	健 康 ・ 食 行 動 理 論		1		前		1	1		
	健 康 栄 養 エ ビ デ ン ス 論		1・2	※	前		2	2		
	栄 養 診 断 学 特 論		1		後	2		2		
	栄 養 管 理 学 総 合 演 習		1		前後	2			2	
	臨 床 栄 養 学 特 論		1		前	2		2		
	栄 養 管 理 学 特 別 研 究		1~2		前後	4				4
	栄 養 管 理 学 特 別 演 習		1~2		前後	4			4	
合 計						26	21	34	9	4

修了に必要な単位数:30単位以

☆:両専攻共通科目 ※:隔年開講

★:両専攻選択可能科目

5) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程) 2016年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	配当 年次	学期	単 位 数		授 業 区 分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研 究 方 法 特 論	1	前後	4		4		
基礎系栄養 管理学 分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養 管理学 分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
合 計				4	28	8	0	24

修了に必要な単位数：18単位以上

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分			
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習	
					必修	選択	必修	選択		必修	選択				
看護学・栄養管理学両専攻共通科目	倫理学特論	☆	1	後	1		1		○	1		1			
	人間関係論特論	☆	1	後		1		1			1	1			
	研究方法論特論	☆	1	前	2		2		○	2		2			
	統計学特論	☆	1	前		1		1		1			1		
	疫学	☆	1	前		1		1		1		1			
	地域ケアシステム論	☆	1	後		1		1		1		1			
	健康行動科学特論	☆	1	前		1		1		1		1			
	医療情報・医療経済	☆	1	後		1		1			1	1			
	国際保健学特論	☆	2	前		1		1			1	1			
	国際保健学特論演習	☆	2	前		1		1			1		1		
看護学専攻共通基礎科目	看護理論特論		1	前	2		2		○	2		2			
	看護倫理特論		1	後	1		1		○		1	1			
	看護研究法Ⅰ(量的研究)		1	後		1		1			1		1		
	看護研究法Ⅱ(質的研究)		1	後		1		1			1		1		
	看護教育学特論Ⅰ		1	前		2	2		○		2	2			
	看護教育学特論Ⅱ		1	後		1		1			1		1		
	看護管理学特論		1	後		2		2	○		2	2			
	家族関係論特論		1	前		1		1		1		1			
コンサルテーション論		1	後		1		1	○		1	1				
専門基礎科目	薬理学特論		1	前		2		2			2	2			
	フィジカルアセスメント		1	後			2		○			2			
	病態生理学		1	前		2	2		○		2	2			
	臨床薬理学		1	前		2	2		○		2	2			
	精神病理学特論		1	前		2		2			2	2			
	保健医療福祉政策論		1~2	後		1		1	○	1		1			
	保健医療福祉行政論		1	前		3				3		3			
	疫学・保健統計特論		1	前		2				2		2			
	ヘルスカウンセリング論	★	1	前		1		1		1			1		
	代謝栄養学特論	★	1	後		2		2			2	2			
	環境保健学	★	1	前		1		1			1	1			
	健康社会学	★	2	前		1		1			1	1			
医療人類学特論	★	2	前		1		1			1	1				
専攻分野専門科目	ホスピス緩和ケア看護学コース	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ		1	前			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ		1	後			2		○		2	2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ		1~2	後前			2		○				2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅳ		1	後			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅴ		1	前			2		○			2		
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ		1	前後			2		○			1	1	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ		1	後			1		○				1	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ		2	前			1		○				1	
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ		1	後			4		○					4
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ		2	前			4		○					4
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ		2	前			2		○					2	
	老年看護CNS	老年看護学特論Ⅰ(理論・概念)		1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅱ(健康生活評価)		1	前			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅲ		1	後			2		○			2		
		老年看護学特論Ⅳ		1	後			2		○			2		
老年看護学特論Ⅴ			1	後			2		○			2			
老年看護学展開論Ⅰ		1	後			2		○				2			

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択		必修	選択			
コース	老年看護学展開論Ⅱ		2	前			2		○				2	
	老年看護学実習Ⅰ		1	後			4		○					4
	老年看護学実習Ⅱ		2	前			6		○					6
精神看護CNSコース	精神看護学特論Ⅰ		1	前			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅱ		1	前			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅲ		1	後			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅳ		2	前			2		○			2		
	精神看護学演習Ⅰ		1	後			2		○				2	
	精神看護学演習Ⅱ		2	前			2		○				2	
	リエゾン精神看護学特論		2	前			2		○			2		
	高度実践精神看護実習Ⅰ		1	後			1		○					1
	高度実践精神看護実習Ⅱ		1	後			2		○					2
	高度実践精神看護実習Ⅲ		2	前			4		○					4
	高度実践精神看護実習Ⅳ		2	前			2		○					2
高度実践精神看護実習Ⅴ		2	後			1		○					1	
公衆衛生看護学コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ		1	前	2					2		2		
	公衆衛生看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	公衆衛生看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	公衆衛生看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
精神看護学コース	精神看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	精神看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	精神看護学演習Ⅰ		1	後	2								2	
	精神看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
成人看護学コース	成人看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	成人看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	成人看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	成人看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
老年看護学コース	老年看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	老年看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	老年看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	老年看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
母性看護学コース	母性看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	母性看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	母性看護学演習Ⅰ		1	後	2								2	
	母性看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
小児看護学コース	小児看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	小児看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	小児看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	小児看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
保健師コース	公衆衛生看護学原論		1	前						2		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ		1	前						2		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ		1	後						2		2		
	健康学習支援演習		1	後						1			1	
	家族看護学特論		1	前						2		1	1	
	公衆衛生看護学診断		1	後						2		1	1	
	公衆衛生看護学管理		1	後						2		2		
	健康危機管理特論		1	後						1			1	
	産業・学校看護学活動論		2	前						2		2		
	地域ケアシステム論特論		2	前						2		2		
	公衆衛生看護学課題研究演習		1	後						2			2	
家族看護学継続実習		1	後						1				1	

区 分	授 業 科 目	共 通 科 目	配 当 年 次	学 期	修論コース		高度実践 看護師コース		CNS 対 象 科 目	保健師コース		授 業 区 分		
					単 位 数		単 位 数			単 位 数		講 義	演 習	実 習
					必 修	選 択	必 修	選 択		必 修	選 択			
	公衆衛生看護展開実習		1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習Ⅰ		1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習Ⅱ		2	前						1				1
	特別看護研究		2	前後	8								8	
	公衆衛生看護課題研究		2	前後						4			4	
	ホスピス緩和ケア看護課題研究		2	前後			2						2	
	老年看護課題研究		2	前後			2						2	
	精神看護課題研究		2	前後			2						2	
合	計	—	—	—	62	37	86	32	—	49	28	106	67	36

注1：保健師コースは、大学院修士課程修了に必要な30単位に加えて、保健師国家試験受験資格取得に必須の28単位の計58単位を修得すること。

注2：修士論文コースは、専攻分野ごとに定める専門科目を履修・修得すること。

注3：高度実践看護師コースは、高度実践看護師資格を取得するための必修科目38単位を修得すること。

<記号説明>

☆：両専攻共通科目

★：各専攻の専門科目（両専攻で選択可）

7) 【助産基礎分野】

2017年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法 及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
基 礎 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は、 選択科目3単位以上を含む 56単位以上修得すること。 なお、選択科目は、 ①から④のいずれかの領域の単位を必ず修得し、かつ①、③の領域を選択した場合は、
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	2	後		1	1			
	専門基礎	出産の文化	1	前	1		1			
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前	1			1		
		助産薬理学Ⅰ	1	前	1		1			
		助産薬理学Ⅱ	2	前	1		1			
		妊産褥婦乳幼児の栄養	1	前	1		1			
		助産女性学	1	前	1		1			
		助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		助産研究法	1	後	1		1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後	1		1			
		助産管理論Ⅱ	2	前	1		1			
		助産師教育論	2	前	1		1			
		助産師教育方法論	2	後		1	1			
		母子保健行政・財政論	1	後	1		1			
母子保健活動論（疫学・統計を含む）		2	前	1		1				
実 践 専 門 科 目	マタニティサイクル助産ケア	マタニティサイクル助産ケアⅠ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅡ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅢ	1	通年	2		1	1		
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産演習	2	前	1			1		
		独立助産実践概論	2	前	1		1			
	マタニティサイクル助産ケア実践	独立助産演習	2	前	1			1		
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅲ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ	1	後	6				6	
マタニティサイクル独立助産実習	2	前	6				6			
マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ	2	後	2				2			
発 展 ・ 展 開 科 目	発展・展開	子育て支援論Ⅰ	1	後	1	①	1			
		子育て支援論Ⅱ	2	前後		1		1		
		子育て支援論演習	2	後		1		1		
		性教育Ⅰ	2	前	1	②	1			
		性教育Ⅱ	2	前後		1		1		
		性教育実習	2	後		2			2	
		ウィメンズヘルスⅠ	1	後	1	③	1			
		ウィメンズヘルスⅡ	2	前後		1		1		
		ウィメンズヘルス演習	2	後		1		1		
		国際助産学Ⅰ	2	前	1	④	1			
		国際助産学Ⅱ	2	前後		1		1		
		国際助産学実習	2	後		2			2	
特別統合研究科目	特別統合課題研究	2	通年	1			1			
合 計					53	12	26	15	24	

## 8) 【助産教育分野】

2015年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
助 産 専 門 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は選択科目8単位以上を含む 45単位以上を修得すること。
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	1	後	1		1			
		出産の文化	1	前		1	1			
		助産女性学	1	前		1	1			
	助産教育技術	助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前		1		1		
	助産ケア 特論・実践	独立助産実践特論	1	前	1		1			
		独立助産演習	1	前	1			1		
		独立助産実習	1	後	6				6	
		助産薬理学	2	前		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後		1	1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後		1	1			
		助産管理論Ⅱ	1	前	1		1			
		母子保健行政・財政論	1	後		1	1			
		母子保健活動論(疫学・統計を含む)	2	前		1	1			
	発展・展開	子育て支援論	1	後		1	1			
性教育		1	前		1	1				
ウィメンズヘルス		1	後		1	1				
国際助産学		1	前		1	1				
教 育 科 目	助産・ 看護教育	教育概論	1	前	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開	1	通年	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習	1	後	1			1		
		教授学習法の理論と展開	1	通年	2		2			
		教授学習法の理論と展開演習	1	後	1			1		
		教育評価	1	後	2		2			
		教育評価演習	1	後	1			1		
		教育機関の運営と評価	1	後	2		2			
		助産教育(Classroom Teaching)演習	2	前	1			1		
		助産教育(Classroom Teaching)実習	2	前	1				1	
		臨床助産教育(Clinical Teaching)演習	2	前	1			1		
		臨床助産教育(Clinical Teaching)実習	2	前	2				2	
	特別統合研究	助産研究法Ⅰ	1	前	1		1			
		助産研究法Ⅱ	1	後	1			1		
助産教育課題研究		2	前	2			2			
合 計						37	13	29	12	9

### 3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2021年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護学部 栄養	看護学科		374	102 (4)	100 (1)	100 (2)	97 (1)	399 (8)	106.7%
	栄養学科		350	94 (2)	91 (4)	87 (2)	97 (1)	369 (9)	105.4%
	小計			724	196 (6)	191 (5)	187 (4)	194 (2)	768 (17)
助産大学院 研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	16 -	21 -	- -	- -	37 -	61.7%
		助産教育分野	20	0 -	0 -	- -	- -	0 -	0.0%
	小計			80	16 -	21 -	- -	- -	37 -
看護栄養学 大学院 研究科	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0	0	- -	- -	0 (0)	42.9%
		精神看護学コース		0	2	- -	- -	2 (0)	
		成人看護学コース		0	1	- -	- -	1 (0)	
		老年看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		母性看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		小児看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		ホスピス緩和ケア看護学コース		2 (1)	0	- -	- -	2 (1)	
		老年看護CNSコース		0	3	- -	- -	3 (0)	
		精神看護CNSコース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		保健師コース		2	2	- -	- -	4 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	1	2	- -	- -	3 (0)	50.0%
		博士後期課程	6	1	2	5 (1)	- -	8 (1)	133.3%
小計			40	6 (1)	12	5 (1)	- -	23 (2)	57.5%
合計			844	218 (7)	224 (5)	192 (5)	194 (2)	828 (19)	98.1%

## 奨学金の種類と採用数（学部生） 2022年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数		
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	22人	
	日本学生支援機構奨学金	貸与	第一種	月 額	自宅 54,000円 自宅外 64,000円 上記以外に月額20,000円～50,000円まで、1万円単位で選択することができます（自宅通学の方は50,000円選択不可）	無利子貸与	159人
			第二種	月 額	月額20,000円～120,000円まで、1万円単位で選択することができます。	有利子貸与 利率3%以内	199人
	給付	第Ⅰ区分	月 額	自宅 38,300円 自宅外 75,800円	住民税非課税世帯（年収300万円未満の世帯）、それに準ずる世帯で、一定の学力・資質要件を満たす学生等が対象	35人	
				自宅 25,600円 自宅外 50,600円		14人	
				自宅 12,800円 自宅外 25,300円		15人	
				停止中		7人	
	学生支援緊急給付金		—	100,000円	給付、返還不要、	167人	
2～4年次生以上	天使大学シスター川原ユキエ記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	2人	
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人	
	天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	6人	
2～4年次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	9人	
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	道内特定施設に一定期間勤務の場合返還免除	7人	
全学生	その他の奨学金		札幌市奨学生(7)、天使病院奨学金(4)、日本教育文化財団育英奨学金(1)、北海道信用金庫奨学財団 給付型奨学(2)、あしなが育英会奨学金(2)、コカ・コーラ教育・環境財団奨学金(1)、ウェスレー財団 レガシー基金学費助成金(1)、新十津川町奨学金(1)、新冠町奨学金(1)、IMSグループ奨学金(1)、JA北海道厚生連 奨学金(1)		22人		
合 計					684人		

奨学金の種類と採用数（看護栄養学研究科） 2022年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	0人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	修士課程 50,000円または88,000円 博士課程 80,000円または122,000円	無利子貸与	0人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率3%以内	0人
学生支援緊急給付金		—	100,000円	給付、返還不要、	3人
天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	0人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	道内特定施設に一定期間勤務の場合返還免除	0人
その他の奨学金					0人
					3人

奨学金の種類と採用数（助産研究科） 2022年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	4人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	13人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率変動3%以内	6人
学生支援緊急給付金		—	100,000円	給付、返還不要、	9人
天使大学同窓会奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	2人
日本助産師会奨学金		月 額	50,000円	無利子貸与	1人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	36,000円	無利子貸与。道内施設に一定 期間勤務の場合返還免除	17人
その他の奨学金		砂川市立病院事業看護学生修学資金（1）			1人
合 計					53人

#### 4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2021年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (新卒) (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	95 人	94 人	98.9%	96.5%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	2 人	2 人	100.0%	93.0%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	19 人	19 人	100.0%	99.7%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	95 人	85 人	89.5%	92.9%

## 5. 就職・進学状況

看護栄養学部就職状況（2022年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	78	100.0%	0	0.0%	78	82.1%	92	98.9%	1	1.1%	93	97.9%
	希望無しの者	16	94.1%	1	5.9%	17	17.9%	2	100.0%	0	0.0%	2	2.1%
計(卒業者数)		94	98.9%	1	1.1%	95	100.0%	94	98.9%	1	1.1%	95	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		78	100.0%	0	0.0%	78	100.0%	89	96.7%	1	100.0%	90	96.8%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	16	20.5%	0	0.0%	16	20.5%	10	11.2%	1	100.0%	11	12.2%
	道内	62	79.5%	0	0.0%	62	79.5%	79	88.8%	0	0.0%	79	87.8%
	市内(再掲)	57	(73.1%)	0	(0.0%)	57	(73.1%)	62	(69.7%)	0	0.0%	62	(68.9%)
職種別	看護師	78	100.0%	0	0.0%	78	100.0%						
	管理栄養士							51	57.3%	0	0.0%	51	56.7%
	栄養士							25	28.1%	0	0.0%	25	27.8%
	栄養教諭							3	3.4%	0	0.0%	3	3.3%
	上記以外							10	11.2%	1	100.0%	11	12.2%

〔進学状況〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数		16		0		16		0		0		0	
進学合格者数		16		0		16	100.0%	0		0		0	0.0%

看護栄養学研究科就職状況（2022年5月1日現在）

〔就職希望者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻					看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		成人看護学コース		計	博士前期課程		博士後期課程		計	合計	
項目		数	割合	数	割合	数	数	割合	数	割合	数	数	割合
就職希望の有無	希望有りの者	2	66.7%	1	33.3%	3	2	66.7%	1	33.3%	3	6	100.0%
	希望無しの方	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%
計(修了者数)		2	66.7%	1	33.3%	3	2	66.7%	1	33.3%	3	6	100.0%

〔就職決定者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻					看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		成人看護学コース		計	博士前期課程		博士後期課程		計	合計	
項目		数	割合	数	割合	数	数	割合	数	割合	数	数	割合
就職者数/決定率		2	100.0%	1	100.0%	3	2	100.0%	1	100.0%	3	6	100.0%

〔地域別決定者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻					看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		成人看護学コース		計	博士前期課程		博士後期課程		計	合計	
項目		数	割合	数	割合	数	数	割合	数	割合	数	数	割合
地域別	道外	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	1	100%	1	1	16.7%
	道内	2	100.0%	1	100.0%	3	2	100.0%	0	0.0%	2	5	83.3%
	市内(再掲)	0	(0.0%)	1	(100.0%)	1	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	1	(16.7%)

助産研究科就職状況（2022年5月1日現在）

〔就職希望者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	卒業者に 対する割合
就職希望 の有無	希望有りの者	19	-	19	100.0%
	希望無しの者	0	-	0	0.0%
計(修了者数)		19	-	19	100.0%

〔就職決定者〕

分野	助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
決定数/決定率	19	-	19	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
地域別	道外	5	-	5	26.3%
	道内	14	-	14	73.7%
	市内(再掲)	9	-	9	(47.4%)
職種別	助産師	19	-	19	100.0%
	教員	0	-	0	0.0%
	上記以外	0	-	0	0.0%

2021年度求人件数・人数（2022年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	38	76	125	201	845	1,267	6,042	7,309
保健師	5	82	23	105	24	146	206	352
助産師	9	25	66	91	61	106	390	496
計	52	183	214	397	930	1,519	6,638	8,157

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	38	66	28	94	324	394	1,321	1,715
管理栄養士	42	107	56	163	272	371	1,453	1,824
栄養教諭	0	0	0	0	0	0	0	0
食品衛生監視員	1	1	1	2	0	0	25	25
その他 保健医療従事者	0	1	0	1	0	10	0	10
計	81	175	85	260	596	775	2,799	3,574

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	23	57	16	73	262	416	291	707
合計	156	415	315	730	1,788	2,710	9,728	12,438

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

## 6. 2022年度入試結果

### 看護栄養学部

#### ◆看護学科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	7	(6)	7	(6)	7	(6)	7	(6)	1.0
公募制推薦		57	(37)	57	(37)	37	(36)	37	(36)	1.5
社会人	40	3	(0)	3	(0)	1	(0)	1	(0)	3.0
一般		233	(232)	227	(228)	91	(88)	39	(39)	2.5
共通テスト利用	20	188	(176)	188	(176)	86	(77)	19	(21)	2.2
総計	100	488	(451)	482	(447)	222	(207)	103	(102)	2.2

#### ◆栄養学科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	44	2	(2)	2	(2)	2	(2)	2	(2)	1.0
公募制推薦		52	(55)	52	(55)	43	(43)	43	(43)	1.2
社会人	36	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般		60	(83)	59	(83)	47	(47)	43	(38)	1.3
共通テスト利用	10	41	(75)	41	(75)	37	(26)	6	(10)	1.1
総計	90	155	(215)	154	(215)	129	(118)	94	(93)	1.2

### 大学院 看護栄養学研究科

#### ◆看護学専攻

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	2	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	1.0
一般Ⅰ期		6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)	1.2
一般Ⅱ期		1	(2)	1	(2)	1	(2)	1	(2)	1.0
総計	14	9	(4)	9	(4)	8	(4)	8	(4)	1.1

#### ◆栄養管理学専攻 博士前期課程

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般Ⅰ期	3	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般Ⅱ期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	3	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0

#### ◆栄養管理学専攻 博士後期課程

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般Ⅰ期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般Ⅱ期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	2	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0

### 大学院 助産研究科

種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	15	(5)	14	(5)	12	(5)	12	(5)	1.2
	一般Ⅰ期	15	23	(10)	23	(10)	12	(9)	10	(9)	1.9
	社会人Ⅰ期		4	(1)	4	(1)	0	(1)	0	(1)	-
	一般Ⅱ期	5	7	(1)	7	(1)	2	(1)	2	(1)	3.5
	社会人Ⅱ期		3	(0)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	-
教育分野	Ⅰ期	10	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	Ⅱ期		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
総計	40	52	(17)	51	(17)	26	(16)	24	(16)	2.0	

## 7. 教員組織

教員組織一覽

(2021年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	7人	0人	1人	2人	0人	10人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	26人
看護栄養学部	看護学科	9人	7人	10人	6人	0人	32人
	栄養学科	6人	7人	4人	0人	5人	22人
	教養教育科	4人	2人	0人	0人	0人	6人
	計	19人	16人	14人	6人	5人	60人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	91人
合計		26人	16人	15人	8人	5人	187人

専任教員年齢構成

(2021年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計	
助産研究科	教授	0 0.0%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100%	
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	
	講師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0%	
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100%
	計	0 0.0%	1 10.0%	5 50.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%
	助手	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%
小計		0 0.0%	1 10.0%	5 50.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1 5.3%	9 47.4%	1 5.3%	3 15.8%	3 15.8%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 100%	
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	5 31.3%	4 25.0%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100%	
	講師	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 100%	
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 100%	
	計	1 1.8%	9 16.4%	3 5.5%	9 16.4%	13 23.6%	11 20.0%	5 9.1%	3 5.5%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	55 100%	
	助手	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	5 100%	
小計		1 1.7%	9 15.0%	3 5.0%	9 15.0%	13 21.7%	11 18.3%	5 8.3%	3 5.0%	2 3.3%	4 6.7%	0 0.0%	60 100%	
合計		1 1.4%	10 14.3%	8 11.4%	9 12.9%	16 22.9%	11 15.7%	6 8.6%	3 4.3%	2 2.9%	4 5.7%	0 0.0%	70 100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2022年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者			退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	講師から准教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3人	1人	0人	0人	0人	0人
看護学科	1人	2人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
栄養学科	0人	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	2人	0人	0人	0人	0人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	2人	2人	0人	0人	2人	0人	4人	3人	4人	0人	0人	0人	0人

## 8. 事務組織

(2021年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職 員	臨時職員	パート職員	派遣職員	計
			うち管理職					
法人 業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学 業務系	総務課	4	1	3	0	0	0	7
	学務課	6	1	4	2	3	0	15
	図書情報課	2	0	3	0	0	0	5
	財務室	3	1	2	2	5	0	12
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	18	4	13	4	8	0	43
合 計		18	4	14	4	8	0	44

## 9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	榑 建二郎	NMDを介した小胞体ホメオスタシス制御因子の細胞内局在メカニズムの解明
2	継続	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
3	継続	若手研究	伊藤 治幸	酸化ストレスマーカーを指標としたdaily hasslesの実態と評価
4	継続	基盤研究(C)	小澤 涼子	女性新規就農者が健康を獲得するプロセスの解明と健康増進プログラムの開発
5	継続	基盤研究(C)	小坂 美智代	経口抗がん治療薬を受ける外来患者のセルフマネジメントを支える外来看護モデルの検討
6	継続	基盤研究(C)	田中 さおり	S G A性低身長症児と家族のGH療法をシームレスに支える看護支援プログラムの開発
7	継続	基盤研究(C)	伊織 光恵	改訂版初経教育プログラムの構築による知的障害のある女子の母親への継続支援
8	継続	若手研究	小島 有沙	介護老人保健施設におけるスキナーケア予防策の構築－援助者の認識する発生状況から－
9	継続	若手研究	船木 沙織	原爆傷害調査委員会が実施した遺伝学調査における助産婦の活動
10	継続	基盤研究(C)	松下 真美	$\omega$ 3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果
11	新規	基盤研究(C)	松下 真美	ヒト褐色脂肪組織の活性に関連する食事・生活習慣因子の解明
12	継続	若手研究	高桑 暁子	離乳食の新たな指標としての $\alpha$ ディフェンシンによる腸内細菌叢制御の解明
13	継続	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	特別研究費	小澤 芳子	認知症高齢者の在宅での最後の現状と家族の看取り体験
2	継続	特別研究費	伊藤 治幸	日常生活習慣の程度が精神的ストレスに及ぼす影響－抗酸化力の違いからの評価－
3	継続	特別研究費	福田 早織	成人看護学における臨床看護師と連携したシミュレーション教育の有用性の検討
4	継続	特別研究費	新関 幸子	静脈血採血における静脈怒張を促すマッサージの手技に関する検討
5	継続	特別研究費	小野澤 かおり	出生前検査を受けられる子どもの側から考える検査の意味～看護系大学生を対象とした意識調査～
6	継続	特別研究費	田中 裕子	老年看護学の学内演習におけるジグソー法導入による学習効果
7	継続	特別研究費	鈴木 純子	地方在住高齢者の生活習慣病重症化予防における訪問栄養食事指導の効果検証
8	継続	特別研究費	長谷川 めぐみ	妊婦の食の安全行動に関連する要因の検討
9	新規	特別研究費	秋山 雅代	「熟練看護師が行う介助シャワー浴の技術の構造化」における予備的研究
10	継続	特別研究費	長田 雅子	開業助産師の助産ケアに影響を与える要因

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	公益財団法人寿原記念財団		榎 建二郎	NMD制御因子による小胞体ストレス応答の新規調節機構の解析
2	公益財団法人武田科学振興財団		榎 建二郎	RNAと小胞体を結ぶ品質管理連携機構の解明とNMD阻害薬の臨床応用へ向けた提案
3	公立大学法人大阪		吉田 真弓	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
4	大久保 岩男		鈴木 純子	奨学寄付

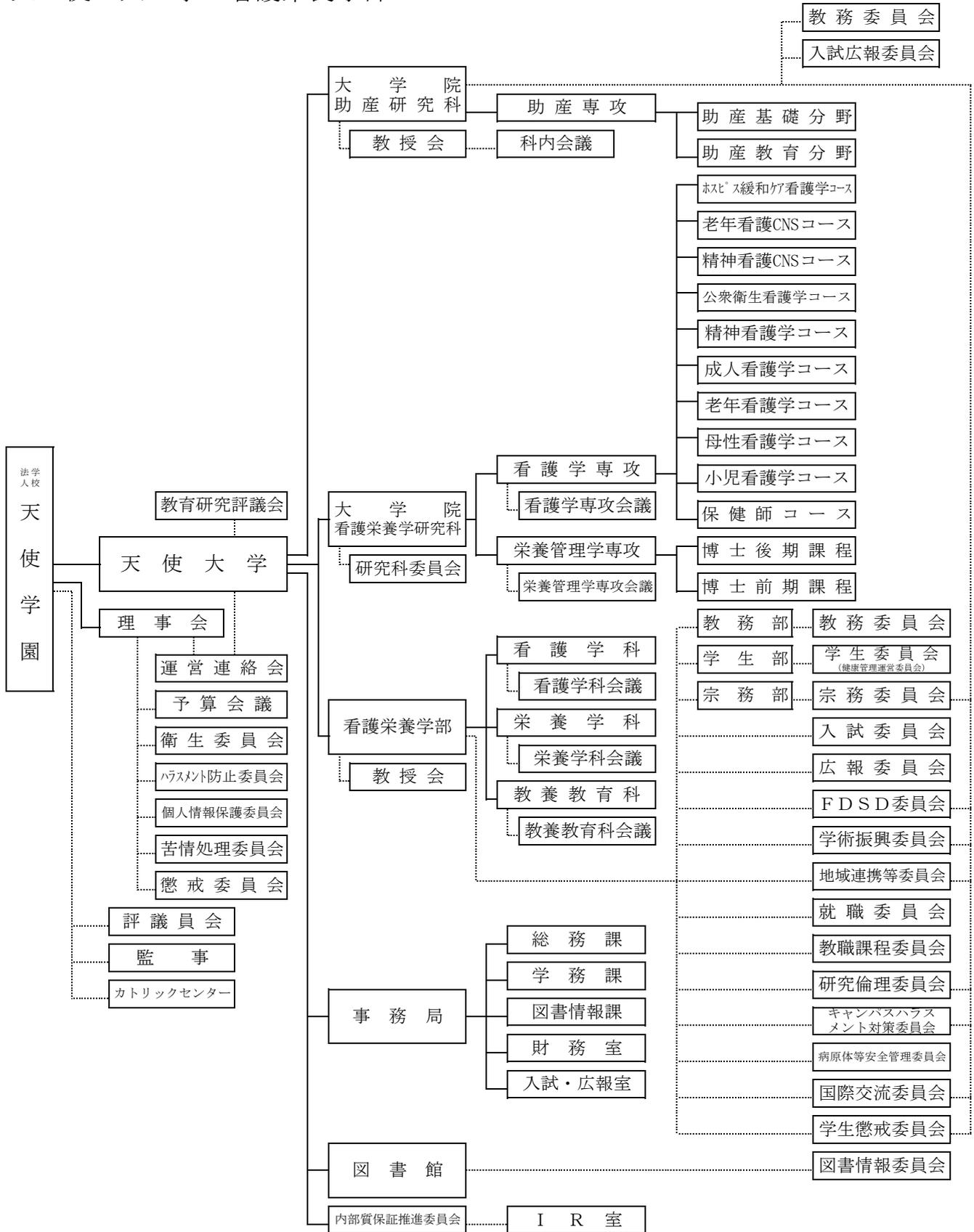
FD・SDの実施状況

分類	日時	参加人数	テーマ・内容
F D	随時		授業参観 教員各自が遠隔授業で使用した（する）動画又は対面授業の録画を選択してGoogle Classroomの授業参観ページにアップし、各教員は、Google Classroomにアップされた動画を視聴して参観する。
F D	2021年7月10日+ オンライン開催	29	看護栄養学研究科FD テーマ：地域包括ケアシステムと政策決定プロセス
F D	2021年7月13日+ オンライン開催	58	研究倫理研修会 テーマ：新しい倫理指針の概要と運用上の注意点
F D	2021年8月26日+ オンライン開催	39	看護栄養学研究科FD テーマ：研究倫理-人を対象とする研究における倫理と研究不正-
F D	2021年9月～10 月	51	FDSD委員会主催FD研修会 内容：発問の作り方
F D	2021年10月19日 +オンライン開催	12	助産研究科FD研修会 テーマ：妊婦の感染症～新型コロナウイルス、サイトメガロウイルス、トキソプラズマ他
F D	2022年1月20日+ オンライン開催	16	教職課程FD研修会 テーマ：「令和の日本型教育」の構築を目指して(2021.1中教審)」における学校教育の課題-求められる教員の資質・能力と教員育成機関への期待-
F D S D	2022年2月18日+ オンライン開催		天使大学IR室FDSD研修会 テーマ1：IRって何？～先進校における取り組みの紹介～ テーマ2：本学におけるIR室の運用体制と今後の方針について
S D	2021年9月～10 月	80	FDSD委員会主催SD研修会 テーマ：〈行い〉の大切さを再考する-本学ヴィジョンの具現化のために-
S D	2021年9月～10 月 オンライン開催	59	SD研修会 テーマ：2020年度決算報告及び監事報告について
S D	2021年10月 オンライン開催	43	ハラスメント相談員研修会 テーマ：ハラスメントが起きないために-個人の尊厳を大切にしましょう-
S D	2021年12月21日 + オンライン開催	100	教職員修養会

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科  
 天使大学大学院 看護栄養学研究科  
 天使大学 看護栄養学部



## 11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
臨時 4月1日(木)	19名	報告事項 1 2021年度校務分掌一覧について 2 2021年度一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜における追加合格について 3 2021年度新入生へのパソコン及びインターネット環境調査とサポートの取り組み方針について
第1回 4月12日(月)	18名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の委嘱・取り消しについて 報告事項 1 休学の許可について 2 2021年度教員免許状更新講習の実施について 3 2021年度新入生へのパソコン及びインターネット環境調査とサポートの取り組み方針について
第2回 5月10日(月)	18名	審議事項 1 2021年度既修得単位の認定・単位授与について 2 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2021年度化学・生物診断テストの結果について 2 2021年度天使祭について 3 2021年度葦の会役員、部・サークルについて 4 2020年度オープンキャンパス参加者数及び2021年度入学者選抜志願者数速報（北海道内看護系・栄養系）について 5 F D S D活動実施要項の改正について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について 2 天使大学学則の一部改正について 3 履修規程の一部改正について
第3回 6月14日(月) (Zoom開催)	18名	審議事項 1 2021年度授業科目の開講期の変更について 2 2021年度非常勤講師の委嘱について 3 2022年度入学者選抜要項について 報告事項 1 休学の許可について 2 教員の退職について 3 2021年度後期授業実施方針について 4 講演会のオンライン開催について
第4回 7月12日(月)	17名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の委嘱・取消について

		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学業成績優秀者奨励金対象者について</li> <li>2 2021 年度後期授業実施方針の一部訂正について</li> <li>3 専任教員の新規授業担当科目について</li> <li>4 F D 及び S D 研修会実施予定調査結果について</li> <li>5 2021 年度 F D 研修会及び S D 研修会の開催について</li> </ol> <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「病原体等安全管理委員会規程」の一部改正及び「遺伝子組換え実験に関する基準要領」の制定について</li> <li>2 教員の採用に係る募集大綱について</li> <li>3 非常勤講師の雇用契約の更新について</li> </ol>
<p>第 5 回 9月13日(月) (Zoom開催)</p>	18 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2021 年度既修得単位の認定・単位授与について</li> <li>2 科目区分「キリスト教を基盤とした人間教育科目群」に関わる検討の体制について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の採用について</li> <li>2 2021 年度特別研究費の採択について</li> <li>3 2021 年度 Food and Life Step-up Ceremony の実施について</li> <li>4 休学の許可について</li> <li>5 カトリックセンターホームページの開設について</li> <li>6 遠隔授業に係わるアンケート結果の分析について</li> <li>7 2021 年度後期アッセンブリー・アワーの実施方法について</li> <li>8 2021 年度後期宗務行事予定について</li> <li>9 2021 年度オープンキャンパスの参加者数について</li> <li>10 2021 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について</li> </ol>
<p>第 6 回 10月12日(火)</p>	18 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アセスメントポリシーに係る各種調査の実施について</li> <li>2 2023 年度入学者選抜日程について</li> <li>3 北海道胆振東部地震、平成 30 年 7 月豪雨および熊本地震で被災した 2022 年度入学志願者等の入学検定料、入学金、授業料の減免についてなし</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の昇任について</li> <li>2 2021 年度戴帽式の実施について</li> <li>3 2021 年度教職員修養会の開催について</li> <li>4 2020 年度学生の自己点検・評価アンケート結果の分析について</li> <li>5 カトリックセンターホームページの開設について</li> <li>6 遠隔授業に係わるアンケート結果の分析について</li> </ol> <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の採用に係る募集大綱について</li> </ol>
<p>第 7 回 11月15日(月)</p>	17 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度非常勤講師の委嘱について</li> </ol>

		<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の採用及び昇任等について</li> <li>2 2022 年度科学研究費助成事業の申請状況について</li> <li>3 2021 年度後期における授業実施方針及び時間割の変更について</li> <li>4 教職課程における I C T 教育科目の新設等に伴う教育課程の改正について</li> <li>5 2021 年度教職課程 F D 研修会の開催について</li> </ol> <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学生の懲戒について</li> <li>2 教員の採用に係る募集大綱について</li> <li>3 天使大学学則の一部改正について</li> <li>4 履修規程の一部改正について</li> <li>5 教職課程履修規程の一部改正について</li> </ol>
臨時 12 月 10 日(金)	15 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度学校推薦型選抜・社会人選抜の可否判定について</li> </ol>
第 8 回 12 月 13 日(月)	18 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度学事暦について</li> <li>2 2021 年度非常勤講師の委嘱取消について</li> <li>3 2022 年度非常勤講師の委嘱について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の採用について</li> <li>2 教員の退職について</li> <li>3 教員業績評価制度に関する規程等の一部改正について</li> <li>4 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</li> <li>5 退学の許可について</li> <li>6 2022 年度前期授業実施方針について</li> <li>7 2021 年度アセスメントポリシーに係る調査の実施について</li> <li>8 2021 年度クリスマス関連行事の予定について</li> </ol>
第 9 回 1 月 17 日(月)	17 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 名誉教授の選考について</li> <li>2 2022 年度非常勤講師の委嘱・取消について</li> <li>3 2022 年度入学者選抜における受験機会の更なる確保について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員の採用等について</li> <li>2 教員の退職について</li> <li>3 2022 年度前期授業実施方針の一部変更について</li> <li>4 授業時における学生の座席の配置及び記録について</li> <li>5 2021 年度卒業祝賀会について</li> <li>6 2021 年度 1・2・3 月の宗務行事予定について</li> <li>7 2022 年度前期アッセンブリー・アワーの実施方法について</li> <li>8 2021 年度年報作成について</li> </ol> <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 客員教授の委嘱について</li> </ol>

第 10 回 2 月 15 日(火)	15 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度入学者選抜の合否判定について</li> <li>2 2022 年度非常勤講師の委嘱・取消について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2021 年度卒業・修了感謝のミサについて</li> <li>2 2022 年度入学者選抜における受験機会の更なる確保について</li> <li>3 2021 年度科研費獲得セミナーの開催について</li> <li>4 キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートの実施について</li> <li>5 アンケート調査及びデータ分析依頼書について</li> <li>6 I R 室主催 F D S D 研修会について</li> </ol>
臨時 2 月 18 日(金)	14 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度入学者選抜の合否判定について</li> </ol>
臨時 2 月 22 日(火)	14 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度入学者選抜の合否判定について</li> <li>2 2021 年度卒業判定について</li> <li>3 2021 年度教職課程修了判定について</li> <li>4 2022 年度授業科目における開講学期の変更について</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2021 年度卒業証書・学位記授与式実施要領について</li> <li>2 専任教員の新規授業科目担当について</li> </ol> <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度科目等履修生の受け入れについて</li> </ol>
第 11 回 3 月 14 日(月)	17 名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2021 年度進級判定について</li> <li>2 2022 年度既修得単位の認定・単位授与について</li> <li>3 2022 年度非常勤講師の委嘱・変更について</li> <li>4 2022 年度授業科目の開講期の変更について</li> <li>5 2022 年度以降教育課程における新規科目の英語名称について</li> <li>6 2022 年度以降教育課程におけるカリキュラムマップについて</li> </ol> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2022 年度入学式実施要領について</li> <li>2 復学・退学の許可について</li> <li>3 2022 年度校務分掌一覧について</li> <li>4 2021 年度遠隔授業の授業データ削除について</li> <li>5 2022 年度学事暦の一部変更について</li> <li>6 専任教員の新規授業科目担当について</li> <li>7 学内で遠隔授業を受講できる教室の設定について</li> <li>8 教室の収容人数にかかる一部変更について</li> <li>9 試験における不正防止のための留意事項について</li> <li>10 2022 年度イースターの集い、前期週日のミサについて</li> <li>11 2022 年度入学生アンケートの実施について</li> </ol>

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月12日(月)	32名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度看護栄養学研究科の活動目標について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2021年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除推薦者について</p> <p>2 2021年度看護栄養学研究科開講科目一覧について</p> <p>3 2021年度看護学専攻学位論文研究計画書の指導教員について</p> <p>4 2021年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について</p> <p>5 2021年度栄養管理学専攻新入生の研究指導教員について</p>
第2回 5月10日(月)	31名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について</p> <p>2 2021年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2021年度看護学専攻指導教員の選任について</p>
第3回 6月14日(月) (Zoom開催)	14名	<p>審議事項</p> <p>1 2022年度入学者選抜要項について</p> <p>2 2021年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>3 2021年度授業科目の開講期の変更について</p> <p>4 2021年度栄養管理学専攻専任教員の新規担当科目について</p> <p>5 2021年度中間報告会の日程の変更について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2021年度看護学専攻FD研修会について</p> <p>2 2021年度栄養管理学専攻学位論文研究計画書について</p> <p>3 2021年度栄養管理学専攻院生の研究副指導教員について</p>
第4回 7月12日(月)	28名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度特別講師の委嘱変更及び取消について</p> <p>2 2021年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2021年度栄養管理学専攻FD研修会の開催について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 天使大学大学院研究科委員会規程の一部改正について</p>
第5回 9月13日(月) (Zoom開催)	15名	<p>審議事項</p> <p>1 看護学専攻「基礎看護学コース」の設置について</p> <p>2 2021年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>3 2021年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>4 2021年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2021年度オープンキャンパスの参加者数について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 天使大学大学院看護栄養学研究科規程の一部改正について</p> <p>2 天使大学大学院看護栄養学研究科履修規程の一部改正について</p>

臨時 9月22日(月)	13名	審議事項 1 2022年度看護学専攻(保健師コース)推薦型選抜の合否判定について 報告事項 1 休学の許可について
第6回 10月12日(火)	15名	審議事項 1 2022年度天使大学大学院看護栄養学研究科科目等履修生募集要項について 2 2021年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について 3 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2022年度看護栄養学研究科看護学専攻基礎コースの入学選抜要項及び入学選抜の実施について
臨時 10月19日(火)	15名	審議事項 1 2022年度一般選抜(I期)の合否判定について
第7回 11月15日(月)	14名	審議事項 1 2023年度入学選抜日程について 2 2021年度学位論文関連スケジュールについて 3 2021年度学位論文提出予定者の主査及び副査について
第8回 12月14日(月)	15名	審議事項 1 長期履修学生の履修期間変更について 2 休学による長期履修期間の変更について 3 2022年度非常勤講師の委嘱について 4 2021年度学位論文発表会(保健師コース)の開催について 5 看護学専攻「在宅看護CNSコース」(2023年度以降入学対象)の増設について 6 2021年度学位論文提出予定者の主査及び副査について 7 栄養管理学専攻博士前期・後期課程カリキュラムポリシーの変更について 報告事項 1 2022年度看護栄養学研究科栄養管理学専攻開講科目一覧について
第9回 1月17日(月)	14名	審議事項 1 2022年度学事暦について 2 2022年度看護栄養学研究科専任教員の新規担当科目について 3 2021年度学位論文発表会(成人看護学コース、博士前期課程、博士後期課程)の開催について 4 2022年度非常勤講師の委嘱について 5 2022年度特別講師の委嘱について 6 新規科目、区分等の英語表記について
臨時 1月25日(火)	13名	審議事項 1 2022年度一般選抜(II期)の合否判定について
第10回 2月15日(火)	13名	審議事項 1 2021年度長期履修学生申請の許可について 2 2022年度専任教員の新規授業科目の担当について 3 2022年度非常勤講師の委嘱・変更について

		4 看護栄養学研究科自己点検・評価報告書について 5 2022年度授業科目の開講期の変更について 6 2022年度リサーチループリックの運用について 7 天使健康栄養クリニックのWebページの閉鎖について 報告事項 1 復学の許可について
臨時 2月22日(火)	12名	審議事項 1 2021年度修了判定について 報告事項 1 2021年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について
第11回 3月14日(月)	14名	審議事項 1 2022年度遠隔授業科目について 2 2022年度非常勤講師の委嘱について 3 2023年度看護学専攻一般選抜学力試験「英語」の廃止について

大学院助産研究科教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月14日(水)	8名	審議事項 1 2021年度兼任教員について 2 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 休学の許可について 2 2021年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除推薦者について
第2回 5月12日(水)	7名	報告事項 1 FDS D活動実施要項の改正について 2 助産研究科基礎分野2年マタニティサイクル独立助産実習について 意見聴取事項 1 天使大学大学院助産研究科学則の一部改正について 2 天使大学大学院助産研究科履修規程の一部改正について
第3回 6月16日(水) (Zoom開催)	8名	審議事項 1 2021年度 授業科目開講期の変更について 2 2022年度入学者選抜要項について 報告事項 1 助産教育分野のカリキュラム改正等の検討ワーキングについて その他 新型コロナウイルスのワクチン接種に関する事故報告および対応について その他 2021年度第1回助産研究科オンラインオープンキャンパスについて
第4回 7月14日(水)	8名	報告事項 1 FD及びSD研修会実施予定調査結果について 2 2021年度FD研修会及びSD研修会の開催について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について

第5回 9月8日(水) (Zoom開催)	10名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の新規委嘱および委嘱取消について 報告事項 1 カトリックセンターホームページの開設について 2 2021年度オープンキャンパスの参加者数について 3 2021年度後期宗務行事予定について 4 その他
臨時 9月22日(水)	10名	審議事項 1 2022年度助産基礎分野推薦型選抜の合否判定について 報告事項 1 2021年度教職員修養会の開催について 2 復学・休学の許可について 3 助産研究科のあり方検討ワーキング進捗状況について 4 天使大学図書館新型コロナウイルス感染拡大に伴うガイドラインについて
第6回 10月7日(木)	8名	審議事項 1 2023年度入学者選抜日程について 報告事項 1 教員の昇任について 2 2021年度教職員修養会の開催について 3 2021年度助産研究科FD研修会の開催について 4 助産研究科のあり方検討ワーキング進捗状況について
臨時 10月19日(火)	9名	審議事項 1 2022年度助産基礎分野I期選抜(一般選抜・社会人選抜)の合否判定について
第7回 11月10日(水)	6名	審議事項 1 助産研究科教育分野の教育方針及びカリキュラムの改正について 報告事項 1 教員の採用及び昇任等について 2 2022年度科学研究費助成事業の申請状況について
第8回 12月9日(水)	9名	報告事項 1 教員の採用について 2 教員の退職について 3 教員業績評価制度に関する規程等の一部改正について 4 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について 5 教育研究評議会における助産研究科助産教育分野の教育方針及びカリキュラムの改正の審議結果について 6 2021年度クリスマス関連行事の予定について 意見聴取事項 1 助産研究科助産基礎分野の学費改定について
第9回 1月25日(火)	10名	審議事項 1 2022年度助産基礎分野II期選抜(一般選抜・社会人選抜)の合否判定について

		<p>2 2022年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について</p> <p>3 2022年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員の採用等について</p> <p>2 教員の退職について</p> <p>3 名誉教授の称号授与について</p> <p>4 休学の許可について</p> <p>5 2021年度1・2・3月の宗務行事予定について</p> <p>6 2022年度前期アッセンブリー・アワーの実施方法について</p> <p>7 2021年度年報作成について</p> <p>8 第8回教育研究評議会における助産研究科教育分野の教育方針およびカリキュラム改正に関する看護学専攻担当教員からの提案について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 臨床専任教員の雇用契約更新について</p>
<p>第10回</p> <p>2月17日(木)</p>	7名	<p>報告事項</p> <p>1 2021年度卒業・修了感謝のミサについて</p> <p>2 2021年度科研費獲得セミナーの開催について</p> <p>3 キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートの実施について</p> <p>4 IR室主催FDSD研修会について</p> <p>5 助産研究科助産教育分野に関する看護学専攻担当教員の提案への意見について</p>
<p>臨時</p> <p>2月24日(木)</p>	10名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度助産基礎分野の修了判定について</p>
<p>第10回</p> <p>3月17日(木)</p>	7名	<p>報告事項</p> <p>1 休学の許可について</p> <p>2 2022年度入学式実施要領について</p> <p>3 2022年度校務分掌一覧について</p> <p>4 2022年度授業科目担当者について</p> <p>5 2022年度イースターの集い、前期週日のミサについて</p>

## 12. 委員会構成一覧

2021.8.1 現在

### 2021年度校務分掌一覧

【委員任期(2年)：2020.4.1～2022.3.31】

教育研究評議会	学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、内部質保証推進委員会委員長、事務局長	2年	総務課
---------	---	----	-----

#### 【看護栄養学部関係】

◎看護学科長：吉田礼維子	◎栄養学科長：中川幸恵	◎教養教育科長：川口雄一
--------------	-------------	--------------

学部教授会	学長、看護学科：吉田(礼)・大野・小澤(芳)・榊・菅原・高木・服部・日沼・山本 栄養学科：中川・菊池・清水・進藤・鈴木、教養教育科：川口・新井・鹿内・堀井	総務課
-------	--	-----

区分	委員会名	委員長	委員	任期	担当
常設委員会	教務委員会	教務部長	教務部長：新井、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、(教職課程委員長)、看護：伊藤、伊織、栄養：志賀・吉田(真)、教養：小原	2年	学務課
	学生委員会 (健康管理運営委員会)	学生部長	学生部長：小澤(芳)、看護：小坂・前田、栄養：菊池・高桑、教養：日時 (健康管理運営委員会構成員) 学生委員会委員+助産研究科教務委員会委員長	2年	学務課
	宗務委員会	宗務部長	宗務部長：菅原、看護：田中(裕)・福田、栄養：金澤・坂本、 教養：堀井、助産：杉田、事務局：栃原 カトリックセンター司祭：ケン・スレイマン	2年	学務課
	図書情報委員会	図書館長	図書館長：高木、看護：高橋(順)・中洞、栄養：志賀・西、 教養：日時、助産：長田、図書情報課長：(-)	2年	図書情報課
	内部質保証推進委員会	日沼	看護：榊、栄養：岡部、教養：小原、看護学専攻：(日沼)、 栄養管理学専攻：鈴木、助産：中田、事務局長	2年	総務課
	入試委員会	川口	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護：柴田、栄養：金澤、 教養：(川口)、入試・広報室長：鈴木	2年	入試・広報室
	広報委員会	服部	看護：小澤(涼)・横山、栄養：松下・峯岸、教養：(-) 入試・広報室長：鈴木	2年	入試・広報室
	FDSD委員会	大野	看護：船木、栄養：岡部、教養：鹿内、助産：杉浦、 総務課長、総務課：松田、学務課：渡邊	2年	総務課
	学術振興委員会	榊	看護：田中(さ)、栄養：西、教養：(-)、助産：今崎	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	清水	看護：新関・若山、栄養：清水・長谷川・高桑、教養：(-)、助産：三浦	2年	学務課
	就職委員会	鈴木	看護：長内・臺野、栄養：鈴木・岩淵、教養：(-)	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当：新井、鹿内、岩淵、長谷川、松下	2年	学務課
	研究倫理委員会	山本	看護栄養学研究科長：進藤、助産研究科長：津田、 学長指名：山本、鈴木、堀井、岩間、〔学外：大久保岩男、久々湊晴夫〕	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント対策委員会	日沼	学生部長：小澤(芳)、看護：日沼、栄養：坂本、 助産：津田、事務局長：岩間	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門：菊池・岩淵、学校医：西村、衛生委員会：(-)	2年	財務室
国際交流委員会	高木	看護：高木、栄養：志賀、教養：小原、看護研：鈴木、 助産：中田、事務局長：岩間	2年	総務課	
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護：、栄養：、教養：、助産：	—	学務課

名称	構成員
IR室	室長：榊、室員：総務課 上村、学務課 星、財務室 川村

名 称	構 成 員
看護：学生支援教員	1年：○前田、榑、服部、小島、横山、重岡、高橋(彩) 2年：○柴田、長内、新聞、若山、秋山、井口、小野澤 3年：○高橋(順)、大野、小澤(涼)、伊織、臺野、福田、船木 4年：○田中(さ)、日沼、伊藤、小坂、中洞、田中(裕)
栄養：学生支援教員	1年：○吉田、岡部、金澤、西、金吉 2年：○長谷川、進藤、坂本、松下、竹中 3年：○清水、菊池、鈴木、喜田、金野 4年：○岩淵、志賀、峯岸、高桑、高橋(咲) ※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	構 成 員	担当
教育講演会ワーキング	看護：秋山・高橋(彩)、栄養：坂本・岩淵	総務課

名 称	構 成 員	担当
アセスメント・ポリシー検討委員会	学長、吉田(礼)、中川、川口、日沼、大野、鈴木(純)	学務課長
教員評価制度検討ワーキング	看護：小澤(涼)・小島、栄養：岡部・西、教養：目時、助産：杉浦	
(仮)天使健康栄養クリニックあり方検討ワーキング	看護：小澤(芳)・伊藤、栄養：清水・峯岸、助産：三浦	

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長：進藤正信	◎看護学専攻主任：山本勝則	◎栄養管理学専攻主任：鈴木純子
------------	---------------	-----------------

研究科委員会	看護学専攻：山本、大野、小澤(芳)、榑、菅原、高木、服部、日沼、吉田(礼)、堀井 栄養管理学専攻：進藤、鈴木、菊池、清水、中川、川口	総務課
--------	---	-----

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長：津田万寿美
-------------

助産研究科教授会	学長、研究科長、今崎、杉浦、中田、臨床専任教員：高室、宮下、山本、兼任：進藤、高木
----------	---

区分	委員会名	委員長	委 員	任期	担当
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員		
	教務委員会	津田	(講義基礎)杉浦、(講義教育)中田、(学生・就職)今崎、(実習)津田三浦、杉田、長田	2年	学務課
	入試広報委員会	杉浦	杉浦、今崎、津田、中田、入試・広報室長：鈴木	2年	入試・広報室

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	任期	担当
常設機関	将来構想委員会	理事長	理事長、学長、財務担当理事、宗務部長、図書館長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、理事・評議員(教職員)	2年	総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事：菅原、本間、白崎、佐藤、 教員：菊池、山本、職員：豊島	2年	総務課
	衛生委員会	岩間	産業医：辻崎、衛生管理者(保健師)：亀田、看護：若山、栄養：岡部、教養：川口、助産：今崎、事務局長、事務局：豊島	2年	総務課
特設	苦情処理委員会	互選	理事3名、教職員2名、学外者1名	—	総務課
	懲戒委員会	理事長指名	その都度	—	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、理事：本間、前田、事務局長	—	総務課

名 称	セクター長	構 成 員	任期	担当
カトリックセンター	田畑	センター長：田畑学長、司祭：スレイマン、宗務担当理事：近藤理事、佐藤理事、宗務部長：菅原、宗教教育担当教員：堀井・小原	2年	学務課

## 12. 委員会報告

### 2021年度 教務委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井英志 委員：吉田礼維子、中川幸恵、川口雄一、伊藤治幸、伊織光恵、志賀一希、吉田真弓、小原琢
委員会開催数	定例12回、臨時2回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定規則申請に伴う学則変更について</li> <li>・ 教育課程の改善・見直しに係る論点整理について（中期計画等の進捗等関連）</li> <li>・ 教職課程における「ICT教育科目」の新設等に伴う教育課程の改正について</li> <li>・ 定期試験の実施について</li> <li>・ 授業実施方針について</li> <li>・ 時間割編成方針について</li> <li>・ 学事暦について</li> <li>・ アッセンブリー・アワーに関する要望について</li> <li>・ 開講科目一覧について</li> <li>・ 開講科目の学期変更について</li> <li>・ 試験評価日程について</li> <li>・ 専任教員の担当科目について</li> <li>・ 対面授業へ出席しなかった学生の扱いについて</li> <li>・ 履修の取消について</li> <li>・ 遠隔授業の授業データ削除について</li> <li>・ 既修得単位の認定・単位の授与について</li> <li>・ 卒業判定について</li> <li>・ 進級判定について</li> <li>・ 教職課程修了判定について</li> <li>・ 実習履修判定について</li> <li>・ 遠隔授業アンケートについて</li> <li>・ 遠隔授業の課題について</li> <li>・ 入学者アンケートについて</li> <li>・ アセスメントポリシーに係る各種調査の実施について</li> <li>・ 座席表について</li> <li>・ 学内で遠隔授業を受講できる教室の設定について</li> <li>・ 履修要項について</li> <li>・ 授業概要について</li> <li>・ 新入生オリエンテーション、出会いと親睦のゼミ及び在学生ガイダンスについて</li> <li>・ 天使大学学則の一部改正について</li> </ul>	

- ・履修規程の一部改正について
- ・教職課程履修規程の改正について
- ・中期計画の進捗状況報告について
- ・自己点検・評価報告について
- ・遠隔授業で行う成績評価に係る試験における不正防止のための留意事項について
- ・教育の質に係る客観的指標調査に関する対応について

[主な報告事項]

- ・非常勤講師の雇用契約の更新について
- ・IR室 調査・分析申請について
- ・教室の環境整備について
- ・2303 教室後方へのモニター設置について
- ・教科書販売について
- ・学生の安否確認訓練における日程について
- ・GPA の課題について
- ・看護学科における教務担当係の設置について

## 2021年度 学生委員会活動報告

委員会組織	委員長：小澤芳子 委員：前田朝子、小坂美智代、菊池直哉、高桑暁子、目時光紀
委員会開催数	10回（2022年2月25日現在）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度 役割分担について</li> <li>・2021年度 学生部長不在時の代理について</li> <li>・2019年度 卒業生等に対するアカデミックガウンを着用しての記念撮影等の機会の確保について</li> <li>・学生への支援体制について</li> <li>・天使大学奨学金制度の見直しについて</li> <li>・奨学金関係規程の改正について</li> <li>・2022年度 学事暦（学生委員会関係）について</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドラインについて</li> <li>・2021年度 葦の会役員リーダー研修会について</li> <li>・学生の個人情報等の取扱いについて</li> <li>・学生支援のための学内の情報共有等について</li> <li>・卒業・修了時アンケートについて</li> <li>・2021年度 体育祭の中止について</li> <li>・学生食堂の運営、学内での学生の喫食について（新型コロナウイルス感染防止対策）</li> <li>・オンライン海外研修について</li> <li>・2022年度 合唱コンクール、天使祭の実施について</li> <li>・2021年度 葦の会役員と学生委員会の交流会について</li> <li>・2022年度 活動計画書について</li> <li>・2022年度 予算について</li> <li>・学校法人天使学園中期計画（学生委員会部分）の進捗状況について</li> <li>・2021年度 卒業祝賀会について</li> <li>・2022年度 学校医（内科医・精神神経科医）の委託について</li> <li>・2021年度 年報（学生委員会）について</li> <li>・2022年度 クッキングライブについて</li> <li>・2022年度 部活動説明会について</li> <li>・2022年度 新入生支援企画について</li> <li>・学生証、通学定期券の購入について</li> </ul>	

[主な報告事項]

- ・2021年度 クラス委員について
- ・「ほっかいどう若者応援プロジェクト」による食料等の支援について
- ・2021年度 1～2次生のためのクッキングライブについて
- ・2021年度 天使祭（オンライン）について
- ・成年年齢引下げに伴う消費者教育について
- ・2022年度以降の学生の学校保険の加入について
- ・障害学生への支援について
- ・大学等課外活動感染症対策支援金について
- ・2021年度 後期オフィスアワーについて
- ・2021年度 第1回同窓会・葦の会役員 交流会について
- ・Dolce(ドルチェ)とタキさんの店の交流企画について
- ・本学駐輪場の放置自転車の廃棄について
- ・藤女子大学 学園祭 パネルディスカッションへの参加依頼について
- ・天使大学同窓会からの「ひとり暮らし」の学生に対する食糧支援について
- ・日本栄養士会からの「即席めん」の無償支援について
- ・2021年度 補正予算要求（学務課学生担当）について
- ・栄養学科学生が企画に携わった弁当の学内販売について
- ・HBC イチモニ！「健康けっこう！調べ隊」イオン北海道×天使大学 商品開発プロジェクトについて
- ・2021年度 酪育ミルクアカデミーについて
- ・2021年度 卒業アルバム、卒業祝賀会について
- ・2021年度 葦の会役員 三役選挙について
- ・2021年度 葦の会からの献金について
- ・AEDの設置について
- ・「学生等の学びを継続するための緊急給付金」について
- ・2021年度 卒業記念品について
- ・部の新設について
- ・雪印メグミルクからのガゼリドリンクヨーグルトの無償提供について
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況について
- ・2022年度 体育祭について
- ・学生食堂に関する報告について
- ・2022年度以降の卒業アルバムについて
- ・保健相談室報告
- ・学生相談室報告

2021年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原 邦子 委員：ケン・スレイマン、田中裕子、福田早織、金澤康子、坂本洋子、杉田樹美、栃原理沙</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宗教行事、ミサの実施について <ul style="list-style-type: none"> <li>イースターの集い</li> <li>前期修了感謝ミサ</li> <li>死者追悼のミサ</li> <li>クリスマス点灯式、クリスマスキャロルの放送</li> <li>クリスマスの集い</li> <li>創立記念日のミサ</li> <li>新年のミサ</li> <li>灰の儀式（灰の水曜日）</li> <li>退職する教職員への感謝ミサ</li> <li>卒業・修了感謝のミサ</li> <li>週日のミサ</li> </ul> </li> <li>・ チャペルのオルガン修理について</li> <li>・ チャペルアワーの実施について</li> <li>・ 2022年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について</li> <li>・ 学校法人天使学園中期計画について</li> <li>・ 2021年度自己点検評価について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について</li> <li>・ 2021年度補正予算の提出について</li> <li>・ 第36回カトリック医療関連学生セミナーの中止について</li> <li>・ ミサの実施報告について</li> <li>・ 2022年度アッセンブリー・アワーの実施方法について</li> <li>・ 2021年度教職員修養会について</li> <li>・ ミサの年間スケジュールについて</li> <li>・ 学生修養会について</li> </ul>	

2021年度 図書情報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高木廣文 委員：高橋順子、中洞真理子、志賀一希、西隆司、目時光紀、長田雅子、白石澄枝</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長代理について</li> <li>・2021年度後援会寄贈図書について</li> <li>・2021年度7～9月および後期開館予定日（案）について</li> <li>・看護学科卒業論文（事例研究）PDF原稿（CD-R）保存と閲覧について</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に伴う「天使大学図書館」「天使大学情報処理室」ガイドライン（案）について</li> <li>・2022年度洋雑誌及びデータベース等の継続について</li> <li>・2022年度和雑誌の継続と新規購入について</li> <li>・購入希望図書の選書基準と受入可否について</li> <li>・2022年度活動計画書（案）図書情報課（図書館・情報処理室）について</li> <li>・2022年度予算（案）図書情報課（図書情報委員会・情報処理室）について</li> <li>・2021年度自己点検・評価報告書（案）「図書館」「情報処理システム」と活動報告（案）について</li> <li>・2021年度除籍図書について</li> <li>・2022年度前期図書館開館予定表（案）について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度情報処理室前期活動状況報告について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うグループ学習室の利用について</li> <li>・2021年度図書館及び情報処理室の活動計画・予算について</li> <li>・2021年度文献検索データベース（医中誌等）のリモート用ID・パスワードの更新について</li> <li>・院生用文献複写の受け渡しについて</li> <li>・卒業生・修了生の図書館利用について</li> <li>・2021年度図書資料費執行状況と図書館利用状況について</li> <li>・各学科の製本費について</li> <li>・電子書籍（eBook Library：丸善）学外アクセスのID・パスワードの発行について</li> <li>・図書（視聴覚含む）、電子書籍の発注について</li> <li>・看護学科継続雑誌の中止及び誌名変更について</li> <li>・ネットワークの拡充について</li> <li>・学生アルバイトの補充と業務について</li> <li>・文献複写等の受付申込期限について</li> <li>・2021年度蔵書点検について</li> </ul>	

2021年度 内部質保証推進委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：日沼千尋 委員：榊建二郎、岡部哲子、小原琢、鈴木純子、中田かおり、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動計画及び課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2018年度大学基準協会の認証評価改善報告について(2022年7月末まで)</li> <li>2) プログラムレビューの導入について(客観的指標調査1-①)                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①プログラムレビューに関する共通理解</li> <li>②本学に合った方法</li> </ol> </li> <li>3) IR室の機能確立について(客観的指標調査1-③)                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報の一元化</li> <li>②関連図の修正、整備</li> </ol> </li> <li>4) 2020年度評価のまとめ                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①年報のまとめと公表</li> <li>②学長への報告</li> </ol> </li> <li>5) 大学院の自己点検・評価について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①大学院看護栄養学研究科</li> <li>②助産研究科</li> </ol> </li> <li>6) 委員の研修について</li> </ol> </li> <li>・客観的指標調査I-①「3つのポリシーを踏まえた点検・評価」について             <ul style="list-style-type: none"> <li>私学事業団補助金課問い合わせ結果(資料)を踏まえて                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①学外者の参画について</li> <li>②年報と2020年度自己点検評価に関する教育研究評議会への報告について</li> <li>③アセスメントポリシー策定について</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>・学内のアンケートについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>①調査依頼の際の流れとIRの役割について</li> </ol> </li> <li>・内部質保証推進委員会外部委員の委嘱について</li> <li>・令和3年度教育の質に係る客観的指標調査について</li> <li>・遠隔授業に関するアンケート分析報告と改善について</li> <li>・学生の学修成果を把握するためのアンケート調査について</li> <li>・内部質保証推進委員会外部委員の意見について</li> <li>・令和3年度教育の質保証に関わる客観的指標調査の報告と今後の課題</li> <li>・外部委員からの意見に関する周知と改善</li> <li>・IR室の分析結果の共有・活用と今後の分析計画について</li> </ul>	

- ・来年度の委員会活動方針と計画について
- ・2022年度活動計画及び予算について
- ・2021年度年報について
- ・IR室による分析計画について
- ・アセスメントポリシー修正案について
- ・2021年度活動報告会について
- ・2022年度外部委員の委嘱について
- ・入学生アンケートについて

[主な報告事項]

- ・会議日程について
- ・大学院 看護栄養学研究科の学修成果の評価について
- ・看護学分野別評価受審準備について
- ・研修・啓発活動について
- ・2016年度～2020年度の国家試験分析結果について
- ・入学生調査について
- ・助産研究科認証評価について
- ・2021年度年報の原稿案について
- ・中期計画実施状況案について
- ・看護栄養学研究科の学修成果の測定に関する整備状況について
- ・IR室調査依頼書および分析依頼書について

2021年度 入試委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：川口雄一 委員：吉田礼維子、中川幸恵、柴田和恵、金澤康子、鈴木敏郎</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長代理について</li> <li>・2022年度 一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜の制度について</li> <li>・2022年度入学 学校推薦型・社会人選抜入試問題出題者について（当日資料配布）</li> <li>・2022年度一般選抜 出題者について（当日資料配布）</li> <li>・小論文・面接試験評価項目一覧について（当日資料配布）</li> <li>・2022年度 天使大学看護栄養学部 入学者選抜概要について</li> <li>・2022年度 入学者選抜要項について</li> <li>・2022年度 学校推薦型選抜・一般選抜予備問題作成に関する内容について（当日配布）</li> <li>・2022年度 天使大学入学者選抜について</li> <li>・2022年度 入学者選抜への人選依頼について</li> <li>・災害救助法適用地域受験生に関する検定料等の減免について</li> <li>・2022年度 学校推薦型・社会人選抜問題の選定について（当日配布）</li> <li>・2023年度 入学者選抜日程（案）について</li> <li>・2022年度学校推薦型・社会人選抜実施要領・監督要領（案）について</li> <li>・2022年度天使大学入学者選抜追試験対象者の範囲設定等について</li> <li>・2022年度入学手続要項について</li> <li>・2022年度入試委員会活動計画について</li> <li>・2022年度入試委員会予算について</li> <li>・一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜 合否判定基準について（当日配布）</li> <li>・学校推薦型・社会人選抜小論文試験について（当日配布）</li> <li>・令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保について</li> <li>・2022年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜実施要領・監督要領について</li> <li>・追加合格決定のプロセスについて</li> <li>・一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜志願者への要請及び追試験について</li> <li>・小論文問題作成に関する申し合わせ基本事項について</li> <li>・中期計画について</li> <li>・入学者選抜における学内の入構について</li> <li>・2022年度一般選抜学力試験 得点調整について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度入試委員会活動計画</li> </ul>	

- ・ 2021年度入試委員会予算
- ・ 2021年度北海道内看護栄養系大学志願者数速報
- ・ 2021年度入学者選抜入試問題の著作権処理状況
- ・ 監督者人選に伴う事前確認等について
- ・ 著作権許諾状況について
- ・ 天使大学のアセスメントポリシー（学習成果の評価の方針）について
- ・ 2022年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜全体説明会について（案内）
- ・ 2022年度大学入学共通テストについて
- ・ 札幌聖心女子学院高等学校の閉校について

2021年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：服部容子 委員：小澤涼子、横山聖美、峯岸夕紀子、松下真実、鈴木敏郎</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021年度広報活動最重要課題について</li> <li>・ 公式ホームページ「教員紹介」作成要領について</li> <li>・ 進学相談会・校内ガイダンス参加計画について</li> <li>・ 2020年度第4回オープンキャンパス振り返り（3/28実施）</li> <li>・ 2021年度第1回オープンキャンパスについて（6/20実施）</li> <li>・ 2021年度前期学報について（7月末発行）</li> <li>・ 6月の広報活動について</li> <li>・ 2021年度ダイレクトメール計画について</li> <li>・ 2021年度第1回オープンキャンパスについて（7/18実施）</li> <li>・ 2021年度第2回オープンキャンパスについて（8/3.4実施）</li> <li>・ 7月以降の広報活動について</li> <li>・ 2021年度第2回オープンキャンパスについて（8/10.11実施）</li> <li>・ 2021年度第3回オープンキャンパスについて（9/25実施）</li> <li>・ 大学訪問時、高校別進学相談会時の学生アルバイト利用について</li> <li>・ 2022年度オープンキャンパス日程について</li> <li>・ 2021年度第2回オープンキャンパスの振り返り（8/10.8/11実施）</li> <li>・ 2021年度第3回オープンキャンパスについて（9/25実施）</li> <li>・ 2022年大学案内の製作について</li> <li>・ 学報「天使」vol.32号について</li> <li>・ 看護学専攻増設のコースに関する広報活動について</li> <li>・ 2021年度Webオープンキャンパス（第3回オープンキャンパス）の振り返り</li> <li>・ 2022年度オープンキャンパス日程及びコンテンツについて</li> <li>・ 学報「天使」vol.32号について</li> <li>・ 本学ホームページコンテンツ追加について</li> <li>・ 2022年度予算について</li> <li>・ ホームページの充実について</li> <li>・ 2023大学案内について</li> <li>・ 学報「天使」vol.32号について</li> <li>・ リクルートWeb広告について</li> <li>・ 大学院パンフレットについて</li> </ul>	

- ・入学生アンケートについて
- ・2021年度第4回オープンキャンパスについて（2022/03/26）
- ・自己点検・評価について
- ・広報委員会予算ヒアリングについて

[主な報告事項]

- ・2020年度オープンキャンパス参加者数について
- ・入試・広報室より、別紙資料に基づき説明があった。
- ・教職員への広報活動協力要請について
- ・2022年大学案内（2021年6月発行）進捗について
- ・撮影について
- ・2021年度出張講義・大学訪問・取材依頼について
- ・不織布バッグデザインについて（意見聴取）
- ・在学生による母校訪問、母校向け天使大学を目指す皆さんへ
- ・2022年大学案内（2021年6月発行）完成について
- ・2021年度進学相談会・出張講義・大学訪問について
- ・2022年度入学者選抜情報の公表及び高校訪問について
- ・看護学専攻案内チラシについて
- ・看護栄養学研究科看護学専攻オープンキャンパスについて
- ・不織布バッグの完成について
- ・2021年度前期学報について（7月末発行）
- ・近況報告
- ・本学学部生向け保健師コースオンライン説明会（6/20）開催報告
- ・学報31号進捗
- ・大学訪問について
- ・ダイレクトメールの送付について
- ・2021年度オープンキャンパスの参加者数について
- ・2022年度大学院オープンキャンパス日程について
- ・ダイレクトメールについて
- ・次年度予算計上科目の聴取について
- ・アセスメントポリシーの検討について
- ・事例研究、卒業研究の取材依頼について
- ・母校訪問活動報告参加学生・天使大学を目指す皆さんへのメッセージ協力者について
- ・学報32号進捗について
- ・大学案内進捗について
- ・2022年度オープンキャンパスチラシについて

## 2021年度 FDS D委員会活動報告

委員会組織	委員長：大野和美 委員：船木沙織、岡部哲子、鹿内信善、杉浦恵子、豊島利昭、松田ゆかり、 渡邊泰央
委員会開催数	9回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FDS D 活動実施要項の改正について</li> <li>・ 2021 年度学生による授業評価アンケートについて</li> <li>・ 2021 年度授業参観について</li> <li>・ 2021 年度の FD 及び SD 研修について</li> <li>・ 2021 年度 FDS D 委員会開催予定について</li> <li>・ 2021 年度前期授業評価アンケートの今後の予定について</li> <li>・ 他部署が企画する FD 及び SD 研修会実施予定調査結果について</li> <li>・ 2021 年度の授業参観の実施について</li> <li>・ 北海道 FDS D フォーラム 2021 の分科会における話題提供等について</li> <li>・ 令和 3 年度教育の質に係る客観的指標調査に関する本委員会の対応について</li> <li>・ 後期授業評価アンケートの今後の予定について</li> <li>・ 授業参観の報告書の提出方法について</li> <li>・ 2021 年度授業参観の実施状況と今後の実施方法について</li> <li>・ 2022 年度の FD 研修会及び SD 研修会について</li> <li>・ 学生による授業評価アンケートの見直しについて</li> <li>・ 2022 年度の FD 研修会及び SD 研修会テーマについて</li> <li>・ 各学科・科での意見聴取結果を踏まえた学生による授業評価アンケートの見直しについて</li> <li>・ 2022 年度活動計画（案）及び予算（案）について</li> <li>・ 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</li> <li>・ 天使大学ガバナンス・コードの実施状況の点検調査について</li> <li>・ FDS D 活動実施要項の一部改正について</li> <li>・ 2021 年度自己点検評価報告書について</li> <li>・ 2021 年度授業参観報告書（案）について</li> <li>・ 2021 年度授業評価アンケート実施結果報告について</li> <li>・ オンライン授業に関する教員向け・学生向けアンケートの実施について</li> </ul> [主な報告事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度活動計画及び予算について</li> <li>・ FDS D 活動実施要項の改正について</li> <li>・ 北海道 FD・SD 協議会総会について</li> <li>・ 北海道 FDS D フォーラムについて</li> </ul>	

- ・ FD 研修会及び SD 研修会参加状況について
- ・ FD 研修会及び SD 研修会参加状況とアンケート集計結果について
- ・ IR 室主催の FD/SD 研修の実施について

2021年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：榊建二郎 委員：田中さおり、西隆司、今崎裕子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度 委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・2020年度 紀要第21巻第2号の発行について</li> <li>・2021年度 紀要第22巻第1号の発行について</li> <li>・2021年度 紀要第22巻第1号スケジュール（案）</li> <li>・大学HP上での「プレスリリース」による研究成果報告について</li> <li>・大学自己点検評価に向けた研究業績の収集について</li> <li>・2022年度 予算について</li> <li>・2021年度 科研費獲得セミナーの開催について</li> <li>・2021年度 自己点検・評価報告書 学術振興委員会（案）について</li> <li>・2022年度 紀要第23巻第1号及び第2号投稿論文募集のご案内について</li> <li>・2020年度 特別研究費による研究報告について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度 学術振興委員会活動計画及び予算見積内訳書について</li> <li>・2020年度 紀要第21巻第2号の進捗状況について</li> <li>・2021年度 紀要第22巻第1号の進捗状況について</li> <li>・研究のためのよろず相談の周知について</li> <li>・科研費アドバイザーの周知について</li> <li>・2019年度 特別研究費による研究報告について</li> </ul>	

2021年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：新関幸子、若山好美、長谷川めぐみ、高桑暁子、三浦恵津子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について</li> <li>・地域連携協定5者合同会議（書面開催）について</li> <li>・東区介護予防センター事業について</li> <li>・企業からの連携提案について</li> <li>・委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・「健康づくりパネル展」の開催に伴う協力について</li> <li>・2022年度活動計画書（案）について</li> <li>・2022年度公開講座について</li> <li>・2022年度予算見積内訳書（案）について</li> <li>・天使大学ガバナンス・コードの実施状況点検調査について</li> <li>・学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</li> <li>・2021年度年報 自己点検・評価報告書について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度活動計画書・予算について</li> <li>・2020年度年報 自己点検・評価報告書について</li> <li>・2020年度事業報告書について</li> <li>・今年度5者連携事業について（「ひがしく健康・スポーツまつり2021」）</li> <li>・2021年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施状況について</li> <li>・「健康づくりパネル展」への協力について</li> </ul>	

## 2021年度 就職委員会活動報告

委員会組織	委員長：鈴木 純子 委員：臺野 美奈子、長内さゆり、岩渕 絵里子
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・役割分担について</li> <li>・委員会の開催日について</li> <li>・就職相談室の利用方法について</li> <li>・就職ガイダンス・セミナーの実施方法について</li> <li>・卒業生に関する就職先アンケート調査について</li> <li>・就職相談室ニュース第1～3号の発行について</li> <li>・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の発行について</li> <li>・2021年度「就職活動と就職支援に関する調査」について</li> <li>・2020年度卒業・修了生の「就職状況調査（離職調査）」について</li> <li>・就職活動ガイドブック2022年度版の発行について</li> <li>・学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</li> <li>・2021年度自己点検評価について</li> <li>・2022年度活動計画及び予算内訳見積書について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画及び予算内訳見積書、補正予算について</li> <li>・就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について</li> <li>・就職ガイダンス・セミナー報告について</li> <li>・看護学科の病院採用試験の受験方法（単願）について</li> <li>・学内企業説明会報告について</li> <li>・求人訪問対応報告について</li> <li>・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について</li> <li>・2020年度「就職活動と就職支援に関する調査」の結果について</li> <li>・2020年度就職先への礼状の発送について</li> <li>・2019年度卒業・修了生の就職状況調査送付及び調査結果について</li> <li>・求人開拓について</li> <li>・就職ポータルサイト（天使大学就職支援ナビ）のキャリアタスUCプレミアムプランの申し込みについて</li> </ul>	

## 2021年度 教職課程委員会活動報告

委員会組織	委員長：新井英志 委員：鹿内信善、長谷川めぐみ、岩渕絵里子、松下真美
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程 Google classroom の作成について</li> <li>・ICT 活用科目の検討及び関係規程の改正について(学則、履修規程、教職課程履修規程)</li> <li>・教職課程における質保証に係る対応について</li> <li>・2022 年度以降の教職課程科目担当者および教職課程委員会体制について</li> <li>・中期計画（案）に関する教職課程委員会の意見について</li> <li>・科目等履修生（教職課程）の受入れについて</li> <li>・非常勤講師および特別講師の委嘱について</li> <li>・教員免許状更新講習について</li> <li>・2021 年度教職課程修了判定</li> <li>・2022 年度栄養教育実習履修判定</li> <li>・2022 年度授業科目の担当者について</li> <li>・2022 年度活動計画書および予算について</li> <li>・2022 年度新生オリエンテーションについて</li> <li>・2022 年度教職課程履修の手引について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年度活動計画および予算について</li> <li>・教職課程履修者数および教職課程履修取消者について</li> <li>・教員採用試験結果について</li> <li>・教員採用選考検査のための対策ゼミについて</li> <li>・栄養学科 3 年生の面接の実施予定について</li> <li>・全私教協研究交流集会の参加報告について</li> <li>・教職課程 FD 研修会について</li> </ul> <p>【主な確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程委員会の行事等一覧について</li> <li>・教職課程履修の手引きについて</li> </ul>	

## 2021年度 研究倫理委員会活動報告

委員会組織	委員長：山本 勝則 委員：津田 万寿美、進藤 正信、鈴木 純子、堀井 泰明、岩間 久哉、 大久保 岩男(学外委員)、久々湊 晴夫(学外委員)
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天使大学における人を対象とする研究倫理申請について（審査件数 30 件）</li> <li>・ 天使大学における研究倫理審査のためのチェックリストについて</li> <li>・ 学部生の研究に関する倫理審査について</li> <li>・ 新しい倫理指針に基づく今後の運用について</li> <li>・ 研究倫理委員会規程の改正について</li> <li>・ 2022 年度活動計画書、予算見積書について</li> </ul> [主な報告事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度研究倫理委員会開催日程について</li> <li>・ 倫理審査終了後の研究期間変更等の変更届について</li> <li>・ 他の研究機関への試料・情報の提供に関する届出書について</li> <li>・ 研究倫理研修会について</li> </ul>	

2021年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：日沼千尋 委員：小澤芳子、坂本洋子、津田万須美、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度活動計画について</li> <li>・ハラスメント防止講演会のアンケートについて</li> <li>・2021年度のキャンパス・ハラスメント相談員の名簿について</li> <li>・ハラスメント相談員の研修について</li> <li>・本学のハラスメント防止の取り組みのホームページ掲載について</li> <li>・学生向けの啓発活動（ポケットカード等）について</li> <li>・学内外でのコロナ感染者や濃厚接触者等への差別やハラスメントの実態把握と防止の対策について</li> <li>・キャンパス・ハラスメント実態調査アンケートの実施について</li> <li>・2021年度年報について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画実施状況について</li> </ul>	

2021年度 病原体等安全管理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菊池直哉 委員：菊池直哉、岩淵絵里子、西村光弘</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>4回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病原体等安全管理委員会規程」の一部改正及び「遺伝子組換え実験に関する基準要領」の制定について</li> <li>・2021年度遺伝子組換え実験施設申請について</li> <li>・2021年度自己点検評価報告書の原稿について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省「病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査」の提出について</li> </ul>	

2021年度 国際交流委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高木廣文 委員：志賀一希、小原琢、鈴木純子、中田かおり、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>1回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU) について</li> <li>・ 韓国カトリック大大学校との交流連携協定の継続可能性について</li> <li>・ 2022年度活動計画(案)及び予算(案)について</li> <li>・ 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <p>なし</p>	

2021年度 助産研究科教務委員会活動報告

委員会組織	委員長：津田万寿美 委員：今崎裕子、杉浦恵子、中田かおり、三浦恵津子、長田雅子 杉田樹美
委員会開催数	12回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度 授業科目担当者について</li> <li>・2021年度 非常勤講師、特別講師の委託について</li> <li>・保健師看護師助産師学校養成指定規の一部を改正する省令に伴う、学則及び履修規程の一部改正について</li> <li>・2021年度 前期定期試験時間割及び評価日程について</li> <li>・2021年度 実習指導教員の委託について</li> <li>・2022年度 実習中止に伴う時間割変更について</li> <li>・2021年度 特別講師の委嘱について</li> <li>・2021年度 非常勤講師の新規委嘱及び委嘱取り消しについて</li> <li>・2022年度 科目履修生受付期間について</li> <li>・2022年度 助産研究科FD研修会開催について</li> <li>・2021年度 後期試験時間割及び評価日程について</li> <li>・2021年度 最終試験（基礎分野）について</li> <li>・2022年度 予算について</li> <li>・2022年度 授業科目担当者について</li> <li>・2021年度 実習指導教員委嘱内容の変更について</li> <li>・2022年度 学事暦について</li> <li>・2022年度 非常勤講師の委嘱について</li> <li>・2021年度 第4回臨床指導者会議の開催有無について</li> <li>・2022年度 マタニティサイクル助産ケアⅠ・Ⅱ・Ⅲ（演習分）の補助教員について</li> <li>・2022年度 会議日程について</li> <li>・2022年度 使用教室について</li> <li>・2021年度 基礎分野終了判定について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院生の使用する教室について</li> <li>・2年生の分娩期補習実習について</li> <li>・院生室のシュレッターと8306,8305教室のプロジェクターについて</li> <li>・2021年度 前期成績評価について</li> <li>・補正予算について</li> <li>・シラバス入稿・採点登録日程について</li> <li>・院生学習室入室暗唱番号の変更について</li> </ul>	

2021年度 助産研究科入試広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：杉浦恵子 委員：津田万寿美、今崎裕子、中田かおり、鈴木敏郎
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021年度 助産研究科オープンキャンパスについて</li> <li>・ 2021年度 助産研究科パンフレットについて</li> <li>・ 2021年度 本学看護学科（アッセンブリー・アワー）への助産研究科の説明について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜判定基準について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜日程について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜要項について</li> <li>・ 2021年度 第1回助産研究科オープンキャンパス運営方法について</li> <li>・ 2021年度 第2回助産研究科オープンキャンパス運営方法について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科推薦型選抜について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科推薦型選抜合否判定について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜Ⅰ期（一般・社会人）について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜Ⅰ期（一般・社会人）合否判定について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜Ⅱ期（一般・社会人）について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜Ⅰ期（一般・社会人）合否判定について</li> <li>・ 2022年度 入学手続要項について</li> <li>・ 2022年度 入学前教育について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科オープンキャンパス日程について</li> <li>・ 2023年度入学者向け 助産研究科学校案内について</li> <li>・ 2023年度 助産研究科入学者選抜日程について</li> <li>・ 2023年度入学 助産研究科選抜態勢について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入試広報委員会活動計画書について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科予算申請書について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜出題者について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科入学者選抜問題作成に関わる申し合わせ基本事項および作成日程について</li> <li>・ 2022年度 助産研究科推薦型選抜・一般選抜【推薦書・人物調書等】に取り扱いについて</li> <li>・ 2021年度 第1回助産研究科オープンキャンパス結果について</li> <li>・ 2021年度 第2回助産研究科オープンキャンパス結果について</li> <li>・ 助産研究科パンフレット・チラシ納品報告</li> <li>・ 天使大学「学報」の完成報告</li> <li>・ 次年度研究科案内の作成について</li> <li>・ 2021年度 助産研究科入試・広報委員会予算について</li> <li>・ 2021年度 雑誌の掲載号について</li> </ul>	

## 14. 図書館利用状況

2021年度入館者統計

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	1,831	772	1,037	2,631	1,088	1,030	2,258	1,983	2,236	2,170	1,192	409	#####

2021年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	294	276	447	391	411	338	669	250	232	149	77	0	3,534
栄養学科	358	90	388	329	171	229	188	219	245	72	46	0	2,335
助産研究科	251	109	137	58	115	64	145	112	84	99	58	70	1,302
看護栄養学研究科 看護学専攻	55	43	45	56	18	15	15	25	6	7	17	4	306
看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 博士前期課程	3	1	0	9	0	0	0	0	6	0	0	0	19
看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 博士後期課程	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	119	140	125	53	90	206	199	111	103	69	33	0	1,248
相互利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学外者(実習指導教員・ 非常勤講師・臨床指導 者)	2	6	0	0	3	1	2	0	0	3	8	0	25
卒業生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10
合計	1,082	665	1,142	896	808	853	1,218	717	676	409	239	74	8,779

## 15. 情報処理室の利用状況

### 年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	71	63	211	241	586	60	213	512	500	1,285	1,871
4301室(夜間)	29	14	52	31	126	19	19	30	128	196	322
4302室(日中)	70	100	598	777	1,545	94	492	1,221	1,381	3,188	4,733
4302室(夜間)	30	22	122	52	226	7	122	133	228	490	716
総計	200	199	983	1,101	2,483	180	846	1,896	2,237	5,159	7,642

### 月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	108	2	161	145	416	107	158	165	149	579	995
5	4	0	0	79	83	3	5	87	64	159	242
6	5	0	78	61	144	5	4	145	154	308	452
7	16	24	140	139	319	2	1	463	257	723	1,042
8	0	0	41	53	94	1	1	31	118	151	245
9	1	0	47	104	152	1	0	133	169	303	455
10	19	45	126	182	372	19	20	345	359	743	1,115
11	16	61	88	162	327	13	211	142	393	759	1,086
12	17	43	172	149	381	14	54	166	375	609	990
1	5	20	110	20	155	9	385	139	90	623	778
2	2	2	10	4	18	0	5	50	73	128	146
3	7	2	10	3	22	6	2	30	36	74	96
総計	200	199	983	1,101	2,483	180	846	1,896	2,237	5,159	7,642

## 16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	大学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差
校地面積	30,390	7,060	23,330
校舎面積	18,057	6,475	11,582

### 校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	45	928.53	2階建 (耐震構造)
2号館	2020 (R2)	1	5,393.45	6階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	58	1,977.11	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	50	2,428.96	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	41	396.27	2階建 (耐震構造)
6号館	2000 (H12)	21	2,668.40	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	19	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	17	1,855.69	4階建 (耐震構造)
中沼グランド 更衣室等	1992 (H 4)	29	79.38	平屋建
計	—	—	18,057.91	

### 学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当たり面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	14	1,947	共用	1,634	778	2.50	看護栄養学研究科と共用
	演習室	15	673	共用	373	820	0.82	大学院と共用
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	大学院と共用
看護栄養学研究科	講義室							
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	135	42	5.40	
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、看護栄養学研究科と共用
体育館/講堂		1	725					

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m <sup>2</sup> )	1人当り面積(m <sup>2</sup> )
実験・実習室 (看護学科)	2302看護実習室	100	416	4.16
	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	262	4.37
	生理学実験室・微生物学実験室	65	397	6.11
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.17
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,701	3.62

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m <sup>2</sup> )	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m <sup>2</sup> )	使用研究科等	備考
実習室	18	2,874	783	3.67	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	19	3,048	823	3.70	—	—

## 17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	74.9	82.9
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△13.0	△15.2
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	89.4	95.8
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	94.3	76.8
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資金}}$	94.2	99.2
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	79.2	89.5
7	資産構成はどうか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	70.6	82.2
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	61.2	63.6
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	8.7	16.1
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	29.3	17.7
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	40.7	48.6
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	12.5	12.9
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.1	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	268.8	217.4
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	304.1	403.7
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.0	25.7
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	14.1	8.9
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	10.9	8.1
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	25.0	17.0
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	33.4	20.5

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国12法人の2018年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.1	1.5
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	2.4	0.9
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.6	1.2
4	収入構成はどうか なっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	80.4	31.4
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.4	3.2
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	16.7	12.1
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.5	53.5
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.9	39.4
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.0	7.8
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.1
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	9.2	11.5
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	13.8	6.0
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	75.2	170.6
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	106.8	111.3

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	教育活動資金収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	13.7	8.6

2021 年度 内部質保証推進委員会

委員長：日沼 千尋（看護学専攻）

委員：榊 建二郎（看護学科）

岡部 哲子（栄養学科）

小原 琢（教養教育科）

鈴木 純子（栄養管理学専攻）

中田かおり（助産研究科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2021年度

天使大学 看護栄養学部  
天使大学大学院 看護栄養学研究科  
天使大学大学院 助産研究科

年 報  
—自己点検・評価報告書—

2022年6月完成  
自己点検評価委員会

---

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>

---